

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## A Concordance of Spoken Language 1

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003137">https://doi.org/10.15084/00003137</a>



国立国語研究所 言語処理データ集 2

# 話しことば 文脈付き用語索引(1)

—— 『言語生活』 録音器欄データ ——

解説書

国立国語研究所

1987



国立国語研究所

国立国語研究所 言語処理データ集 2

話しことば 文脈付き用語索引 (1)

「言語生活」録音器欄データ

103P . 28.5cm 解説書 付

マイクロフィッシュ1 ~5 (原文編 1,  
用例編 4) 11枚+79枚

昭和62年3月

マイクロフィッシュ

4

5014 51000 L 事務用覆紙用紙 伊藤伊製

国立国語研究所



9000222803

## 刊行のことば

このデータ集は、月刊雑誌『言語生活』（筑摩書房）の第1号から344号までに掲載された「録音器」欄（生きたことばを忠実に文字化したもの）の文脈付き用語索引です。

この索引は、昭和26年から55年までの30年間という長い期間にわたっているということ、421件という多くの話題を収めているということ、登場人物が1,600人余に及び、性・年齢・職業も多岐にわたるということ、延べ語数が50万弱（付属語・記号を含む）と大量であることなど、これまでにない話しことば資料です。

話しことば資料は、言語研究における重要性にもかかわらず、採集・文字化の困難さにより、国立国語研究所における調査・研究のほか数点を数えるだけで多くはありませんでした。今回、これらの文字化資料の整理を電子計算機によって行いました。これはその中の一つを公開したものです。

「文脈付き用語索引」は、単なる「用語索引」とは異なり、ある語がどのような文脈で使われているかを示すものです。それぞれの語が実際にどのように使われているかを一覧することができます。話しことばの用語・文法など言語研究のほか、言語情報処理の研究資料など、各種の研究に役立つものと信じます。

マイクロフィッシュとして刊行するのは、本による刊行に比べ、安価であり、保管に場所をとらないためです。本にすると、8,578ページになり、一冊500ページ余りとして19冊にもなりますから、マイクロフィッシュ・リーダーを使わなければならない不便さを考えても、この形の方が適当と考えます。

この「話しことば 文脈用語索引(1)」を刊行するにあたり、転載を許可された筑摩書房、『言語生活』への投稿者各位に感謝の意を表します。

なお、この研究は、昭和55年～57年度の文部省科学研究費補助金（一般研究（A）代表者 斎賀秀夫）を受けました。また、この解説書の執筆は、言語計量研究部第一研究室の中野洋が担当しました。

昭和62年3月

国立国語研究所長 野元 菊雄





話しことば 文脈付き用語索引(1)

— 『言語生活』録音器欄データ —

目 次

刊行のことば

I 話しことばの調査の概要	1
1. これまでの話しことばの調査	1
2. 「話しことばの計量国語学的調査・分析のための基礎的研究」の概要	2
II 『言語生活』録音器欄データについて	5
1. データの性格	5
2. 調査単位と表記	6
3. 調査の手順	6
4. データ記述用語の分析	17
5. 話しことばにおける聞き手決定について	27
III データ一覧	34
1. データ一覧表	34
2. 原文における解説一覧	57
IV 文脈付き用語索引について	101
1. データ量	101
2. 文脈付き用語索引の作成	101
3. 用例の配列順序	101
4. 検索の方法	101
5. 原文の見方	103





## I 話しことばの調査の概要

### 1. これまでの話しことばの調査

書きことばに比べ、話しことばの調査は、その対象をとらえること自体が難しい。レコードや録音テープによる録音機械が現れる以前は、文字によって話しことばを書き取るしか方法がなかった。当然書き取りのスピードが話しことばのスピードより遅いから、忠実な記録は難しい。しかし、速記術による記録はあった。後述のわれわれの研究の対象となった「速記叢書 講談演説集」はその最も早い時期のものの一つである。

われわれの最終目的である語彙調査で言えば、これまでの成果として次のものがある。

国立国語研究所『言語生活の実態 - 白河市および付近の農村における -』（国研報告 2, 昭和 26 年）

国立国語研究所『地域社会の言語生活 - 鶴岡における実態調査 -』（国研報告 5, 昭和 28 年）

国立国語研究所『談話語の実態』（国研報告 8, 昭和 30 年）

放送文化研究所『ラジオニュースの語い調査』（昭和 45 年）

牛島義友・森脇要『幼児の言語発達』（愛育研究所紀要、昭和 18 年）

野元菊雄ほか『日本人の知識階層における話しことばの実態』（文部省科学研究費特定研究「言語」研究報告書、昭和 55 年）

大久保愛・川又瑠璃子『就学前幼児の語彙 - 4 児による日常生活語の実態 -』（国研報告 71『研究報告集 3』、昭和 57 年）

井出祥子他編『主婦の一週間の談話資料』解説・本文編および索引編（文部省科学研究費特定研究「言語の標準化に関する総合的研究」研究報告書、昭和 59 年）

この他、方言資料として、次のものが刊行されている。

国立国語研究所『方言談話資料（1）～（9）』（国研資料集 10、昭和 53 年～62 年）

これらに比べて書きことばの語彙調査は国立国語研究所を中心として数多く実施されている。国立国語研究所の現代語の調査について言えば、新聞・雑誌・教科書を対象に、標本数は 500 万語を越えている。また、電子計算機に入力され、文脈付き用語索引の形に整理されたデータは言語計量研究部内だけで 530 万行にのぼる。

テープレコーダー（ことにカセットテープレコーダー）が普及してから、自然な会話の録音条件は飛躍的に良くなった。現在の普及率については、たとえば東京のある私立大学の文学部の学生 500 人にテープレコーダーの有無を調査したところ、99% の学生からなんらかの形で所有しているという結果を得ている。話しことば調査の最大の難関は解決されているのである。

ここにおいて、われわれは本格的な話しことばの語彙調査の準備段階として、昭和 55 年～57 年度の文部省科学研究費一般研究（A）の補助金を受けて、「話しことばの計量国語学

的調査・分析のための基礎的研究」を行った。

以下にその概要を示す。

## 2. 「話しことばの計量国語学的調査・分析のための基礎的研究」の概要

### 2-1. 研究目的および成果の概要

国民の言語生活の効率化を考える上で、話しことば（音声言語）の研究は重要であるが、書きことばの研究に比してその調査法はいまだに確立しているとはいえない。ここにおいて、国語学、情報工学、統計学の力を結集し、電子計算機を使って、計量国語学の立場から、調査・分析の方法を検討し、実際のデータにあたって検証し、学問的に意味ある効率的な調査法を確立する必要がある。

具体的には、次の目的を達成する。

ア. 話しことば調査のための調査単位の設定

イ. 話しことばの分類基準の確立

ウ. 話しことば集計プログラムの作成

エ. 話しことばデータの採集と分析（1.2.3 検証のためのデータ）

本研究における研究成果は、次のように要約される。

1. 電子計算機による話しことば集計プログラムシステムを作成した。とりわけ、最近使用され始めているパーソナル・コンピュータがデータの作成・編集・分析に有用であることがわかったので、これらのプログラム集を作り、誰もがこれらのプログラムを使用できるようにした。
2. 大量の話しことばデータベースを作成した。電子計算機に入力され、分析・処理が可能なデータは約130万語、文脈つき索引の形で利用できるもの18461ページ、マイクロフィッシュ190シート。収集した話しことばデータ（録音テープおよび文字化資料）は1000種類にのぼる。これらのデータは話しことばの語彙、語法、文法、文章研究に有用な資料になると考えられる。
3. 話しことばの分類のためには、話し手・聞き手・環境・場所・話題等の情報を用いるだけでなく、語彙の量的・時系列的構造の解析も有効であることがわかった。
4. 話しことばの語彙の分析のために、いわゆる短い単位と長い単位がそれぞれの目的に有効であることを確認した。

本研究の成果をふまえ、次の問題について研究が進められることが望まれる。

(1) 話しことばの語彙の構造に関する研究

(2) 言語研究のためのデータベースおよびそれを用いるための個人研究用の電子計算機処理システムの研究



## 2-2. 研究組織

所属・職は昭和57年度当時のものである。

研究代表者 国立国語研究所言語計量研究部長 斎賀秀夫

研究分担者

土屋信一 国立国語研究所言語計量研究部第一研究室長

中野 洋 同 上 主任研究官

龜岡昭夫 同 上 主任研究官

野村雅昭 同 上 第二研究室長

佐竹秀雄 同 上 第二研究室研究員

斎藤秀紀 同 上 第三研究室長

田中卓史 同 上 主任研究官（昭和56年度まで）

以上のほか、第一研究室研究補助員 中俣久美子、小沢（旧姓長田）厚子、山口和子が研究を補助し、アルバイト 古田啓、清田百合子、東浦一子、神谷純子、松尾多希子、喜多英子、崔蓮美、佐藤彰子、疇津真砂子、今野えり子、岩澤敏子、村石美紀、浅川聖子、君島真佐子、宇賀神規子、吉田真澄、清水真友美、横山明美、北嶋節子、鈴木道子、曾根淳子、真田恵都子、植木智美、永井裕子、嶋崎真理子、山本祥子、渋谷みどり、森田真美子が作業を助けた。

## 2-3. 研究経費

昭和55年度 7500千円

昭和56年度 7500千円

昭和57年度 1900千円

## 2-4. 研究報告書の内容

本研究に関する報告は、研究目的にも述べたように多岐にわたり、量も多い。そこで、以下のように内容の近いものをまとめ、3分冊とした。

第一分冊 総論・話しことばの語彙および分類について

1. 研究の概要（目的・成果・組織・経費）

2. 研究報告書の内容あらまし（第一分冊～第三分冊）

3. 話しことばの語彙について

3-1. 話しことばと書きことばの差異

ある話しことばの語彙調査から――書きことばの語彙との比較――

3-2. 話しことばの語彙に関する調査システム

- 3-3. サウンドスペクトログラムによるポーズの分析
  - ポーズの分析(1)
- 3-4. 本研究における入力データ量
- 3-5. テレビのことばとラジオのことば -- 実況放送のことばの語彙の比較 --
- 3-6. 話しことばと書きことばのかなの頻度
- 4. 話しことばの分類
  - 4-1. データ記述用語の分析 -- 話しことばの分類のために --
  - 4-2. 話しことばにおける聞き手決定について -- 誰に向けて話されたか --
  - 4-3. 話しことばの語彙の時系列的分析
  - 4-4. 話しことばテキストを語彙の量的構造によって分類する試み

## 第二分冊 言語研究のためのプログラム集

- 0. 目的 はじめに 内容について
- 1. 言語研究のためのデータベースマネジメントシステム
  - 1-1. データベースとは
  - 1-2. 話しことばの語彙調査
  - 1-3. インデックス情報の処理
- 2. 話しことば集計プログラム
  - 2-1. データの形式
  - 2-2. 話しことば集計プログラムについて①
  - 2-3.                   "                   ②
  - 2-4.                   "                   ③
  - 2-5. KWIC作成プログラムとそのリスト
- 3. 分析プログラム
  - 3-1. 話しことばデータ 分析ルーチン1 語彙調査
  - 3-2. テレビとラジオにおける野球と相撲の実況中継のことば
    - 同語異語判別システムおよび時系列的分析
- 4. エラーデータ
  - 4-1. 話しことばのエラーレコード集計
- 5. パーソナルコンピュータによる言語研究用プログラム集
  - 5-1. はじめに
  - 5-2. 言語研究のためのデータベース
  - 5-3. 機械語とソート
  - 5-4. 数値データを利用するためのグラフ試作プログラム
  - 5-5. カナ文字入力用エディタ



第三分冊 話しことばデータ集一覧

- 1.内容
- 2.表の見方
- 3.データ一覧
- 3-1.「言語生活」データ
- 3-2.「談話語の実態」「話しことばの文型」データ
- 3-3.国研内採集データ（テレビ・ラジオ・街頭録音、講義・演説等）
- 3-4.上甲氏採集データ
- 3-5.D大学生採集データ
- 3-6.R大学生採集データ
- 3-7.市販話しことばデータ
- 4.文脈つき用語総索引・マイクロフィッシュについて

II 『言語生活』録音器欄データについて

1.データの性格

すでに文字化されている話しことばデータは、国立国語研究所報告8の『談話語の実態』および同報告18,23の『話しことばの文型（1）、（2）』用に採集されたものがある。これらは、前者がローマ字表記、後者がカタカナ表記であり、専門家による厳密な検査が施されている。まず初めにこのデータの入力・処理を行った。

文字化されている大量データのもう一つは、『言語生活』録音器欄である。このデータの録音・文字化は、その多くが『言語生活』編集部（国立国語研究所員）であり、一部一般読者の手になっている。

このデータの特徴は、昭和26年以来ほとんど毎月続けられているということ、その対象が多種多様なことである。このデータを使用した話しことばの研究も数多く見られる。

土屋信一「話しことばの中の漢語」（『言語生活』169号、1965年）

杉戸清樹・沢木幹栄「言語行動の記述－買い物行動における話しことばの諸側面－」

（講座 言語 第3巻『言語と行動』1979年）

しかし、次のような欠点も見られる。

- (1)「録音器」欄は、「話しことばを忠実に文字化した資料」という添え書きがあるものの、担当者の関心が音声や語彙よりも話の流れややり取りにある場合もあり、必ずしも文字化が話し言葉に忠実でないものがある。

(2) したがって、文字化についても音声表記のもの、カナ表記のもの、漢字かな表記のものがある。

われわれの主たる関心は話しことばの語彙構造の調査にあって、これらを研究・分析するための基礎資料としては使えるものと判断し、データとして採用した。したがって、それ以外の分析目的においては使用上注意が必要である。

## 2. 調査単位と表記

ほぼβ単位に従った。ただし、話しことば特有の融合形や言いさし、言いよどみなどはそのままの形をとり、もとの形に戻すことはしなかった。

表記については、前述の通り、『言語生活』録音器欄の漢字かな交じり表記をカタカナ表記に直して入力した。科研費の交付期間の3年間という短い期間に大量のデータの処理を完了するため、作業を簡略化したかったためである。

カタカナ表記されている本データは音声进行分析するには十分でない。たとえば、「ガ」と表記された音節が鼻濁音であるかどうかはわからないし、「フ」と表記された音節が唇音であるかどうかはわからない。さらに、「デス」と表記された文末の語の最後の母韻が脱落しているかどうかはわからないのである。

原文が漢字表記されている語は、その読みを現代仮名遣いにより付け、カタカナで表記している。実際の読みと異なる場合がある。これも音声・音韻分析に堪えない理由となっている。

録音器欄がカタカナ表記されている多くのデータについては現代仮名遣いによらないものもある。例えば、助詞の「は」「へ」「を」や長音を含む単語を次のように表記している号もある。

ソレウソニジダネ。(6号「予備隊員のひととき」)

オ話オ オ進メニナッテ下サイヨ。(7号「PTAの会議風景」)

これらは、そのままの形で入力している。

## 3. 調査の手順

### 3-1. 話しことば集計プログラム - データの形式 -

(1) 本研究用の入力データの型式は、4種類ある。入力機械が、IBMカードパンチャー、IBMフォーマットのフロッピーへのデータエントリーシステム、PDP-11の3種類、入力方法が研究所内パンチと外注パンチの2種類によったためである。以下に示すのは、最も量の多かった、しかも汎用性のあるカードイメージデータである。

(2) レコードの長さ 80字

(3) 使用文字 JIS C-6233に規定する文字。

(カタカナ、英字、数字、記号)

(4) データの型式の制約

7カラム以降から72カラムまで。73から8文字はレコード番号。

処理単位となるデータはスペース1字以上で区切る。レコードは2行にまたがらない。

(5) 付加情報 1文字目から始まる以下の文字列の後ろに1文字のスペースをあけて入れる。

ゴウスウ 号数を示す。

タイトル 話題のタイトルを示す。

バシヨ 場所

ジンプツ 登場する人物の説明をいれる。略号を後ろに置いて良い。

ダン 原資料の段をいれる。

ゴウスウの他は省略しても良い。

1文字目から3文字の数字(ページ)、4文字目から2文字の数字(行)

(6) その他 人物の後ろに\*\*\*の記号をいれれば、つぎのデータは聞き手情報となる。これは人物情報で規定した略号でも良い。

(7) 付加情報の処理 付加情報は番号がつけられ、インデックスファイルに書き込まれる。号数と付加情報の番号をデータファイルに書く。この番号をKWICにつけて印字する。これは、各情報の長さが可変であったためである。付加情報の利用の仕方はインデックス情報の処理で述べた。

(8) データ例

① 原データ例

録音器

戦争と2人の左官屋

東京の間屋街で、ある店が改装している。ちょうど左官屋さんの工事が始まっていて、昼の休みに雑談をしているところである。

40歳前後の左官屋さん2人が主役であるが、2人とも江戸っ子である。ほかに、これも江戸っ子の問屋の主人夫婦がいる。

左官屋1 昔オメー負ケルノニー生懸命ニナミンナデー生懸命ニ

左官屋2 アア ソーダネ。

左1 要塞オ コシラエタト思ッたら タチマチ コワサレチャウシ。戦争始メル前デスヨ。主人 ホー。

婦人 ホー。何年ゴロ?

左2 15年デスヨ。

婦人 ホー。

左1 モーネ 戦争オヤルノワ モーネ モー ヤルツモリデイタンダカラネ ソレダカラネ アレデスヨ 18年デスヨ。イヤ 16年デショー 戦争ガ始マッタノネ。

左2 ダカラ ソノ前ノトシ。



左1 帰ッテ来テサ 帰ッテ来テネ エー

左2 3月グライデスネ。

左1 何月ダカ7月ダカ 8月ダッタンダネ シカモ11月ニ モー 12月ニ始マッタンダ  
カラ 3月カ4月カアルカネ。

トニカクネ 船デネー 船デ4時間行ケバ モー 要塞ナングカラ。島ガ コー点々  
トシテ アルデショー。4時間行キヤー モー 要塞 4時間行キヤーモー 要塞ナ  
ングカラ。ズーット トリカコンジャッテンダカラ。アラユル組ガミンナ ーツズ  
ツ引キ受ケテ 大キナ組ジャー 5ツモ6ツモ 要塞オ 引キ受ケテ

左2 大キナ組ワ ホトンド行ッチャック。

左1 終ルトタンニネ 仕事ガデキルトタン モー 始メチャッタンデス。

主 ホー。

左1 横須賀デ アノー オリタラネ ソノ船カラオリテモネ ドコエ行ッテ来タ ドー  
ユートコロエ 行ッテ来タッテコトワネ言ッチャイケナイナンテネ 出ル時サ  
イワレチャッテサ……。トニカクネ 変ニ キタネーカッコーオシテネ ソレダッ  
テ アンタ 1年モイタンデショー 持ッテッタモノワ ミンナ ボロボロニ ナッ  
チャテサ ダメニナッチャタデショー 変ナカッコーオシテ 時期ハズレナモノオ  
アンタ 省線ニ乗ッタラ ツカマッチャテサ 刑事ニ オ前タチワ ドコエ行ッテ  
来タッテンデ。サー コマッチャッテサ ドコエ行ッテ来タッテサ 言ッチャイケ  
ネーッテ言ウダモノネ。

一同 アッハッハッハッハ

左1 オ前タチ ドコカラ来タンダッテ、カッコーガ変デショー。

主 ウン。

左1 ソレデ アノー 時期ガ違ウダカラ着ルモンガサ。ドコカラ来タカッテ言ワレ  
チャッテサ ドコカラ来タッタッテ コレワ モー オ前 アレダモノー 憲兵ニ  
オ前 言ッチャイケナイッテ イワレテル

②入力データ例

\*1\* コウスウ 6026  
 \*2\* タイトル (1) センソウトサカンヤ  
 \*4\* ハナシテ (01) サカンヤ1:サカン1  
 \*4\* ハナシテ (02) サカンヤ2:サカン2  
 \*4\* ハナシテ (03) トンヤノシュジシ:シュジシ  
 \*4\* ハナシテ (04) トンヤノカミサン:フジシ  
 \*4\* ハナシテ (05) イチトウ:イチトウ  
 \*3\* ハシヨ (01) トウキョーノトンヤカ  
 \*5\* キキテ (06) タスウ  
 \*5\* キキテ (07) ヒトリコト  
 6026 018 ウエ 01 01 02 ムカシ オメー マケル ノニ イッショウ ケンメイ ニ ナ  
 6026 018 ウエ 02 01 02 ミンナ テ イッショウ ケンメイ ニ  
 6026 018 ウエ 03 02 01 アア ソー タネ .  
 6026 018 ウエ 04 01 06 ヨーサイ オ コシラエ タ ト オモッ タラ タチマチ  
 6026 018 ウエ 05 01 06 コワサ レ チャウ シ . センソー ハジメル マエ テス  
 6026 018 ウエ 06 01 06 ヨ .  
 6026 018 ウエ 07 03 01 ホー .  
 6026 018 ウエ 08 04 01 ホー . ナン ネン コロ ?  
 6026 018 ウエ 09 02 04 シュー コー ネン テスヨ .  
 6026 018 ウエ 10 04 01 ホー .  
 6026 018 ウエ 11 01 06 モー ネ センソー オ ヤル ノ ワ モー ネ モー  
 6026 018 ウエ 12 01 06 ヤル ツモリ テ イ タン タ カラ ネ ソレ タ  
 6026 018 ナカ 01 01 06 カラ ネ アレ テスヨ シュー ハチ ネン テスヨ . イヤ  
 6026 018 ナカ 02 01 06 シュー ロク ネン テショー センソー カ ハジマッ タ ノ ネ .  
 6026 018 ナカ 03 02 01 タカラ ソノ マエ ノ トシ .  
 6026 018 ナカ 04 01 06 カエッ テ キ テ サ カエッ テ キ テ ネ エー  
 6026 018 ナカ 05 02 01 ミツキ クライ テスネ .  
 6026 018 ナカ 06 01 06 ナン カツ タ カ ヒチ カツ タ カ ハチ カツ タ ッ タン タ ネ  
 6026 018 ナカ 07 01 06 シカモ シュー イチ カツ ニ モー シュー ニ カツ ニ ハジマッ タ  
 6026 018 ナカ 08 01 06 ン タ カラ ミツキ カヨ ツキ カアル カネ .  
 6026 018 ナカ 09 01 06 トニカタ ネ フネ テー ネー フネ テー ヨ シカン イケ  
 6026 018 ナカ 10 01 06 ハー モー ヨーサイ ナン タ カラ . シマカ コー  
 6026 018 ナカ 11 01 06 テンテント シ テアル テショー . ヨ シカン イキヤ  
 6026 018 ナカ 12 01 06 モー ヨーサイ ヨ シカン イキヤー モー ヨーサイ  
 6026 018 ナカ 13 01 06 ナン タ カラ . スーット トリカコン シヤッ  
 6026 018 ナカ 14 01 06 テン タ カラ . アラユル クミ カ ミンナ ヒトツ  
 6026 018 ナカ 15 01 06 スッ ヒキウケ テ オオキナ クミ ジャー イツツ モ  
 6026 018 ナカ 16 01 06 ムツツ モ ヨーサイ オ ヒキウケ テ  
 6026 018 ナカ 17 02 06 オオキナ クミ ワ ホトント イッ チャッ タ .  
 6026 018 ナカ 18 01 06 オワルトタン ニ ネ シコト カ テキル トタン  
 6026 018 ナカ 19 01 06 ニ モー ハジメ チャッ タン テス .  
 6026 018 シタ 01 03 01 ホー .  
 6026 018 シタ 02 01 06 ヨコスカ テー アノー オリ タラ ネ ソノ  
 6026 018 シタ 03 01 06 フネカラ オリ テー モーネトコエ イッ テキ タト  
 6026 018 シタ 04 01 06 ユー トコロ エ イッ テキ タッ テコト ワネ  
 6026 018 シタ 05 01 06 コッ チャ イケ ナイ ナンテ ネ テル トキ サ イフ







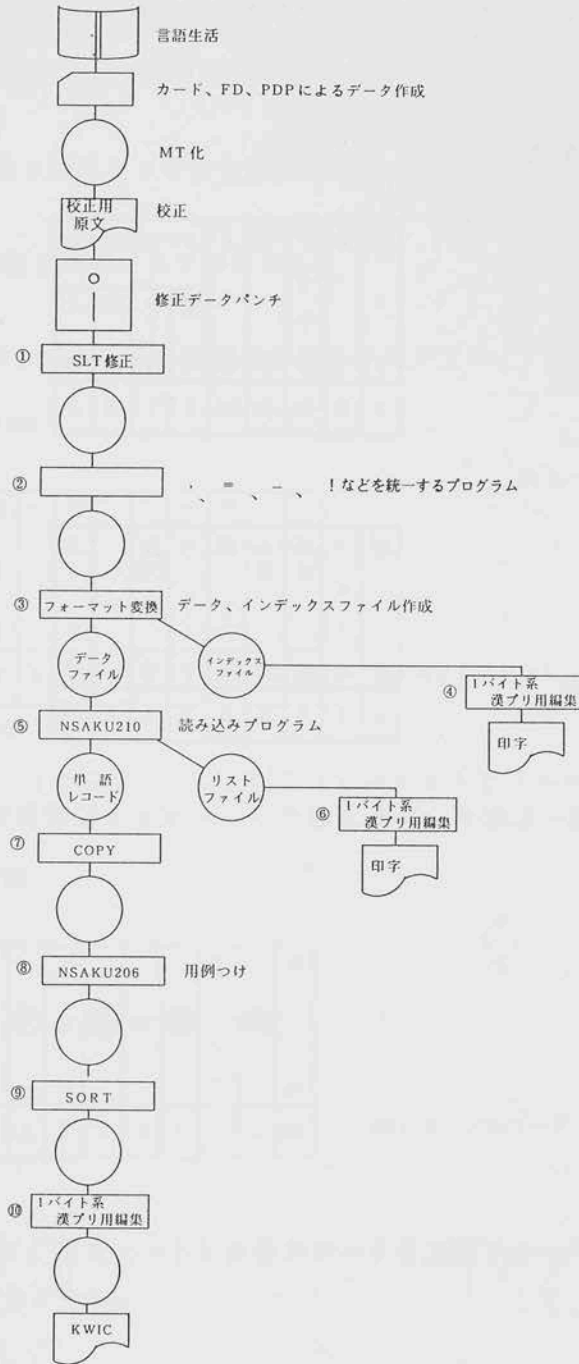
3-2. 話しことば集計プログラムについて - データの作成 -

以下に示すプログラムの主要なものについては、科研費の報告第二分冊にプログラムリストを公表してある。参照されたい。

(1) 作業手順

KWIC作成までの作業手順をフローチャートで示す。

データは、カード、FD、PDPによって作成した3種類のファイルがあるが、それぞれ同じ手順で作業をした。



(2) ジョブ・ステップの概略

フロー・チャートで示した、ジョブの概略等を以下に示す。

① SLT 修正

原文データを検査、校正し、データエントリ装置 L320 によって修正データを作成 (FD) する。これを用いて電子計算機 HITAC M150 で最終修正を行なう。

② データの中の「 , 、 = 、 - 、 ! 」などを統一するプログラム

カード分、FD分、PDP分では、それぞれ使われている符号が異なるため、これを統一した。

③ フォーマット変換

インデックス・ファイル

コ ド	番 号	タ イ ト ル	場 所	場 所	人 物	データファイル用 コード		
						番 号	タ イ ト ル	場 所
1	3	40	40	60	3	1	2	2

152バイト/レコード

データ・ファイル

番 号	タ イ ト ル	場 所	場 所	人 物	聞 き 手	べ い ジ	段 番 号	文 行 脈
3	1	2	2	2	3	3	2	75

93バイト/レコード

②で符号を統一したデータを上記のフォーマットに変換するプログラム

④ 1バイト系 漢プリ用編集

フォーマット変換で作成したインデックス・ファイルを、漢字プリンタで出力するプログラム。

⑤ NSAKU210 読み込みプログラム

このプログラムは、プログラム名が示すとおり、「索引作成プログラム ライブラリー」の一部である。以下⑧⑩も同様。

カードおよびPDPによる入力分は、データの先頭がスペースになっているものがあった。これが原因で（国研報告59参照）エラーが起ったため、先頭にスペースがきたときには、無視して次のレコードを読むようにプログラムを修正した。

⑥ 1バイト系漢プリ用編集

NSAKU210で作成したリストファイルを漢字プリンタで出力するプログラム。

⑦ COPY

入力テープと全く同じ内容出力するプログラム。

⑧ NSAKU206 用例つけ

NSAKU210で作成されたレコードに用例をつけるプログラム。

⑨ SORT

代	出	番	タ	場	話	聞	ベ	段			カ	用		
	現		イ		し	き	い	番	行	Ⓢ	ウ		前	後
表	形	号	ト	所	手	手	ジ	号			ン	例		
10	10	3	1	2	2	2	3	3	2	2	7	40	10	10

107バイト/レコード

NSAKU206で用例をつけたレコードを上記のフォーマットでソートする。

⑩ 1バイト系 漢プリ用編集

代	出	番		ベ		話		段			カ		用	
	現		Ⓢ	い	Ⓢ	し	Ⓢ	番	Ⓢ	行	Ⓢ	ウ	Ⓢ	
表	形	号		ジ		手		号			ン		例	
10	10	3	1	3	1	2	1	3	1	2	1	7	1	40

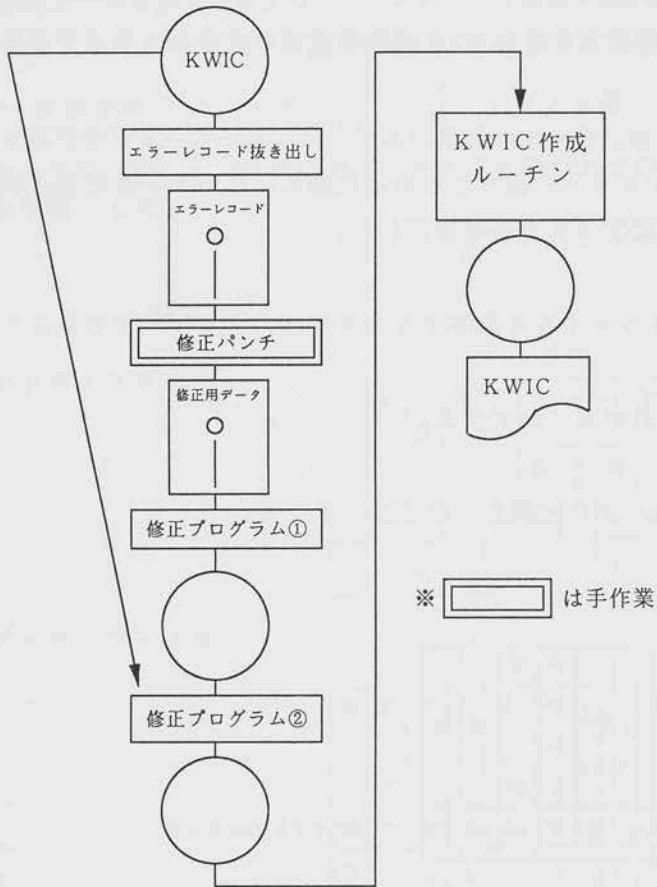
86バイト/レコード

NSAKU206で作成され、⑨でソートした各レコードを上記フォーマットで漢字プリンターにより出力するプログラム。



(1) 作業の流れ

KWICの修正の作業手順をフローチャートで示す。



(2) ジョブ・ステップの概略

① エラーレコードの抜き出し

修正パンチを行うために、KWICのMTからエラーレコードだけを抜き出して、FDにおとした。

FDのフォーマットは次のとおり。

代	出	番	ベ		カ			用	
表	現		(SP)		(SP)	行	段	カ	
形	形	号	ジ					ウ	
								ン	
								ト	
								例	
10	10	3	1	3	1	2	3	7	40

80バイト/レコード



シュ                      シュ                      052 039 04ウエ 0195500 シュ カ.ア ヨウメイ

- ・結合の場合、二番目の語は、プログラムで自動的に削除されるので、上の例のように、二番目のシュのユを小文字に置き換えて、前の語のヨウメイのところでヨウメイシュと結合にすれば、結合と置き換えが一度にできる。

㊦ 繰り返し処理

					最初のカウン	最後のカウン	△レコード数
ナツ	ナツ	052 040 15ウエ	0200690	-0198830	013	REC	
ナツ	ナツ	052 040 07ウエ	0199950	ール.コノ	ゴロ	ニ	
ナツ	ナツ	052 041 04ウエ	0205520	ガ	ワルイ.コナ	ニ	
ナツ	ナツ	052 040 11ウエ	0200350	ナナジュウ	ロク	ニ	
ナツ	ナツ	052 041 24ウエ	0207280	モ	アリガトー.キニ		
ナツ	ナツ	052 040 21ウエ	0201300	テモ	ヨイト	ユー	キニ
ナツ	ナツ	052 041 22ウエ	0207080	リ	デ	ネ	シヨウニンニ
ナツ	ナツ	052 040 21ウエ	0201230	カラ	イツ	モ	ホトケニ
ナツ	ナツ	052 041 12ウエ	0206070	ズ	イブ	ング	ワイヨク
ナツ	ナツ	052 041 02ナカ	0207530	コレ	ネ	グ	アイヨク
ナツ	ナツ	052 040 08ウエ	0200090	モ	イワ	レル	トイヤン
ナツ	ナツ	052 039 18シタ	0198770	ムレ	ナイ	ヨ.ヨコ	ン
ナツ	ナツ	052 039 19シタ	0198830	ナツ	テモ	ネ.ヨコ	ン

13レコード続けて、ナツのツを小文字にするために、一番目のレコードの代表形をナツになおし、カウンの後に-（ハイフン）最後のレコードのカウン△（スペース）修正したいレコード数RECを入れる。

③ KWIC 修正プログラム①

このプログラムは、(2)でパンチしたデータにより、MT上に修正データを作ること、およびその修正データにより用例を変更し、これを確認することを目的とする。

④ KWIC 修正プログラム②

このプログラムは、修正プログラム①で確認した修正データによりKWICのMTを修正する。

修正は次のように行う。

- ① 置き換え                      そのまま出力
- ② 分割                              レコードをつくる
- ③ 削除                              出力しない
- ④ 結合                              そのまま出力



#### 4. データ記述用語の分析——話しことばの分類のために——

##### (1) 目的

話しことばを研究する資料として、われわれが構築したデータベースは有効である。ところで、われわれのデータは130万余語にもものぼるため、一つ一つを読んで選んでいくことは事実上不可能である。そのため、それぞれの研究目的にあわせ、タイトル等によって選ぶということになる。これを機械によって行うことを考えた。ここでは、「言語生活」「録音器」欄データ資料について検討を加える。

データにはデータ記述情報が付加されている。これらは5種類の情報によって構成されている。

- ① 「言語生活」の号数
- ② 「言語生活」「録音器」欄につけられたタイトル
- ③ 録音場所に関する情報
- ④ 話し手に関する情報
- ⑤ 聞き手に関する情報

これらは、原資料の冒頭にある記述を計算機処理用に要約したものである。したがって、そこには文字化した人の意図および資料の言語的特徴が示されている。データ記述情報の計算機処理は科研費報告書第二分冊「インデックス情報の処理」で述べた。

本稿では、データ記述情報をもとに「言語生活」「録音器」欄データの種類、およびその分類について考える。

##### (2) 手続

1. 「言語生活」「録音器」欄データのデータ記述情報を取り出す。
2. 1を $\beta$ 単位に分割し、かつ助詞・助動詞を除く。
3. 2を異なりにまとめる。
4. 3について、下のよう、その属性( )内と説明を入れる。

主婦	(性が)	女
	(年令が)	18歳以上であることが多い
	(職業が)	主婦
	(結婚)	している
先生	(職業が)	教師・医者・弁護士・芸術家・議員など
	(年令が)	20歳以上であることが多い
幼稚園	(場所が)	幼稚園
	(公私の別)	公
	(人物)	教師・幼稚園児など

### (3) 結果

#### (3-1).データ記述に用いられた語

データ記述に最も多く用いられた語は次の通りである。

多数 (214), 男 (197), 女 (149), ひとりごと (116), 客 (93), 不明 (52), 女性 (48), 展覧会場 (39), 東京 (33), 主婦 (32), 男性 (31), 男の子 (29), 先生 (29), 女の子 (27), 生徒 (26), 学生 (25), 電話 (25), 母 (24), 女子大生 (22), 家 (20), 子供 (20), 中年 (20), アナウンサー (19), 主人 (19), 人 (19), ある (18), 母親 (18), 外国 (17), 生活 (17), 長い (17), ビジネスマン (17), 妻 (16), 男子 (15), 店 (15), 患者 (14), 助手 (14), 若い (14), 30代 (13), 役員 (13), PTA (13), 高校生 (12), サラリーマン (12), 父 (12), 父親 (12), 店員 (12), 娘 (12), 録音子 (12), 聞きて (11), 研究員 (11)

( ) 内に示したのは頻度数であるが、使われ方の目やすにする程度で特に意味がない。

#### (3-2).属性

属性の立て方は特に規定して始めたわけではない。あまり多くてもよくないが、少なすぎて説明が不十分になってもいけない。データ検索に用いるため作ったものであるから、ユーザー (研究者) の想起する属性と一致することが望ましいわけである。現段階では以下に記すとおりであるが、なお記述が不十分であるところも少なくない。順次改めてゆけばよいと考えている。

上のようにして、立てられた属性を分類すると次のようになる。

- ① 時
- ② 場所・集まり・乗り物・交通・通行・地名・社名
- ③ (人物)   A 性  
              B 年令  
              C (職業など) 人・仕事・社名  
              D 結婚・健康・趣味・主義  
              E 言葉・出身  
              G 人名  
              F (人と人との関係) 家族・主婦・関係・組織・役
- ④ 人数・数
- ⑤ 目的
- ⑥ 品物・生き物

これらは、話しことばを記述するために用いられたことばの分類であるが、話しことばそのものを分類するための基準を作る資料にもなると思われる。

#### (3-3).属性による語の分類

属性によって語を分類する。以下にあげた表により、どのような人、場所、目的等の話しことばが資料としてとられているかがわかる。

属性内の分類はそれほど厳密ではない。もちろん、前述のとおり、一つの語がいくつかの属性に属している場合がある。

#### (4) まとめ

話しことばの分類を行うための予備的調査としてデータ記述用語の分析を試みた。

その結果、データ記述用語は、時、場所、人物（性・年齢・職業、個人的特徴、言語的特徴、人と人との関係）人数、目的、その他に分かれ、これらが話しことばの分類にも役立つということがわかった。しかし、ここでは、データ記述用語の一次的分類にとどまっただけであり、なお詳しい分析が必要であると思われる。今後分析を続けたい。

データ記述用語の分析には、本科学研究費による研究が始まって以来その作業を助けた喜多英子の助力が大きい。記して感謝の意を表する。

#### 属性による記述用語の分類表

##### 〔集まり〕

- \* 結婚式・結婚披露宴（2）・披露宴風景・金婚式・法事・落成披露・祝賀会・同窓会・同窓会総会・慰安会・忘年会・スピーチ
- \* 会議・衆議員議会・臨時議会・町議会・委員会・討論・討論会・政治討論会・座談会・学級会
- \* 演説・個人演説・日本語弁論大会（2）・会見・記者会見・運転者講習会・父親学級
- \* オリンピック・相撲秋場所・相撲夏場所・優勝決定戦・プレス競技・将棋対局・展示会・文化祭・奉納演芸大会・祭・ショー・美人コンクール・モデル市
- \* 雑談・将棋酔談・対話・立ち話・勉強会・放談・マージャン会・野菜談議・寄り合い
- \* 国電スト

##### 〔生き物〕

- \* 犬・子犬・猿・猫
- \* 魚・山しょう魚
- \* 蛇・蝮

##### 〔家族〕

- \* 兄・夫の兄弟・兄弟・妻の兄弟・姉妹の夫たち・姉・義理の姉（2）・嫁
- \* 祖父（3）・祖母
- \* 父・父親・母・母親・パパ
- \* 子供（5）・長男・娘・跡取り
- \* 身内

##### 〔関係〕

- \* 相手・あなた・お宅・YOU
- \* 主（あるじ）・上司・跡取り・弟子・同僚・仲間
- \* 案内者・案内人・相談員・相談者



\* 客 (4)・観客・観衆・乗客・乗車客・酔客・先客 (船客?)・来賓・買い手

\* 加害者・被害者

\* 東京本社

\* 夫婦・父兄

〔結婚〕

\* している (16)・これからする (2)・してない

\* 50年目

〔健康〕

\* 風邪・下痢・鼻茸

\* 交通事故

\* 進行麻痺・精神病・そう病・てんかん・ノイローゼ患者・分裂病

〔言葉〕

\* 国語・日本語 (にっぽんご)・外来語・英語 (4)・母音・翻訳・語源・方言・大阪弁・京都弁・東京弁・名古屋弁

\* 書生言葉・女性語・花町言葉・農業用語

\* 軽い敬語 (5)・敬称 (7)・芸者の異称・親称 (10)・尊敬語・丁寧 (32)・話し方・皮肉った言い方

〔社名〕

\* 朝日新聞東京本社・甲特約店・西南航空・中日・南西航空

\* 甲研究所・モーター普及協会

〔出身〕

\* 日本 (3)・外国 (9)・アメリカ・外国人・ヨーロッパ・ロシア

\* 関東・近畿・四国・地方

\* 女子学習院

\* 千葉 (2)・東京 (2)・長野県・静岡・名古屋 (2)・大阪・愛媛県

〔主義〕

\* 正統派

\* 戦前派

〔趣味〕

\* 愛犬

\* アマチュア無線 (2)

\* 絵・折り紙・音楽・劇・コーラス・ジャズ・スケッチ・ツーテンジャック・落語

\* キャンプ・重量挙げ・スポーツ・ダンス・旅行・競輪

〔仕事〕

\* アナウンサー・インタビュアー・解説・解説者・タレント (3)・テレビ放送・ディスク

- ジョッキー・ナレーター・放送(2)
- \* アルバイト・手伝い・出稼ぎ
  - \* 案内(2)・鉄道案内・案内所・案内所員・案内人・ガイド(2)・フレイガイド・相談員・結婚相談・電話相談・指導員・通訳
  - \* 医師・医者(4)・看護婦
  - \* 鋳物製造・印刷屋(2)・機械メーカー・製造業・造船・電気メーカー・メーカー
  - \* 飲食店・ウェイトレス・女中(2)・中華そば屋・バーテン・ボーイ・お茶漬屋・料理屋・番頭
  - \* お寺さん・神父・宣教師・運勢判断・人寄せ易者
  - \* 運転手(2)・車掌・船頭
  - \* 営業・営業課長・営業マン・係員・銀行員・従業員・事務・セールス・総(2)・通信係・務め人・電話交換手・元会計課員・元庶務部長
  - \* 会社(3)・会社員(4)・航空会社(2)・出版社・証券会社・新聞社(2)・電話通信・販売会社・不動産
  - \* 英語教師・教師(3)・教授(2)・講師(2)・先生(2)・民俗学者(2)・国語教育・授業
  - \* エキストラ・演出家(2)・音楽指揮者(2)・歌手・シャンソン歌手・囃家・舞台監督・漫才師・モデル・落語・スクリプター・芸者・半玉・ダンス
  - \* 卸し売り・かつら屋・金魚屋・葉売り・くず屋・米屋・魚屋・サボテン屋・周旋屋・質屋・素問屋・せんべい売り・卵売り・詰め将棋屋・的屋・店員・特約販売(4)・トラック販売・問屋・人形売り・販売(3)・包丁売り・土産物屋・物売り・不明(何屋さん)・仕事斡旋・商業・公益質屋
  - \* カメラマン・画家・競輪・建築請負・建築業・作家・左官・将棋(2)・職人・詩人・ジャズ・重量挙げ・スポーツ・大工・チンピラやくざ・評論家・野球・予想屋・両替・両替人・漁師・理髪店・美容院・公園管理人
  - \* 画学生(2)・学生(2)・高校生(6)・高校3年・小学生・小学1年(2)・小学2年(4)・小学3年(4)・小学4年(2)・小学5年・小学6年・受験生・児童・大学院生・大学生(11)・大学3年・大学4年・中学生(6)・中学2年・中学3年・STUDENT
  - \* 議員(6)・衆議院議員(2)・社会党議員(2)・民社党議員(2)・自民党議員(4)・政治家・町会役員・町議会議員・政治(2)・選挙事務
  - \* 公務員・吏員・区の事務・区の事務業務・税務
  - \* 警官・警察(3)・警察官(3)・消防・消防庁・兵隊・裁判官・法律関係
  - \* 計測者・研究所員・所員・元研究員・研究生・研修生・言語生活調査員・聴講者・録音器子・録音子・録音者・録音担当者・研究(4)・言語調査・国語研究(3)・実験(2)・宣伝研究・調査(2)・方言調査・面接調査

\* 主婦 (2)

[品物]

\* インク・靴墨・化粧品・乳液・汚れ落とし

\* ウィスキーボンボン

\* 絵本・雑誌・本・編集誌・折紙・図面・万年筆・キューピー人形・着物・かつら・婦人服・ジャンパー・杯・将棋盤・土産

\* お金・金・財布

\* 拡声器・スピーカー・こたつ・電気こたつ・火鉢・テレビ・ラジオ・電子計算機・電話・時計・複写装置・万能調理器・万能鍋・ポリ容器・テーブル・野菜汁製造機

\* 魚

[組織]

\* 温州会・学友会・クラブ・グループ・劇団・コーラス・小サークル・書道クラブ・素人オーケストラ・女子部

\* カトリック教・キリスト教世界・宗教・PL教団

\* W党・Z党

\* 巨人軍

\* 組合・日教組

\* 軍隊

\* 某調査機関

[乗物]

\* 急行列車・登山列車・鈍行列車・普通列車・列車

\* 京都市バス・市バス (2)・分譲バス・車・小型トラック・宣伝カー・タクシー・パトロールカー・ラジオカー (2)

\* 船・渡し舟

\* マルエレベーター

[場所]

\* 街頭 (3)・アーケード街・映画館通り・学生街・商店街・問屋街・人出の多い所・大阪新世界・住宅街・小路筋・私道・通り・道路 (2)・歩道・道・道端

\* 浅草観音堂・御神楽殿・観音寺・社寺 (2)・白髭神社・寺社の境内・神社・浅草寺・善光寺前・達磨堂・天神さん・富士神社・本堂・PL教団・寺 (2)・教会

\* 公園・駅前広場・遊園地・あさくさ公園

\* 庭・庭先

\* アパート・団地・住宅・自宅・松崎家・村越さん宅

\* 台 (5)・客間・えんがわ・応接・勝手ぐち・いろり・こたつ

\* 雇い主の家・渡辺家・遺族の家・お宅・家庭 (5)・M家



- \* 魚がし・かつらや・金魚屋・化粧品店・古書店・米や・素問屋F家・店(5)・店先・店の中・店頭・店内・専門店・特約店・問屋(2)・百貨店・デパート・土産物や・洋品店・植木市・市場・サボテン屋・魚や・やっちゃば・セールス風景・アロハ売場・売場・家庭洋品売場・化粧品売場・呉服物売場・食品売場・特売場・なんとか処分市・販売会場・服地売場・婦人服売場・ブラウス売場・モデル市・浴衣売場・草履売場
- \* 朝日新聞講堂・共立講堂・ひとつばし講堂・N大講堂
- \* 学校(10)・大学(17)・大学院・東大工学部・私立大学・学習院・経済学部・女子大学・大学キャンパス・大学紛争・高等学校(7)・高校(5)・女子高校(2)・商業学校・中学校(7)・B国立中学・私立中学・小学校(11)・幼稚園風景・幼稚園Aクラス・幼稚園Bクラス・年長ぐみ・保育園・編物学校・編物教室・階段教室・料理学校・理容学校・教室(5)・男子クラス・実験室(2)・通信工学室・実験場面・学園・体育館・某小学校・講習会
- \* 会社(12)・建設会社(2)・出版社・不動産会社・某証券会社・TO販売会社・X社・営業所・事務所・本部・モーター普及協会・某社・本社・東京支部・K市電話局・職業安定所
- \* 案内所(2)・相談所(2)・相談室・相談所・某プレイガイド・両替所(2)・S相談所
- \* 片すみ・ここ・前・中・真中・正面・外・上・裏・傍ら・ほとり・向う・近い・近く・門・廊下・近所・やがい・正面きど口・一室・電話口
- \* しのばず池・上高地・みょうじん池
- \* 駅(4)・駅前(2)・いけぶくろ東口・上野駅・上野駅構内・よよぎ駅近く・S駅近く・S駅前
- \* 交換台・指令通信室(2)・通信室
- \* 研究所(2)・研究機関・研究所・研究室・一研究室・研究所内・国立国語研究所
- \* 井戸端(2)・共同井戸・共同水道
- \* 工場・鋳物工場・機械メーカー・造船所・メーカー・A電機メーカー・印刷屋
- \* 飲食店・軽食堂・お茶づけ屋・中華蕎麦屋・割ぼうT・酒場・大衆酒場・飲み屋風景・飲み屋・バー・料亭(5)・料理屋・レストラン・相撲茶屋(2)・茶店
- \* インタビュー風景・解説風景・スタジオ・テレビ・テレビ各局・舞台(6)・舞台裏(2)・放送局KANI・ラジオ(8)・リハーサル風景・ロケーション風景・ロケ現場・A放送・B放送・NHKスタジオ・NHKテレビ・NHKラジオ・T放送局
- \* 海・川(2)・浜辺・温泉
- \* 映画館・劇場(2)・演奏会場・音楽ホール・歌舞伎座・蔵前国技館・国技館・展示会場(2)・寄席(3)・寄席風景・見せ物小屋・さ防会館・NHK放送会館・会場・場内・会館
- \* 裁判所(2)・家庭裁判所・官公庁・税務署・区役所・国会(18)・国会議事堂・町議会・国会控え室・各党控え室・W党控え室・Z党控え室・選挙事務局・町会・調停室・会議場

- (7)・面接会場・面接試験会場
- \* 学校ではない・公式の場
  - \* 休憩室・レストルーム稽古場(2)
  - \* 列車・普通列車・急行列車・登山列車・鈍行列車・車・車中(5)・京都市バス・分譲バス・バスの中・宣伝カー・国鉄成田線・国電・私鉄内・上越線・西南航空・那覇線・南丸の内地区・西航空・飛行機内・船・船内・船の中・マルエレベーター
  - \* 競技場・競馬場・競輪場(3)・野球場(3)・甲子園・内野席・プロ野球観戦風景・水泳競技場
  - \* 質屋・公益質屋・地方銀行・金融公庫
  - \* 草むら・高台・山(4)
  - \* 屑屋
  - \* 警察(2)・警察署(3)・警視庁本部・消防庁・消防本部・世田谷警察署・東京消防庁・深川署
  - \* 結婚式場(7)・披露園会場・式場・生活館内
  - \* 建設現場(2)・撮影現場・事故現場(3)・見物現場・駐車場
  - \* 診察室・自宅の医院・病院(11)・医事課受付
  - \* 旅館(4)・帳場・寝宿・番台・民宿・宿・旅亭
  - \* 詰め将棋屋
  - \* 姫路城
  - \* 美容院・T理髪店
  - \* ファンタジー世界
  - \* 町(34)・都市(2)・都心・都心部・都・村(3)・農山村・田舎・旅先・地方・国(7)・県(17)・郡(3)・市(24)・区(4)・島(5)・半島・地域・地区・下町・東西花町・本土・世界・外国(2)・ヨーロッパ・レニングラード・ロシア
  - \* 日本・九州・山陰・山陰地方・北海道・大阪(2)・京都・東京(5)・名古屋・東京中央・東京都心・東京近郊・東京郊外・東京下町・東京付近・東京山の手・築地地区・鳥取県中部・福島県北部・山形県郊外・日本橋地区・大田原市郊外・比叡山・本田地区・八重洲地区・京橋地区

「人」

- \* 家の者・夫・妻・夫婦・新郎新婦・父親・奥さん達・家族の者・乳幼児・親族
- \* 医者(2)・患者(2)
- \* 運転者(2)・運転手(9)・船頭
- \* 演技者(4)・演出家(3)・演説家・演説者(2)・演奏者・解説者・解答者・歌舞伎役者・外人弁士(2)・出演者・素人演奏者・上映者・放送者・話家・話し手
- \* オペレーター・プログラマー・使用者(2)

- \* 先生 (19)・教師達・教授達 (5)・講師・児童・生徒・学生 (5)・大学生・女子学生・女子生徒・小学生・幼稚園児・園児 (3)・学友達・受験者・実験者・保育者
- \* 卸商人・小売業者・小売人・商売人・店の者 (26)・店員 (31)・売手 (2)・販売員
- \* 会議する人達・会見者・会見者達・記者・議会する人・参加者 (6)・出席者 (2)・面接者 (2)・訪問者
- \* 加害者 (2)・被害者 (2)・原告・被告・関係者
- \* 各政党の人・議員たち・代議士・代議士達・町議会議員・W 党員 (2)・Z 党員 (2)・3 党首
- \* 客 (70)・買い手・観客 (18)・観光客 (3)・観覧客・見物客・乗客 (6)・船客・泊まり客 (2)・利用客 (2)・参拝客 (2)・参拝者 (9)・登山客・訪問客 (2)・来客 (2)
- \* 神主達 (4)・信者・住職達
- \* 管理人・居住者・居住者達・借屋人・宿の者
- \* ガイド・コンサルタント・相談者・調査者・調停委員
- \* 求職者
- \* 社員・職員 (2)・従業員・事務員・研究員 (8)・所員 (6)・駅員・国鉄職員・船員・劇団員・温州会員・局員・組合員・クラブ部員
- \* 競技者・競輪選手・相撲取り (2)・選手 (3)・内野選手・野球選手 (5)
- \* 聞かれる人・聞き手・聞く人・聴衆 (8)・聴取者・調停される人・被調査者・傍聴者 (2)
- \* 経営者・雇い主 (6)・労働者
- \* 警察官 (3)・裁判官・消防士 (3)・試験官・巡査
- \* 興行師・美容師
- \* 主催者 (7)・仲介人
- \* 将棋をする人 (2)・マージャンをする人
- \* 市民・村民
- \* 女性達・男子達
- \* 同志達 (3)・同窓生 (2)・同僚・同士
- \* 不動産屋
- 「夫婦」
- \* 夫 (5)・妻・新郎・新婦
- 「目的」
- \* 運動・クラブ活動・旅行・旅・観光・市内観光・見物・お江戸コース・遊園・休憩・宿泊・遊び道具
- \* 放送 (8)・アナウンス (2)・実況放送 (2)・中継放送・学校放送・オリンピック放送・マスコミ・民間放送・料理番組
- \* 移動手段・運搬
- \* 飲食・昼食



- \* 買物 (2)・販売 (17)・古書販売・呉服販売・魚のせり売り・食品販売・せり売り・特  
売・服地販売
- \* 映画上映・演劇・演奏・歌舞伎上演・展示会・翻訳劇・祭・見せ物・寄席・ロケーショ  
ン
- \* 大勢に知らせる・宣伝 (2)
- \* 会議・集会 (7)・通話・討論・取引・話合い・訪問・客の接待
- \* 高等教育・専門教育・児童教育・幼児教育・日本語授業・勉強 (2)・保育・受験・面接  
試験・入社試験・理容師養成・教育相談・習いごと
- \* 競輪・相撲・野球 (3)・巨人戦
- \* 靴磨き・化粧 (2)・着物
- \* 行政・裁判・調停・立法
- \* 供養・参拝
- \* 結婚式
- \* 子供の読物
- \* 在住・借屋
- \* 資金融資
- \* 将棋
- \* 診察・治療
- \* 情報処理・受験・設計・料理研究
- \* タクシー駐車・電車の乗り降り (3)
- \* 暖を取る
- \* パトロール
- \* 複写
- 「役」
- \* 主・主人・店の主人
- \* 八段 (将棋) (2)
- \* 一等警査・予備隊員・三等警察士補
- \* 仕手 (歌舞伎)
- \* 委員長 (6)・副委員長 委員長代行・責任者・代表者・学校長・議長・所長・座長・課  
長・主任・師匠・上司・警査長・首相 (2)・自民党総裁 (2)・事務局長・町会長・町長・  
頭取・副総裁・PTA 会長
- \* 係・記録係・照明係・製作係・整理員・通信係 (2)・呼出し係・録音係・書記・PTA 役  
員・委員
- \* ゲスト・仲人・媒酌人・案内者
- \* 試験官・質問者

## 5. 話しことばにおける聞き手決定について

————— 誰に向かって話されたか —————

### (1) はじめに

ことばによるコミュニケーションが成立するためには、①送られるべき情報②情報の送り手（話し手、書き手）③情報伝達の媒体となる言語（音声……話しことば、文字……書きことば）④情報の受け手（聞き手・読み手）⑤受け手による情報の理解の有無あるいはその程度の情報⑥情報伝達がおこなわれる場（地域的場・心理的場、背景等を含む）が必須要素である。ことばは、この6つの要素が何であるかによって、その様相を大きく変えられ考えられる。

そこで我々は話しことば分析のためにそのうちの五つの要素に関する各種の情報をつけている。ここでは、そのうちの聞き手情報つけにおける問題点を述べる。

普段、われわれの会話を考えてみよう、たとえば何人かが集まって話をしている中の会話である一人に向けた話でさえそこにいる人全体を意識していたり、又、逆に全く相手を意識せずひとりごとのようにしゃべったりする。話し手である本人でさえ聞き手が誰かを答えられな場合もしばしばある。このように聞き手情報の付加という作業は本質的にむづかしい。しかし、話しことばの分析には必要な情報であり、また大部分の会話では聞き手を特定できるものであるから、聞き手情報をデータの中につけた。

以下では、言語生活「録音器」欄調査における聞き手情報つけの基本的な考え方と処理が困難ないくつかの事例をあげる。

### (2) 判断基準

“話し手の意識の中心にあるのは誰か”という事を基準にし、聞き手はできるだけ特定の一個人にする。

たとえ数人の会話の中で、その話を他の数人が聞いていたり、話し手の意識の中にも他の人々に聞かれているという意識があったとしても、それは無視する。個人に特定できない場合は、次の3つのいずれかに分ける。

ヒトリゴト————— 聞き手を意識せずヒトリゴトのようにしゃべっている場合。

タスウ ————— 聞き手が2人以上である場合。

フメイ ————— 不明の場合。

全体の作業にゆれがあってはいけないので、ある程度の基準ができたなら、その場面・状況や話し手の心理状態にまで気を配りすぎることなく、機械的に作業をすすめていくようにし、特例をつくるようなことはしない。

### (3) いろいろな問題点

\*\*\* 以下が聞き手情報

◎ 14号

吉日を選ぶ心理 (結婚式場申込風景)

---

受付	仏滅ワアイテルンデスケドネ	*** 男
男	ブツメツ……	*** 受付
女	テノワイケナインデショー	*** 男
男	イケナイノカ	*** 女
女	イケナイッテケド	*** 男
受付	マ迷信デスネー	*** 男
男	ハハン	*** 受付

---

これは若い男女が式場の申し込みに行き、受付と3人で話している場面である。受付は若い男女二人を意識の中心において話をする場合もあるだろうし、また2人で申し込みに言っても習慣で男性にのみ話しかける態度で接することもある。

ゆえに、こういう場合は、前ページのように単純に質問者と解答者ということで処理した。

同じような例として

○ 254号

秋の夕げ

---

B Cさんいけるからね。\*\*\* C

C そやけど、このごろキン酒誓ったしね、飲まへんようになって……。\*\*\* B

B キン酒ってわずかなほうなの。\*\*\* A

A 僅かな酒か。\*\*\* B

C みんなが、「禁酒って言ったかて飲んでるやないか」いうから「いやわずかっていう字をかくほうや」なんていってるの。\*\*\* A

---

この場合、1人の男性Aと2人の女性B,Cの会話であり、もちろん話し手は他の2人に話しているのであろうが、意識の中心は誰かということであえて一個人とした。

◎ 23号

ある日の競輪場

---

男1 ガンバレヨー、乙川。\*\*\* ヒトリゴト

男2 乙川ダメジャナイカ 間違エテヤガル。\*\*\* ヒトリゴト

男3 乙川間違エタンダ。アンナバカヤロナイナ。\*\*\* ヒトリゴト

---

これは大勢の観客の中で1人の男が競輪選手にむかって、おそらく叫んでいるであろう場



面である。その声はもちろんまわりの人すべてに聞こえているし、また選手本人に言いたかったのかもしれない。

しかし、こういう場合“意識の中心は誰か”という点で考えると、的確な相手はみあたらない。

— こういう場合は、聞き手を意識せずしゃべっているとみて、ヒトリゴトとした。その反対の例として

○164号

デパートのまい子

---

子供 オカーチャン、オカーチャン。\*\*\* 母親

店員 ボク、泣いちゃだめヨ。ボク。おかあちゃん、階段あがってくるからネ。\*\*\*  
子供

子供 オカーチャン……。\*\*\* 母親

---

これはデパートでまい子になった子供が、「オカアチャン」と叫びながら母親を探している場面だが、この場合、この子供の意識の中にははっきりと母親がいるので、前と状況は同じであっても意識ということで聞き手は母親にした。

◎82号

ロケーション風景

---

男優1 「ソレジャ、二番ノ下着ヲ二百ダース」 \*\*\* 女優1

監督 モット頭動カシテナクチャ \*\*\* 男優1

女優1 「オオキニ！」 \*\*\* 男優1

女2 「アカンアカン、オ母チャン、ウチガヤル。\*\*\* 女優1

山川ハン、三百ダース以下ジャ売りマヘンデ」 \*\*\* 男優1

男1 「ソ、ソリヤ、アンタ ……」 \*\*\* 女2

女3 「スワッテ！」 \*\*\* 女2

女2 「ソヤッターラ ウチハ 契約ヲ破棄シマスサカイ」 \*\*\* 男優1

監督 ハーイ。\*\*\* タスウ

---

この場面は、日活「大阪娘と野郎ども」のロケーション風景であり、3人の俳優と監督が登場するが、俳優たちがセリフを言いあう間に監督が色々と口をはさんでいたり、多くの人々たちが、まわりであれこれ言ったりしているのだが、こういう場合はあくまでもセリフの相手役が聞き手となる。又、同じ82号にでてくる場面で、ただ1人でセリフの練習をしているところが出てくるが、実際に相手役が目の前にいなくても意識の中心はあくま

でもそのセリフの相手ということで前ページの例と同様相手が聞き手となる。

同じような例としてもう1つあげておく。

○255号

リハーサル風景

- 
- B あっしもせっかくヤクザの道から抜け出す決心したところなんですから。どうか血が騒ぐような……。\*\*\*A
- D まだちょっと早いよ。もうちょっとゆっくりと。\*\*\*B
- B あっそうか。\*\*\*ヒトリゴト
- D もうちょっと。\*\*\*B
- B セっかくあっしも セっかくあっしもヤクザの \*\*\*A
- D いや、その前からやっごらん。\*\*\*B
- E 急ぐことないんだから。\*\*\*B
- 

登場人物は、次の通り。

- A 男優（世界的なカメラマン）。
- B “（チンピラヤクザの若者）。
- C 女優（Aの恋人でシャンソン歌手）。
- D この劇の作・演出家。
- E “ 舞台監督。

また、同じ255号のリハーサル風景でこんな場面もでてきた。

- 
- D Eさん3幕いく？ \*\*\*E
- B 本読みですねー。\*\*\*E
- E エエ。\*\*\*タスウ
- C 今度、録音にいよいよお声が入る。\*\*\*フメイ
- E 追加になっているところがあるんですよー。\*\*\*タスウ
- B ウーン、追加って。\*\*\*E
- C ツイカンバンヘルニア？ \*\*\*タスウ
- ☆E 78ページのすみ子は疲れている。\*\*\*タスウ
- A 78ページ、\*\*\*E
- ☆E あたま。そこ入ってくでしよう。ゆうべ遅くまで仕事があったんだ。  
\*\*\*タスウ
- ☆A ハイハイ。えーと78ページのあたま、あーいったいどいつが・・・すみ子は疲れているんだ。その前にすみ子はゆうべ遅くまで仕事があったんだと。仕事があった

んだ。あったんだで疲れているで、すみ子は。また言う？ \*\*\*D

☆D いや、そのまま、すみ子は。 \*\*\*A

☆A あったんだ。それ、疲れているね……。 \*\*\*D

☆E それから坂口 あー、この間までの4週間。 \*\*\*B

B あー、この間までの4週間。 \*\*\*C

E 4週間はママさんと2人っきりで、まるで夢のようだ。4週間は……ママさんと……。 \*\*\*C

B ママさんと……この間の4週間ママさんと2人っきりで……まるで夢のようだなー。 \*\*\*C

E いいですか？ \*\*\*D

D ハイ！行きましょう。 \*\*\*タスウ

---

この場面は、本読みの前に先だって、セリフの追加があり台本に付け加えている場面である。

下線を引いた部分はすべてセリフである。前の例にならうと、このセリフの部分の聞き手は相手役ということにしたのだが、☆印をつけたものに関しては、セリフの相手ではなく、その時に話している相手とした。

☆印をつけた部分のように、たとえセリフであっても、他の会話文にまじってしまっているものにまで、セリフとしての判断基準をあてはめるのはいきすぎではあるということが理由である。

逆に、☆印以外の下線部をセリフとして扱って、聞き手はあえて相手役であるCとした。それは、一文の中に他の会話が入らず、セリフのみをしゃべっている状態だからである。仮にそれが相手役など意識せず、棒読みのようなかたちで話されたとしても、1人で練習している場合と同様、聞き手はセリフの相手役とした。

◎190号

「ゴラク？ スポーツ？」

---

C まってて、エ、ソーイウ辞書ってのは、ネエ、ワリカシトコウ、いいこといいことうまくかいてあるのよネ、 \*\*\*A

A ちょっとまって「ケイバ、ネエ、ババオ、ア、バジョーオ、ウマデ、あちょっとよんでよ、あたしこちをよんでるから、 \*\*\*D

D アタシこちよんでるー「バジョーをモーケ、ウマオカケサセテソクリョクオキシイショーブオケッスルコト」 \*\*\*A

A ホラ、おなじコトかいてある \*\*\*D

D クラベウマキオイウマ \*\*\*A



A オンナジコトかいてあるじゃないこっちと \*\*\*A

D チョットだまってよ。 \*\*\*A

---

この場面は、4、5人の女子大生が、競馬は娯楽かスポーツかという議論をしているのだが、そのうち辞書をひっぱり出して参考にしようとする。問題になるのは、この辞書を読んでみんなに聞かせている部分である。これは前ページで述べたセリフの場合と共通点が多い。これがもし、はじめから終わりまで辞書を読んでいるのなら、それはヒトリゴトとして処理される。たとえば、新聞を読んで人に聞かせたり、童話を母親が子供に読んで聞かせたものなど、すべて聞き手情報はヒトリゴトとして処理してきた。

しかし、この場合は、前ページのセリフが会話に入り込んでいるものと同様に処理した。すなわち、辞書を読んで聞かせている部分が会話に入っているものは、ヒトリゴトではなく、その時に話している相手とした。

◎ 230号

Are you a good student?

---

T Listen to me じゃないのよ今は。 答えるのよ

Please answer よ。 \*\*\*F

F Please answer. \*\*\*F

T Put into Japanese. \*\*\*F

F Put into Japanese. \*\*\*F

わたしはスージーです、わたしは学校の集会に行きます。 \*\*\*T

---

この場面はTという先生とFという生徒の授業風景である。このFはいつも先生の言うことを真似ている。これ以外にも、小さい子供が母親の言ったことを真似て遊んでいる場面もあった。そこで真似の場合はすべて真似をされている人が意識していた聞き手と同じ聞き手とする。したがってF\*\*\*Fという下線のような事態が生ずることもあるが、これはヒトリゴトとは区別して考えることにする。

◎ 65号

組合の交渉

---

総務 じゃ、交渉にはいらなからいい。 \*\*\* 組1

組1 いいよ、いいよ、勝手にしろ、勝手にしろよ。 \*\*\* 総務

社長 あの整理して下さい、メンバー。

君の名前で交渉になってんだからな。 \*\*\* 組2

組1 交渉申し入れ、出してないよ。書類持って来てみる。

出してないよ。\*\*\*社長

社長 なければやる必要ないじゃないか、やる必要ない。\*\*\*組1

---

この場面は十数名の会社側と同じく十数名の組合側とのやりとりである。こういう場面でしばしば問題になることだが、ある人が質問したことに対して、又その逆にある人が解答したことに対して、いったい誰が聞き手になるかという事である。両者とも、その他の多くの人を意識して話すであろうし、現実にはその他の多くの人が聞いているだろう。ゆえにタスウとすべきかもしれないが、われわれの作業の基準になっている“意識の中心”という点から前ページのように一個人として扱った。

同じような例として

○54号

いなかの一年生

- 
- 先生 キノーミンナ学校カラ帰ッタデシヨ。デ、イロンナオ話、アノーアソビシマシタネ。ソノアソビディーカラネ オ話シデキル人? \*\*\*タスウ
- 先生 ハイ。ジャーネ、Yエチャン。\*\*\*Yえ
- Yえ キノウヨー ウチエ帰ッテヨー、ベンキョーヲシテヨー、アノー H子チャントヨー ママゴトヲシマシタ。\*\*\*先生
- 先生 M子チャンハ上手ニツケマシタ? 「M子チャン」ダケジャナクッテ、「M子チャンガ上手ニツケマシタ」ッテオ話シシテチョーダイ。\*\*\*T子
- T子 M子チャンガ上手ニツケマシタ。\*\*\*先生
- 先生 オモシロカッタネー。マダホカニオ話シデキル人? \*\*\*タスウ
- 先生 ハイ。ジャーネ、Mチャンニシテモライマシヨウ。\*\*\*Mチャン
- M キノーヨー 学校カラ帰ッテヨー、オ父サンガヨー クラヲウシロエ ヤリナガラヨー、ヤッテイタカラ見テイタノ。\*\*\*先生

---

この場面は教室での先生と生徒の会話であるが、先生が特定の生徒を指命する場合の聞き手は指命した子供にした。

下線の部分は前の230号で説明した真似とは本質的に違い、この生徒はあくまで先生に答える形で話している。したがって聞き手は先生とした。

(4) おわりに

1で述べた判断基準に基づき、1号から345号までにすべて聞き手情報をつけ終えた。

3でとりあげたものの他にも細かい点でいろいろな問題があったが、多くの場面を考え、詳細に検討した。

### Ⅲ データ一覧

#### 1. データ一覧表

以下の表は、データの概要を示すものである。詳しくは、「2. 原文における解説一覧」をご覧ください。表の見方を以下に示す。

号数	1行目の「6」は、話しことばデータベースにおける「言語生活」データを示す。ここでは無視されたい。あとの3行は「言語生活」の号数を示す。
タイトル	原資料中の題目をできるだけとった。
場所	原資料中の場所を示すことばをとった
地域	都道府県名を示す。 「姓」 ことなりを示す。 「人数」 「年齢」 A：6歳以下 B：7～15歳 C：16～25歳 D：26～49歳 E：50歳 「職業」 厳密な分類で示すものではない。
録音年	S：昭和を示す。「言語生活」データは掲載年を示す。
時間	テープ収録時間を示す。文字化データの時間ではない。
語数	計算機入力分について示す。号数1桁目（4）の資料は長い単位、その他は短い単位。原資料中の記号等も含む。
文字化	文字化資料があることを示す。
テープ	録音テープがあることを示す。号数別に整理されている。
KWIC	計算機入力され、文脈付き総索引があることを示す。ただし、号数1桁目が同じデータはまとめられている。
フィッシュ	文脈付き総索引がマイクロフィッシュ化されていることを示す。



号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6001-1	ある日の東京駅	東京駅近距離切符売場	東京	男女	23	CDE		S26							
6001-2	"	国語研究所の研究室	"	男	2		研究員	"	1586						
6001-3	"	東京駅近距離切符売場	"	男女	14			"							
6001-4	"	東京駅のプラットフォーム	"	男	7		駅員	"							
6002	3人の女子学生	ある大学の学友会のクラブ	"	女	3	C	学生	"	724						
6003-1	入社試験	ある製鉄会社の面接試験場		男	7	C	"	"	1270						
6003-2	"	国語研究所の研究室	東京	男	3		研究員	"							
6004	1年生の教室	ある小学校の国語の授業	"	男女		BD	先生・生徒	S27							
6005	街頭宣伝	ある繁華街	"	男女			フナサンダー	"	905						
6006	予備隊員のひととき	あるキャンプ	東京付近	男	5	CD	予備隊員	"							
6007-1	PTAの会議風景	ある小学校の校外生活指導分科会	東京	男	5		PTA役員	"							
6007-2	"	ある小学校での給食委員会	"	女	8	D	PTA役員 先生	"	1327						
6008	店内御案内嬢	あるデパート	"	男女	11	CDE	客・店員	"	1182						
6009	電話はなぜ時間がかかるか	電話口		男女	8	D		"	651						
6010	美容院の午後	浅草柳橋のある美容院	東京	女			客・店員	"	1490						
6011	警視庁捕物帳(1)	警視庁本部指令通信室	"	男	5		警官	"	1514						
6012	パトローラーカー出陣	"	"	男	3		"	"	857						
6013	競輪・金融公庫・交通事故	四谷のある理髪店	"	男	5	DE	客・店員	"	914						
6014	吉日をえらぶ心理 - 結婚式場申込風景	ある結婚式場	"	男女	4	E	"	"	1694						
6015	当世書生言葉	ある私立大学		男	4	C	学生	"	867						

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	話数	文字化	タイプ	KWIC	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6016	ある飲み屋のスケッチ	池袋の裏通りのある飲み屋	東京	男	3	DE	画家	S28		760	○	○	○		
6017	国会控室	国会議事堂の各政党控室	"	男				"		974	○	○	○		
6018	八百屋の店先から	山の手のある八百屋	"	男女	10		客・店員	"		542	○	○	○		
6019	職を求める人々	職業安定所の女子部	"	女	4	E	係員・利用者	"		1542	○	○	○		
6020-1	たたく売り手、たたく買い手	浅草の衣類専門店	"	男	6		客・店員	"			○	○	○		
6020-2	"	浅草の呉服専門店	"	女	3	DE	"	"		1638	○	○	○		
6021-1	客間と井戸端 - 主婦のことは -	東京西北の郊外のある家の客間	"	女	5	D	主婦	"			○	○	○		
6021-2	"	東京西北の郊外のある家の裏の井戸端	"	女	6	DE	"	"		1002	○	○	○		
6022	幼稚園風景	東京西郊のある幼稚園	"	男女		A	園児・先生	"		1149	○	○	○		
6023	公益質屋	ある質屋	"	女	7	D	客・店員	"		1212	○	○	○		
6023-1	ある日の競輪場	ある競輪場		男女	13			"			○	○	○		
6023-2	"	"		男	7			"		1479	○	○	○		
6024	さかなやの店先より	山の手の住宅地に接したある魚屋	東京	男女	9		客・店員	"		656	○	○	○		
6025	野球放送を聞く	ラジオの高校野球の放送		男	2		アナウンサー	"		2259	○	○	○		
6026	戦争と2人の左官屋	東京の間屋街	東京	男女	4	D	左官屋・問屋	"		1648	○	○	○		
6027	旅行は楽しく	東京郊外のある女子大学	"	女	6	C	学生	"		1568	○	○	○		
6028-1	女性語あれこれ - 美容室にて -	ある百貨店内の美容室	"	女	4	CDE	客・店員	S29			○	○	○		
6028-2	女性語あれこれ - 女中部屋にて -	ある料亭の女中部屋	"	女	8	CD	女中	"			○	○	○		
6028-3	女性語あれこれ - 車中にて (1) -	国電中央線の中	"	女	2	D	勤めの女性	"		2607	○	○	○		
6028-4	女性語あれこれ - 車中にて (2) -	"	"	女	2	E		"			○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	話数	文字化	テープ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6028-5	女性語あれこれ - 編物学校にて (1) -	ある婦人職業協会の編物教室	東京	女	8	D		S 29		○	○	○	○		
6028-6	女性語あれこれ - 編物学校にて (2) -	ある職業協会の受付	"	女	2	E		"	2607	○	○	○	○		
6028-7	女性語あれこれ - 飲み屋風景 -	ある小さな飲み屋	"	男女	4	D		"		○	○	○	○		
6029-1	ジャズを好む年齢	東京中央のある駅前	"	男	5	C		"		○	○	○	○		
6029-2	"	ある劇場のジャズシンジョウの休憩室	"	男女	6	C		"		○	○	○	○		
6029-3	"	ある劇場のジャズシンジョウの会場	"	男女	4	C		"	1317	○	○	○	○		
6029-4	"	ジャズシンジョウの劇場近くの喫茶店	"	男女	4	C		"		○	○	○	○		
6030	あなたも話せる	米国男性と日本女性が借りている部屋		男女	4			"	735	○	○	○	○		
6031	主婦と小僧	ある勤め人風の家の勝手口	東京	男女	3			"	1621	○	○	○	○		
6032	クツズミを売る男	ある駅の近くの広場の大道商売	"	男	1	D		"	1289	○	○	○	○		
6033-1	美人コンクール	世田谷の中心のある商店街	"	女	8	CDE		"		○	○	○	○		
6033-2	"	"	"	女	8	CD		"		○	○	○	○		
6033-3	"	"	"	女	7			"	1213	○	○	○	○		
6033-4	"	"	"	男女	6			"		○	○	○	○		
6033-5	"	"	"	男女	4			"		○	○	○	○		
6034	趣味を語る	ある市の電話局のレスト・ルーム		女	2	E		"	924	○	○	○	○		
6035-1	買う株、売る株	某証券会社の場電	東京		6			"		○	○	○	○		
6035-2	"	某証券会社の店頭	"	男女	3			"	1106	○	○	○	○		
6036	茶の間のひととき	茶の間		男女	4	ACD		"	1262	○	○	○	○		
6038	精神病者のことば	ある精神病院	東京	男女	7	CDE		"	1958	○	○	○	○		



号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6039	町の診療室で	世田谷のある医院の診療室	東京	男女	6	BDE	患者・医者	S 29		1507	○	○	○		
6040	金のかかる話	東京近郊のある家		女	6	D	主婦	S 30		1645	○	○	○		
6041	終着駅	上野駅警備出張所	東京	男女	3	D		"		1691	○	○	○		
6042-1	子どもの世界	ある研究所所員の家		男女	4	AD		"		1415	○	○	○		
6042-1	"	"		女	1	A		"			○	○	○		
6043-1	高校生 = 昼と夜	東京中央の全日制高校	東京	男女	6	C	学生	"		1479	○	○	○		
6043-2	"	東京中央の定時制高校	"	男	4	C	"	"			○	○	○		
6044	某氏の国語研究所への祝辞	神田一ツ橋講堂	"	男	1	E		"		854	○	○	○		
6045-1	暮間	歌舞伎座	"	女	12	DE		"		1359	○	○	○		
6045-2	"	"	"	男女	3	D		"			○	○	○		
6046	学園民主化	某大学危機突破総躍起大会	"	男	3	DE		"		1141	○	○	○		
6047	商業座談会	あるハナオ屋さんの2階	"	男	6	DE		"		1722	○	○	○		
6048	話せばわかる(大道将棋)	ある駅の近くの盛り場	"	男	3	D		"		1609	○	○	○		
6049	小さな喫茶店で	喫茶店		男女	12			"		1416	○	○	○		
6050	運勢判断 学生と易者	易者の家	東京	男	2	C	学生・易者	"		1901	○	○	○		
6052	老人クラブ	山の手の生活館内の老人クラブ	"	男女	11	E		S 31		1598	○	○	○		
6054	いなかの1年生	神奈川のある小学校の教室	神奈川	男女	9	B	先生・生徒	"		981	○	○	○		
6055	税金の申告はこうして	都内の某税務署	東京	男女	6	D		"		1759	○	○	○		
6056-1	1119番消防庁です	東京消防庁の指令室	"	男	6		消防官	"			○	○	○		
6056-2	"	"	"	男	6		"	"		1535	○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	テープ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6056-3	119番消防庁です	東京消防庁の指令室	東京	男女	5			S 31		○	○	○	○		
6057	ここにもノイローゼ患者	山の手の開業医の診療室	"	男女	4	CE		"	1702	○	○	○	○		
6058	夜のお江戸御案内	ある観光バスの中	"	男女	9			"	1583	○	○	○	○		
6062-1	東西花街ことば 祇園と柳橋	祇園	京都	女	4	CDE		"	1848	○	○	○	○		
6062-2	"	柳橋	東京	女	2	D		"		○	○	○	○		
6063	この結婚は成り立っただろうか	家庭裁判所の調停室		男女	3	D		"	1940	○	○	○	○		
6064-1	ラジオとテレビでどう違う	NHK 第2の実況放送		男	2			S 32		○	○	○	○		
6064-2	"	NHK テレビの実況放送		男	2			"	1394	○	○	○	○		
6065	組合の交渉	某社の組合交渉場	東京	男	6			"	1808	○	○	○	○		
6066	熊本弁 思い出話	熊本県三角町	熊本	男女	2	E		"	968	○	○	○	○		
6067	春宵のハムたち	東京	東京	男女	4			"	2046	○	○	○	○		
6068	電話のはなし	某先生の研究室		男	3			"	1276	○	○	○	○		
6069-1	画家とモデル	モデル市		男女	6	CDE		"		○	○	○	○		
6069-2	"	"		女	10			"	1617	○	○	○	○		
6070		NHK テレビの中継放送		男	1			"	2074	○	○	○	○		
6071-1	運転手Sさんの数時間	Sさんの車の中	東京	男	4	D		"		○	○	○	○		
6071-2	"	"	"	男	3	D		"		○	○	○	○		
6071-3	"	"	"	男	2	D		"	1515	○	○	○	○		
6071-4	"	"	"	男女	3	DE		"		○	○	○	○		
6072	新名人誕生す	朝日新聞社正面の大将棋盤	"	男	1			"	1949	○	○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6073	特飲店で(その1)	特飲店		男女	2	CD		S 32	62	1854	○	○	○		
6074	"(その2)	"		男	2	D		"		2385	○	○	○		
6075	案内者の言葉	NHK放送会館	東京	男	1		案内者	"		1852	○	○	○		
6076-1	万年筆のインクの入れ方とリップラインの描き方	山の手のある盛り場	"	男	1			S 33	46		○	○	○		
6076-2	"	"	"	男	1			"			○	○	○		
6076-3	"	山の手のデパート	"	女	1		店員	"		2160	○	○	○		
6076-4	"	"	"	女	1		"	"			○	○	○		
6077	テーブルスピーチの説き起しと結び	ある結婚式場		男	6			"		2064	○	○	○		
6078	こどもと絵本	録音子の家		女	1	A		"		721	○	○	○		
6079	サァア、お立ち合い	浅草観音の本堂前の広場	東京	男	1		テキヤ	"	30	1851	○	○	○		
6080	財布をにぎる老母の苦労	息子の家	"	男女	2	DE	母・息子	"	15	1469	○	○	○		
6081-1	家出娘と狼	上野公園	"	男女	4	CE		"	30		○	○	○		
6081-2	"	山内の交番	"	男女	5	CE		"	58	2094	○	○	○		
6082-1	ロケーション風景	ロケ現場	"	男女	12			"			○	○	○		
6082-2	"	"	"	男	6			"		1298	○	○	○		
6083	海のむこうの日本語	ハワイの放送局		男女	11			"		2520	○	○	○		
6084	少年補導	繁華街の映画館の前	東京	男女	4	BC		"		1668	○	○	○		
6085-1	キャンプ村にて	逗子の浜辺のキャンプ村	神奈川	男	7	C		"			○	○	○		
6085-2	"	"	"	男女		C		"		1545	○	○	○		
6086	家を買いに	ある不動産会社の営業所	東京	男女	4	D				1736	○	○	○		



号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	テープ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6087	字のない字本	録音担当者の家		女	1	A		S33	60	1091	○	○	○		
6088	コーヒーのたてかた	ある料理学校の階段教室	東京	男女	3			S34		1736	○	○	○		
6089	すねっかじり	息子の家	"	男女	2	DE	母・息子	"		1642	○	○	○		
6090	ゲイ・ボーイズ	ある「かつら」などの専門店		男女	6		客・店員	"		1289	○	○	○		
6091-1	草分けの話 北海道開拓余聞	倶知安	北海道	女	2	E		"		1959	○	○	○		
6091-2	"	狩太町	"	女		E		"			○	○	○		
6092	新型トラック発売	自動車の販売展示会場	東京	男女	4			"	31	1857	○	○	○		
6093-1	調査依頼	某調査機関	"	男	2	D		"			○	○	○		
6093-2	"	"	"	女	2	D		"		1845	○	○	○		
6093-3	"	"	"	男	2	D		"			○	○	○		
6094	宮古島		沖縄					"			○				
6095-1	特売場	デパートの男子用アロハ売場	東京	男女	3	AD	両親・子	"			○	○	○		
6095-2	"	デパートの草履売場	"	女	3	CE	客・店員	"			○	○	○		
6095-3	"	デパートのブラウス売場	"	女	2	E	"	"		1591	○	○	○		
6095-4	"	デパートのゆかた売場	"	女	5	AD	"	"			○	○	○		
6096	あるテレビトークとその内幕	あるチャンネルの学校放送		男	2			"		1403	○	○	○		
6097	ことばで図を伝える	実験現場		女	2	B	小学生	"		847	○	○	○		
6098	井戸端会議	共同水道のあるところ	東京	女	5	DE	主婦	"		1550	○	○	○		
6099	オーブケンケースと競馬機械	下町の盛り場	"	男	3	D	客・店員	"		2193	○	○	○		
6100-1	テレビの料理番組			女	1		先生	S35		2138	○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6100-2	テレビの料理番組			男	1		先生	S35							
6100-3	"			男	1		"	"							
6101	新春コタツ放談(成人向特別番組)	ある家の居間		男女	6	E		"		1343					
6102	すもう茶屋	蔵前国技館前のすもう茶屋	東京	男女	13	CDE	客・店員	"	60	1553					
6103	寄席風景	下町の寄席	"	男	1		唄家	"		2000					
6104	幼児が夢路をたどるまで	録音子の家の寝間		男女	3	A	両親・子	"		1172					
6105	あれから15年	盛り場の料理屋		男女	4	CDE	客・店員	"	31	2004					
6106	数のおけいこ	録音子の家		男女	4	A	両親・子	"		717					
6107	首相の記者会見	首相の記者会見場	東京	男	2		記者・首相	"		1330					
6108	夏の夜の口舌	録音者の部屋		男女	2			"		712					
6109-1	オリンピック放送を聞く			男	1		アナウンサー	"		2188					
6109-2	"			男	1		"	"							
6110	やっちゃ場	秋葉原の市場	東京	男	5			"		1970					
6111	PLの受験心得	PLの東京支部	"	男	1		教師	"		2196					
6112	中立論争	テレビ・ラジオ党首政治討論会	"	男	4		党首	S36		2467					
6113	明治浅草奥山嘯		"	男	1	E		"	93	2404					
6114	恋人たち	渋谷	"	男女	4	C		"	90	1697					
6115	庭の草花計画	若夫婦の家		男女	2			"		1770					
6116	なぞなぞ			男	2			"		2227					
6117	お茶漬屋の女性たち(東京の福岡弁)	商店街の一角のお茶漬屋	東京	女	4	CE		"		1820					

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フ イ ッ シ ュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6118	運転者講習会	警察署の運転者講習会	東京	男	1		警官	S36		2052	○	○	○		
6119	外人の日本語弁論	国際日本語弁論大会	"	男	2		宣教師	"		1397	○	○	○		
6120	女子高校生の話し方	ある私立女子高校の教室		女	2	C	学生	"		2162	○	○	○		
6121	夜の後楽園は大さわぎ	後楽園球場	東京	女			観客	"		1332	○	○	○		
6122-1	柏嶋優勝決定戦	大相撲秋場所会場(ラジオ)		男	2		ファンチャー	"		1765	○	○	○		
6122-2	"	大相撲秋場所会場(テレビ)		男	2			"			○	○	○		
6123	職人のことは	盛り場の大衆酒場	東京	男	3			"		1858	○	○	○		
6124-1	道順を教える	某ビル内の宣伝研究所	"	男女	2			S37			○	○	○		
6124-2	"	あるブレイガイド・ビル	"	女	2			"		1190	○	○	○		
6124-3	"	某研究所	"	男	2			"			○	○	○		
6125	歳末バー風景	横浜のバー	神奈川	男女	7		客・店員	"		1518	○	○	○		
6126	当たるも八卦当たらぬも八卦	新宿	東京	男	1		易者	"		2308	○	○	○		
6127	車が動かない	東京トヨペットの無線司令室	"	男	7		客・店員	"	60	1549	○	○	○		
6129-1	東京タワー	東京タワー	"	男女	12	BC		"			○	○	○		
6129-2	"	"	"	男女	12	BC		"		1245	○	○	○		
6129-3	"	"	"	男女	3		母親・子	"			○	○	○		
6130	老兄弟の会話	東京に住んでいる弟の家	"	男女	3	E		"		1228	○	○	○		
6131	善光寺でみやげを買う	善光寺前のみやげ物屋	長野	男女	4	CD		"		1557	○	○	○		
6132	オーナードライバー心得帳	自動車教習所	東京	男	1	D	教師	"		1830	○	○	○		
6134	町議会荒れる	臨時町議会		男	10			"		2105	○	○	○		



号数	タイトル	場所	地域	人物			録音年	時間(分)	語数	文字化	テープ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢								
6135	教育相談所に来た母親の話	ある教育相談所		女	2		S 37		2148	○	○	○		
6136	大阪のたたき売り		大阪	男	1	D	S 38		1864	○	○	○		
6137-1	通天閣	通天閣	"	男女	9	A	"		1143	○	○	○		
6137-2	"	"	"	男女	9		"			○	○	○		
6138	おとなは勝手だね	麻布にあるふつうの家庭	東京	男女	6	BCDE	"		1026	○	○	○		
6139	戦前派の酔客	鎌倉のごちんまりした酒亭	神奈川	男女	5	D	"		1558	○	○	○		
6140	何屋さんだろろうか	熊本市のあるバー	熊本	男女	6		"		1552	○	○	○		
6141	子供は無事に帰すことは約束しますからね	子供を誘拐された家		男女	3		"		1317	○	○	○		
6142	外来語の多い座談会	さる雑誌の座談会		男	17		"		1941	○	○	○		
6143-1	交通事故	事故現場		男		C	"		1631	○	○	○		
6143-2	"	病院		男	4	D	"			○	○	○		
6144	秋田の音	秋田(旭川の北の「内町」)	秋田	男女	2	E	"		1437	○	○	○		
6145-1	鉄道総合案内所	上野駅	東京	男	3		"			○	○	○		
6145-2	"	東京駅	"	男女	5		"		1124	○	○	○		
6146	松江市で聞いた印刷屋さんの話	松江市の印刷屋さん	島根	男	2		"		1553	○	○	○		
6147-1	国会解散	衆議院本会議	東京	男	1		"			○	○	○		
6147-2	"	各党控室	"	男	4		"		1600	○	○	○		
6147-3	"		"	男	4		"			○	○	○		
6147-4	"	控室	"	男	1		"			○	○	○		
6148	幼い頃の思い出(明治時代の魚河岸のことなど)	千代田区六番町のある家	"	男女	3	E	S 39		1962	○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	話数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6149	冬の比叡山	京都市バスの比叡山観光	京都	男女	3	CE	ガイド・客	S 39	1317	○	○	○	○		
6150	古本屋の店頭	松江市の古本屋	島根	男女	6	BCD		"	1032	○	○	○	○		
6151	鹿兒島弁	鹿兒島市	鹿兒島	男女	2	E		"	620	○	○	○	○		
6152	花と音楽と折り紙と	録音者の家		男女	3	AD		"	1241	○	○	○	○		
6153	おしゃべりもまた楽し	研究所内	東京	男女	4	C		"	1786	○	○	○	○		
6154	明治のこども	京都市今出川の酢問屋	京都	男女	5	E		"	1766	○	○	○	○		
6155	お乳液でお手入れを	杉並の小さい化粧品店	東京	女	2	DE	客・主人	"	1671	○	○	○	○		
6156	駅の案内所で	上野駅構内の鉄道案内所	"	男女	10	CD	客・係員	"	1598	○	○	○	○		
6157-1	東京・京都	若い京女のグループ		女	2			"		○	○	○	○		
6157-2	"	"		女	3			"	1490	○	○	○	○		
6158	ちかごろの中学生	国語教育の小サークルの雑談	東京	男	3	D		"	2048	○	○	○	○		
6159	重量あげ	東京オリンピックのテレビ放送	"	男	2			"	1751	○	○	○	○		
6160	人寄せ易者	池袋の映画館街	"	男	1	D	易者	S 40	2411	○	○	○	○		
6161	農村の嫁 今昔	栃木県大田原市郊外の農村		男女	6	DE		"	1391	○	○	○	○		
6162	かれらが歌うまで	M家の応接間		男		C		"	1545	○	○	○	○		
6163	スキ一嬢の午後3時	白馬村細野の軽食堂	長野	男女	7	D		"	1347	○	○	○	○		
6164	デパートのまい子	デパートの本売場		男女	7	A		"	1200	○	○	○	○		
6165	機種決定を控えて	国立の研究機関の研究室	東京	男	4			"	1703	○	○	○	○		
6166-1	子供電話相談室(ラジオ)	全国こども電話相談室	"	男女	3	B		"		○	○	○	○		
6166-2	"	"	"	男	3	B		"	1982	○	○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物			録音年	時間(分)	語数	文字化	テープ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢								
6166-3	こども電話相談室(ラジオ)	全国こども電話相談室	東京	男女	3	B	S40		○		○	○		
6167	立ちばなし	ある家の門前		女	5	D	"	1274	○		○	○		
6168	ことば科学電子計算機(ある座談会から)	ある座談会	東京	男	5		"	1766	○		○	○		
6169	旅先で知り合う	上高池明神池近く茶店	長野	男女	4	C	"	1545	○		○	○		
6170	むかしばなし	赤羽のある家	東京	女	3	E	"	2070	○		○	○		
6171	「シソーラス」の話	工学部のある研究室	"	男	3	D	"	1930	○		○	○		
6172	国語の時間	ある中学の1年生の国語の授業	"	男女	10	C	先生・生徒 S41	1974	○		○	○		
6173	明治前期の小どもたち(遊ぶ・服装・勉強)	松江市のある家	島根	男女	2	E	"	1598	○		○	○		
6174	家の歴史		東京	男女	3	DE	"	1694	○		○	○		
6175	理髪店で	四谷の理髪店	"	男	2	D	客・主人	1976	○		○	○		
6176-1	保育の時間(幼稚園)	ある幼稚園の5歳児のA教室	埼玉	男女		A	先生・園児		○		○	○		
6176-2	"	ある幼稚園の5歳児のB教室	"	男女		A	"	1606	○		○	○		
6177	将棋酔談	神田の飲み屋	東京	男	6	D	"	1716	○		○	○		
6178-1	緑日の物売り	"とげぬき地蔵"の緑日の露店	"	男女	3	E	"	35	○		○	○		
6178-2	"	"	"	男	1	E	人形売り	"	○		○	○		
6178-3	"	"	"	男	2		包丁売り	"	○		○	○		
6179	セールスマンとの問答と対話	ある研究所の実験室		男	6		"	1888	○		○	○		
6180	交通公社にて	下町のある交通公社の窓口	東京	男女	5	CDE	客・係員	1703	○		○	○		
6181	恋愛・結婚	都心のある喫茶店にて	"	女	4	C	"	1753	○		○	○		
6182	家付きカー付き、バババーぬき	ある大学近くのレストラン		男	4	D	大学院生	1917	○		○	○		



号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6188	農村の出かせぎ	福島県北部の農山村	福島	男	4	C		S41		1295	○	○	○		
6187	女子大生のおしゃべり	ある仕事場で	東京	女	4	C	学生	S42		2127	○	○	○		
6188-1	電話のはなし	国語研究所の電話	"	男	2			"			○	○	○		
6188-2	"	"	"	男女	2			"		1773	○	○	○		
6188-3	"	"	"	男女	2			"			○	○	○		
6190	「ゴラク? スポーツ?」			女	4	C	学生	"		2504	○	○	○		
6191	ある披露宴	披露宴の会場	東京	男女	4	D		"		2300	○	○	○		
6192	孟蘭盆	小石川のある家庭	"	女	3	DE		"		1725	○	○	○		
6193-1	婦人販売場で	都心のデパートの婦人販売場	"	女	1	D	ハレター	"			○	○	○		
6193-2	"	"	"	女	2	D	客・店員	"		1479	○	○	○		
6193-3	"	サイズをとる所	"	女	2	D	"	"			○	○	○		
6194	お金は見えてから	神社の祭りの見せ物小屋		女	3			"		1850	○	○	○		
6195	お店屋さんごっこ	女の子の部屋の中		女	3	B	小学生	"		1704	○	○	○		
6196	アリガトウ、ミナサン	プロボクシング・タイトルマッチの直後		男	4	D		S43		1792	○	○	○		
6197	小学1年生の母親たち	ある家の縁側		女	3		母親	"		1883	○	○	○		
6198	明治百年祝うべし	ある大学の国語表現法の授業	東京	男女	5			"		2181	○	○	○		
6199	日曜日の家庭用品売場	山の手のデパートの家庭用品売場	"		3		店員	"		2211	○	○	○		
6200	ウイスキーボンボン	都心の某家	"	男女	4	B	両親・子	"		1553	○	○	○		
6201	幼児のお話			男女	7	A		"		2311	○	○	○		
6202	駅前討論	都内のある駅前広場	東京	男	5	C		"		2245	○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6203-1	駅前討論	都内のある駅前広場	東京	男女	6			S43							
6203-2	"	"	"	男	7	C		"		2093					
6204	プロ野球観戦風景	後楽園球場の外野スタンド	"	男女	5	ABD		"		864					
6205	「蛇と共に20余年」の乗売り	不忍池のほとり	"	男	2	D		"		2042					
6206-1	愛犬のおめでた	デパートのペット相談室	"	男	2	D	客・店員	"							
6206-2	コリーの入浴	"	"	男女	3	C	"	"		1889					
6207-1	校長先生のあいさつ	ある小学校の同窓会総会	"	男	1		校長先生	"							
6207-2	猫の下痢	デパートのペット相談室	"	男女	2		客・店員	"		2115					
6208-1	電車の中で(女子高校生の会話)	通勤電車の中	"	女	2	C	学生	S44							
6208-2	電車の中で(大学生の会話)	"	"	男	2	C	"	"		1707					
6208-3	電車の中で(同郷の若い職人の話)	"	"	男	2		職人	"							
6209	小学校2年生の父親学級	ある小学校(父親参観後の懇談会)	"	男女	6	D	先生・父兄	"		2052					
6210-1	三分間スピーチ	あるホールの「ことばの大勉強会」	"	男	1			"							
6210-2	"	"	"	男	1			"		2248					
6210-3	"	"	"	女	1			"							
6211	違法建築	ある人と区役所とのやりとりの電話	"	男	6			"		1830					
6212-1	小学校低学年の授業	小学2年生の道徳の時間		男女		BD		"							
6212-2	"	"		男女	8	B		"		1634					
6213	方言調査の夜(雪道の歩き方)	糸魚川市の旅館	新潟	男	5		調査員	"		2139					
6214-1	通信工学実験室	ある私立大学通信工学実験室	東京	男	6	CD	助手・学生	"		1653					

号数	タイトル	ルール	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	KWIC	フィッシュ	備考
					性	人数	年齢	職業等								
6214-2	通信工学実験室		ある私立大学通信工学実験室	東京	男	6	C	学生	S44							
6215	昔昔農家の女性		栃木県大田原市郊外	栃木	女	3	E		"	2270						
6216	分譲バス		分譲バスの中		男	1	D	営業マン	"	2214						
6217	雑談			東京	女	4	CE		"	1882						
6218	大学紛争		A大のキャンパス内の学生大会	"	男	5	C	学生	"	2096						
6219	村の最年長者の話		福島県北部の山村	福島	男	3	DE		"	1476						
6220	書道くらぶ		鎌倉の某会館	神奈川県	男女	9			S45	1854						
6221-1	その電気ごたつは安全ですか		甲特約店		男	1	D	店員	"							
6221-2	"		乙特約店		男	1	E	店主	"							
6221-3	"		丙特約店		女	1	D	店主の妻	"	2361						
6221-4	"		本社	東京	女	1		従業員	"							
6222-1	展覧会場で		小学生の絵・工作の展覧会場		男女	6	B		"							
6222-2	"		"		男女	5	AB		"	1035						
6223-1	ただいま日本語授業中		外国人のための日本語教育の教室	東京	男	5	D		"	53						
6223-2	"		"	"	女	6			"	1804						
6224-1	姫路城見物		姫路城	兵庫	男女	12			"							
6224-2	"		"	"	男女	12			"							
6224-3	"		"	"	男女	12			"	1540						
6224-4	"		"	"	女	1		母	"							
6225	東京屋の観光バス		観光バスの中	東京	女	1		バスガイド	"	2384						



号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6226	大人と子供	ある小学校の4年生の学級会	東京	男女		B	先生・生徒	S45	1930	○	○	○	○		
6227-1	喫茶店のおしゃべり (同僚らしき男性4人)	ある喫茶店		男女	5			"		○		○	○		
6227-2	喫茶店のおしゃべり (20才前後のOL4人)	"		女	4	C	OL	"	1659	○		○	○		
6227-3	喫茶店のおしゃべり (大学生風の男女)	"		男女	2	C	学生	"		○		○	○		
6228	夕食の雑談	ある家庭の食卓		男女	4	BD	両親・子	"	1660	○		○	○		
6229-1	夏の登山列車 (鈍行列車)	列車内	長野		1		フナッサー	"	2288	○		○	○		
6229-2	夏の登山列車 (急行列車)	"	"		1		"	"		○		○	○		
6230	Are you a good student?	主婦Tの家		男女	3	B	先生・生徒	"	1666	○		○	○		
6231	聴取者も参加する	赤坂にある放送局	東京	男女		C		"	1977	○		○	○		
6232	こちらはホームインですから	Bの家		男女	3			S46	1894	○		○	○		
6233	客のいなくなったあと	化粧品出張販売員の会話	東京	女	2		販売員	"	1573	○		○	○		
6234	土地・家	東京近郊の私鉄内の録音		男	2	DE		"	2070	○		○	○		
6236	野菜談議	千葉県下の農家の法事の席	千葉	男女	4	DE		"	1715	○		○	○		
6237	鼻茸	病人の家		男女	5	D		"	1748	○		○	○		
6238-1	大阪の夜店 (場面1 植木屋)	大阪阿野区昭和町	大阪	男女	5	D	客・主人	"		○		○	○		
6238-2	大阪の夜店 (場面2 サボテン屋)	"	"	女	2	D	"	"	1850	○		○	○		
6238-3	大阪の夜店 (場面3 金魚屋)	"	"	男	3	DE	"	"		○		○	○		
6239-1	大阪・新世界のたき売り (下着売場)	新世界ジャンジャン横丁	"	男女	5	DE	客・売手	"	1985	○		○	○		
6239-2	大阪・新世界のたき売り	"	"	男	2		"	"		○		○	○		
6240	鈍行列車	国鉄の鈍行列車 (成田線) 内	千葉	男	2	E		"	1609	○		○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6241	農業用語あれこれ	福島県のある農家の茶の間	福島	男	2			S46		1894	○	○	○		
6242	おじいちゃんの民話	福島県伊達郡のある町の農家	"	男女	2	BE	祖父・孫	"		1546	○	○	○		
6243	引揚者			男女	2	DE		"		2373	○	○	○		
6244	日曜のティータイム	小金井市のある住宅	東京	男女	3	A	両親・子	S47		976	○	○	○		
6245	八丈の風	中之郷のある民宿	"	男	1	E		"		2507	○	○	○		
6246-1	職場の慰安会 (5分後)	宿の一室		男女	4			"			○	○	○		
6246-2	職場の慰安会 (20分後)	"		男女	5			"			○	○	○		
6246-3	職場の慰安会 (30分後)	"		男	2			"			○	○	○		
6246-4	職場の慰安会 (40分後)	"		男女	4			"		1547	○	○	○		
6246-5	職場の慰安会 (50分後)	"		男女	7			"			○	○	○		
6246-6	職場の慰安会 (2時間後)	"		男女	9			"			○	○	○		
6247	檀家の寄合	ある寺での檀家の緊急世話人会	山形	男	6			"		2046	○	○	○		
6248	住み込み女中さん	山形県鶴岡市のある旅館	"	男女	3	E	客・女中	"		1672	○	○	○		
6249-1	球磨川二題	九州相良の人吉の国民宿舎	熊本	男	5			"			○	○	○		
6249-2	"	球磨川の舟の上	"	男	2		客・船頭	"		1431	○	○	○		
6251	ポリ容器のセールス風景	東京都下のさる団地の一室	東京	女	4	D		"		2116	○	○	○		
6252	月例麻雀会	都内の住宅地の中の一軒	"	男	4	D		"		1301	○	○	○		
6253	夏休みの思い出	東京都下の住宅地	"	男女	4	B		"		1665	○	○	○		
6254	秋の夕げ	東京のあるアパートの一室	"	男女	3	C		"		1676	○	○	○		
6255	リハーサル風景	東京都心にある某劇団	"	男女	5			"		1363	○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	テープ	K W I C	フ ィ ッ シ ュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6256-1	ことばの調査	岡崎市の敬語調査のひとつま	愛知	男	2	D		S48		2031					
6256-2	"	"	"	男女	2	E		"							
6257	しろとうとオケストラの忘年会	駅前中華そば屋(清瀬市)	東京	男	7			"		2049					
6258	週番委員長の説明	某定時制高校の臨時生徒総会	"	男	3	C		"		2237					
6259	将棋対局の解説風景(放送)	NHKスタジオ	"	男	2			"		1684					
6260-1	アクセント意識の調査	宇和島市奥高串	愛媛	男	2	E		"							
6260-2	"	東宇和郡明浜町狩江	"	男女	3	BE		"		1559					
6260-3	"	八幡浜市若山高下	"	男	2	E		"							
6261-1	皆さんまだ起きてますか	深夜放送	東京	男	1			"							
6261-2	"	"	"	男女	3			"		1343					
6262	電車あそび	まさる君の家		男女	5	A		"		1531					
6263	テレビのインタビュー風景	ABCテレビスタジオ	大阪	男女	4			"		1448					
6264	幼稚園の先生の座談会			女	15			"		2194					
6265-1	競輪に集まった人たち	競輪場(スタンドの観客その1)		男	4	D		"							
6265-2	"	競輪場(スタンドの観客その2)		男	2	D		"							
6265-3	"	競輪場(車検売場前)		男	1			"		1739					
6265-4	"	競輪場(スタンドの観客その3)		男	2	E		"							
6265-5	"	競輪場(スタンドの観客その4)		男	2	DE		"							
6266	着物の小物の宣伝	デパートの呉服物売場の一角から	東京	女	1	D		"		2310					
6267	4歳児の会話	Tの家	"	男	2	A		"		1046					



号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6268	“戦い終えて”	乙高校	東京	男女	10			S49		1422	○	○	○		
6269-1	山陰の正月	鳥取の農村の旧家	鳥取	男女	6	E		“		731	○	○	○		
6269-2	“	“	“	女	4	E		“			○	○	○		
6270	志摩の故老の寝宿とヨバイの話	志摩半島の小漁村	三重	男	2	E		“		2075	○	○	○		
6271	婚約の2人を看に	Dの車の中	東京	男女	5	CD		“		1799	○	○	○		
6273-1	金婚式	鳥取県中部のある農家	鳥取	男女	6	E		“		2104	○	○	○		
6273-2	“	“	“	男女	4			“			○	○	○		
6274	女将のかたる京都弁(上)	京都・四条の旅館	京都	男女	2			“		1255	○	○	○		
6275	女将のかたる京都弁(下)	“	“	男女	2			“		1244	○	○	○		
6276-1	昔の国研苦勞ばなし	国研研究棟の落成祝賀パーティー	東京	男	6			“		2135	○	○	○		
6276-2	“	“	“	男女	2			“			○	○	○		
6277	「現代のぞき眼鏡」	東京のある民間放送	東京	男	4			“		2648	○	○	○		
6278	試験の結果がわかった日 →母と娘の会話→	家の中	“	女	2	BD		“		1873	○	○	○		
6279	コーヒー・ブレイク	東京のある職場	“	男女	6			“		931	○	○	○		
6280	保育園の昼食どき	大田区の保育園	“	男女				S50		1336	○	○	○		
6281	マレーシアからきた研修生	U造船所		男	5	D		“		2372	○	○	○		
6283-1	電話で道をきく(かつぼうT)	電話口	東京	女	2			“			○	○	○		
6283-2	電話で道をきく(S結婚相談所)	“	“	男女	2			“			○	○	○		
6283-3	電話で道をきく(S区役所)	“	“	男女	2			“		1008	○	○	○		
6283-4	電話で道をきく(M公園)	“	“	男女	2			“			○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	タイプ	K W I C	フ ィ ッ シ ュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6284-1	東京弁と大阪弁 - 大阪市民の言語生活調査から -	調査を受けた人の家	大阪	男女	2			S 50		○	○	○	○		
6284-2	"	"	"	男女	3			"	1856	○	○	○	○		
6284-3	"	"	"	男女	3			"		○	○	○	○		
6286	観光バスのガイドとお客 - 姫路から湯之郷の道で -	バスの中	兵庫	男女	3			"	1140	○	○	○	○		
6287	よもやま話	ある家の中		男女	4	DE		"	434	○	○	○	○		
6288-1	四万六千日	浅草寺の露店 (鉢植えホーズキ屋)	東京	男女	2			"		○	○	○	○		
6288-2	"	浅草寺の露店 (ツリシノブ屋で)	"	男女	3			"		○	○	○	○		
6288-3	"	浅草寺の露店 (鉢植えホーズキ屋で)	"	男女	3			"	1570	○	○	○	○		
6288-4	"	浅草寺の露店 (海ホーズキの店で)	"	男女	3	D		"		○	○	○	○		
6289	浅草・お富士さん	浅草・富士神社の植木市	"	男女	6	D		"	1066	○	○	○	○		
6290	7つの母音	奄美大島南部の瀬戸内町古仁屋	鹿児島	男	2	E		"	1025	○	○	○	○		
6292	パパになって2週間	戦場の昼休み	東京	男女	4	D		S 51	1380	○	○	○	○		
6294	アバヨの語彙がわかった - 岐阜県徳山村戸入で -		岐阜	女	1			"	434	○	○	○	○		
6295	北海道移住のころ	H (語り手) の家		男女	2	E		"	2020	○	○	○	○		
6297	鹿児島県枕崎民話「山神と松崎家」について	薩摩半島最南部の枕崎市	鹿児島	男	1	D		"	663	○	○	○	○		
6301	名古屋弁について	ある家				E		"	1384	○	○	○	○		
6311	奉納演芸大会	向島百花園の隣りの白髪神社	東京	男	5			S 52	1544	○	○	○	○		
6316	呉服店の展示会場で	広島呉服店の展示会場	広島	女	4	CD		S 53	1256	○	○	○	○		
6317	野菜汁製造機の街頭販売	新小岩のアーケード街の道端	東京	男	1			"	2114	○	○	○	○		
6318	ある結婚披露宴風景	都内の結婚式場の披露宴	"	男女	3	DE		"	793	○	○	○	○		

号数	タイトル	場所	地域	人物				録音年	時間(分)	語数	文字化	テープ	K W I C	フィッシュ	備考
				性	人数	年齢	職業等								
6319	大学生の語る宮沢賢治のファンタジー世界	某女子大の大学祭での討論会	東京	男女	9	C		S 53	4656	○		○	○		
6320-1	飛行機の機内アナウンス	那覇 - 福岡間の日本航空		男女				"		○		○	○		
6320-2	"	宮古 - 那覇間の南西航空		女	1		スキューバース	"	1576	○		○	○		
6320-3	"	福岡 - 東京間の日本航空		女	1		"	"		○		○	○		
6321-1	国電ストの朝	池袋駅東口(駅の構内)	東京	男女	2			"		○		○	○		
6321-2	"	池袋駅東口広場	"	女	1		婦警	"	1761	○		○	○		
6323	小学1年生の国語の授業	鶴岡市内の小学校の1年生教室	山形	男女			先生・生徒	"	1428	○		○	○		
6324	冬のレニングラード市内観光	バスの中		女	1		外人ガイド	"	1882	○		○	○		
6325	方言による翻訳劇	アトリエ公演会場	東京	男女				S 54	1104	○		○	○		
6327	加計呂麻島で	奄美の加計呂麻島	鹿児島	男	2	E		"	488	○		○	○		
6328	ツーテングジャックの遊び方	上越線の列車の中	群馬	男女	5	ABD		"	1625	○		○	○		
6329	時計のせり売り	大阪ミナミの繁華街の一角	大阪	男	1	D	店員	"	1662	○		○	○		
6332	だまって座れば	東京のとある盛り場	東京	男	2			"	3476	○		○	○		
6333-1	区議候補の個人演説会	町内の小学校体育館(路上で)		女	1			"		○		○	○		
6333-2	"	町内の小学校体育館(会場で)		男	4	E		"	2177	○		○	○		
6335	卸し売り	石川県輪島市の洋品店	石川	男女	4	DE		"	1764	○		○	○		
6338-1	病院の受付にて	加古川市の病院の医事課受付	兵庫	男女	5	DE		S 55		○		○	○		
6338-2	"	"	"	男女	8			"	1395	○		○	○		
6341	建設会社事務所での会話	佐賀県伊万里市の建設会社	佐賀	男女	6	CDE		"	1367	○		○	○		
6342	怪獣ごっこ	長谷川君の家の子供部屋		男	3	A		"	1858	○		○	○		





## 2. 原文における解説一覧

以下に示すものは、『言語生活』「録音器欄」の解説である。これによって、データ内容を知ることができる。各号、はじめに3桁の数字で号数を示し、次にタイトルを示す。『言語生活』は縦書きであるが、ここでは、横書きで示す。したがって漢数字を算用数字にかえるなど表記が変わっている部分がある。

001-1,-4

—ある日の東京駅

汽車や電車の切符を買うとき、われわれはどんな買い方をしているだろうか。

駅のアナウンスはわれわれに向つてどのように呼びかけているだろうか。

窓口はとかく論議の種になる。親切な出札係、不親切な出札係の例が新聞の投書欄にぎわしているのも、その冰山の一角だ。ところで、お客の側であるわれわれは、どんな切符の買い方をしているだろうか。言い方に何かきまつた型のようなものがあるだろうか。われわれははたして能率的な切符の買い方をしているだろうか。

駅のホームのアナウンスについても、世論は批判的だ。拡声機の音色が悪いことはくりかえし指摘されている。その拡声機を通してあまりにもわめきたてすぎると非難する人もあれば、反対にまだあの程度ではしゃべりたりない、不親切だという人もある。

論より証拠、それらの場面を録音してみることにした。——ある日の東京駅で。

002

3人の女子学生

ことばは、ものを伝えるためにだけ使われるのではない。話すことそれ自身を楽しむ。レクリエーションのために話すということもある。

その見本として、修学旅行を間近に控えた、女子学生3人の会話をとらえてみた。東京のある大学の学友会のクラブで、9月某日。

003-1,-2

入社試験

入社試験を受けるというような、人の一生にとって重大な場にのぞんで、われわれはどんなしゃべりかたをするであろうか。

ある日のL製鉄会社の面接試験場。受験者は明春卒業予定のT大学法学部の学生たちで、事務系統志望者である。

試験官からの質問「志望理由および動機は何か？」に対する答を録音した。録音再生を聞きながら、集った甲、乙、丙がかつてな意見を述べた。 (録音記録のうち1字あけは音の休止を示す。)

004

1年生の教室

教室からもれてくる元気なこどもの声が、コンクリートのたてものにこだまして、校庭いっぱいひびいている。

東京、山の手のある小学校のひる前。マイクは1年生の教室へ。ちょうど国語の時間がはじまったところだった。

30代の男の先生、生徒は男女合わせて40名ほど。(1字あけは音の休止を示す。)

005

街頭宣伝

自動車の警笛、電車のひびきとともに、いやでも町行く人々の耳にはいつてくる街頭宣伝の声声。あちらから、こちらから、スピーカーのその声々はオーバーの襟を立てて行くいそがしそうな人々にどんなことを話しかけているだろうか。

東京のある繁華街<sup>が</sup>のひるすぎ。(1字あけは音の切れ目を示す)

006

予備隊員のひととき

学生には、学生の間だけで使われることばがあ

り、かつての軍隊には、いわゆる軍隊語があった。特定の社会には、その社会特有のことばがあるのが普通である。さて、警察予備隊が発足してから1年半、予備隊語とでもいうべきものが生まれたであろうか。われわれはそれを探るために総隊総監部の好意によって、東京附近の某キャンプを訪れた。

夕食後のひととき、一般隊員の起居する大きな内務班の一隅、ストーブを囲む5人の予備隊員の会話をとらえた。Aは三等警察士補（伍長級）で30歳前後、B、C、Dは警査長（兵長級）、Eは一等警査（一等兵級）でそれぞれ24、5歳。

007—1, -2

PTAの会議風景

われわれは、PTAの活動が盛んだといわれている東京旧市内西部繁華街の某小学校を訪れた。ちょうどPTAの5つの分科委員会で、新学年に備えて、委員長の互選が行われていた。5つの分科委員会とは、施設改善、厚生、校外生活指導、成人教育、給食である。まず校外生活指導委員会に録音器を持ち込む。この委員会は休み中の児童の生活指導や、子供会、子供貯金の世話などを行っている。（1字あけは音の切れ目を示す）

008

店内御案内嬢

009

電話はなぜ時間がかかるか

Kさんは中年紳士。中年のO夫人に電話している。Kさんの奥さんとO夫人とはともにお子さんを連れて今日サーカスに行く約束があるらしい。

呼出のベルが鳴ると御主人が出る。

010

美容院の午後

女性だけの、水入らずの場面では、どんな話がされているのだろうか。その一例のもと、録音器を美容院に持ちこむ。ところは東京浅草の柳橋。

したがって、お客さんも、すべて「いき筋」である。助手が10人あまりも働いている。（ローマ字A……Hはすべて助手である。）

セットをしているところ。1人のお客に助手が2人ぐらいかかって髪を結び上げる。

昼休みの雑談

初夏の一日、録音器は某研究所を訪れた。大きな門を抜け、いかめしい玄関から研究室へと通る。すばらしい研究をしている人々はむずかしい本ばかり読んでいるのかと思っていたが…。ちょうど昼の休み時間で、外に出て運動をしている人もあって、室の中には、あまり人が多くなかった。室の片隅に、4人ほど集って食後の雑談に時を過ぎていた。

話は、ある人のうわさから始まる。

011

警視庁捕物帳（1）

012

パトロール・カー出陣

ここは桜田門、東京警視庁の指令通信室。ある夏の夜9時43分。110番の電話がけたたましく鳴り出す。

013

競輪・金融公庫・交通事故

—理髪店での会話から—

ここは東京都四谷のT理髪店。主人は50位の東京っ子。ほかに助手Hさん。明るい店内の午後。60才ぐらいの老人が入ってくる。顔なじみらしい。

014

吉日をえらぶ心理

—結婚式場申込風景—

11月は出雲の神様も忙しく、結婚式場も書入れ時となる。結婚式の日取りをきめるのに、昔から大安をえらぶのが習わしとなっていたが、現代でも大安や友引、仏滅などが問題になるのか。



録音器は、都内の結婚式場を訪れた。緑の木立につままれた砂利道を歩いて受付に通される。しばらくすると、若いアベックが入口に現われる。

015

当世書生言葉

女が3人寄れば、かしましいとは昔の話。男の学生も、3、4人集まれば、あれこれと話に花が咲く。9月某日の昼下り、ある私立大学の学生仲間が4人ほど集まっていた。別に酒を飲んでいるわけでもないが、ほがらかに、なめらかに話が進んでいく。

話題は、図書館・拳闘・映画・野球・写真・酒・麻雀・相撲・食物・流行雑誌など多彩である。

016

ある飲み屋のスケッチ

隠しだてのないところのことばづかいを写そうと、録音子はある飲み屋にはいり込んだ。

東京は池袋の裏通り、同じような小さい飲み屋がくっつき合っている路地で、この店は一ばん繁昌している。店内は間口一間半、奥行二間しかない土間の奥に、四畳の座敷があるだけ。土曜日の夜のひとときを酔い過ぎさんとする人種で、まさに足の踏み場もない有様。座敷では三味線や歌に合わせて踊っている者がある。

017

国会控室

よく晴れた冬の日。冷たく威容を誇る議事堂を訪れる。まずW党の控室。

本会議開会を告げるブザーの中を代議士や秘書の往来があわただしい。隅の方で2人の議員が2人の陳情者と何か高声に話している

018

八百屋の店先から

ここは東京山の手の一画、高台の住宅街のある八百屋の店先。夕食前の4時から5時までのころともなれば、客のとぎれることがない。録音子のマイクがとらえた人数だけでも50余人、そのほとん

どが家庭の主婦と見受けられる。日常生活の中でも最も身近な、こういう場面では、どんなことばが聞かれるだろうか。(八は店の主人、娘はその娘の略)

019

職を求める人々

— 職安の窓口から —

公共職業安定所の職業紹介係では、どんな会話が行われているだろうか。録音器は、東京某職安の女子部を訪れた。女の係員はいろいろとくり返し質問して確かめながら、用紙に要領よく書きこんでゆく。ここには老若2つの場合を並べてみよう。

50近いおばさんが係りの人と話している。

020-1,-2

たたく売手、たたく買手

浅草の名物と言え、観音様はもちろんだが、六区の映画街とともに、その東に6、700軒もつらなるマーケット式の衣類、靴カバン類の専門店も壮観である。その中でも一きわ人を集めている店にマイクを近づけて、販売話術をさぐってみることにした。のれんには「N商店処分品整理市」とある。威勢のいい若い者が3人居て、ひとりが立って叫んでいる。

客間と井戸端

— 主婦のことば —

東京西北の郊外。A家の客間では、5人の主婦が集まって、家計の研究に余念がない。A婦人だけが40歳台で、他はいずれも30歳前後。

022

幼稚園風景

東京西郊のある幼稚園。園児にとってもっともたのしいお弁当のひととき。マイクがその真中にしのび込む。園児は服装から見ても、良家の子女であるらしい。

023

公益質屋

夏枯れのわびしいふところに、ふと質屋をのぞいてみたくなった。せっぱつまってこういう所に入出入する人たちは、いったいどんな調子でものを言っているだろうか。

東京都S区の公益質屋。——のれんならぬ重いドアを押して中にはいると、郵便局の窓口のようなかっこうである。そこに質屋氏が2人座っている。奥は倉庫に続いている。

お客さんはほとんど女の人だそう。そのせいか、案外ほがらかな会話が行われている。

023-1,-2

ある日の競輪場

競輪は、一時ほどであるかどうかは知らないが、依然として盛んであり多くの人を集めているようである。録音子は、録音器を肩にして競輪場に出かけた。駅を降りると、予想屋がいく人も並んでいる。

024

さかなやの店先より

家庭の主婦にとって、もっとも親しい店、それは八百屋と並んでさかなやであろう。半年ほど前に八百屋の店先の声をお送りした録音子は、今月はさかなやをのぞいてみた。

山の手の住宅地に接した商店街、通りには都電が走り、トラック、ハイヤーの往来もはげしい。

夏の夕方4時すぎ、買物かごを手にした奥さん、娘さんがつめかけている。(店主はさかなやの主人、店女はそのおかみさんの略ともに40歳前後と見うけた。)

025

野球放送を聞く

同じ場面を見てそれをことばに出すとき人によってどのような差があらわれるだろうか。これを見るために、やや型にはまった言いかたしか期待できないが、野球の実況放送で、2つの放送を同時

に録音して比べてみた。試合は8月20日の高校野球決勝戦、土佐高校対松山商業高校の熱戦も大づめに近い。9回の表松山の最後の攻撃もツーアウトを奪われたところから。「、」や「。」は息をとめたところ。休止の長いところでは行をかえた。

026

戦争と2人の左官屋

東京の間屋街で、ある店が改装している。ちょうど左官屋さんの工事が始まっていて、昼の休みに雑談をしているところである。

40歳前後の左官屋さん2人が主役であるが、2人とも江戸っ子である。ほかに、これも江戸っ子の問屋の主人夫婦がいる。

027

旅行は楽しく

東京郊外のある女子大学の学生たちが、日だまりに腰をおろして楽しそうに話している。旅行の打ち合わせらしいが日本の観光談議ともいえそうだ。

028-1

女性語あれこれ

美容室にて

日本橋M百貨店の美容室にマイクを入れた。美容師(50才)、客(20才)、付添い(35、6)才、美容助手(20才前後)の4人の会話。美容室といっても、ここは写真を撮るために和服の着付をしているところ。

028-2

女性語あれこれ

女中部屋にて

日本橋の、料亭M屋の女中部屋にマイクを忍ばせてみた。女中さんたちは、15、6から35才ぐらいまでのひとたち。時刻は午後3時頃。客が立てこむには、まだ時間がある、午後の掃除が始まろうというころ。



028-3,-4

女性語あれこれ  
車中にて

(1)

国電中央線の中で、勤めの女性2人の会話をスナップしてみた。2人とも30才前後。電車は西オギクボから吉祥寺へ。午後10時ごろ。

(2)

同じく中央線の中。50才前後の2人の女性。どこかへ、内職を頼みに行くところらしい。電車はムサシサイから吉祥寺へ。午前9時ごろ。

028-5,-6

女性語あれこれ  
編物学校にて

(1)

代々木駅近くのT婦人職業協会の「編物」教室をのぞいてみた。ちょうど自習時間で生徒同志で話し合っている。若い女性やら子供連れの主婦もまじっている。

028-7

女性語あれこれ  
飲み屋風景

新宿M座裏、5人も客が入れば満員になるような小さな飲み屋。T子は27、8才の女性、ひとりで店をきりもりしている。男客は25、6才、会社員風情、先客2人。

029-1,-4

ジャズを好む年齢

ジャズに胸を躍らせる10代の人々の言葉はどんなだろうか。肩かけ録音器によって探してみる。

東京、中央のS駅前に夥しい楽器を積み重ね数人の若人が話している。すべて男子。

030

あなたも話せる

先月号、馬場氏「言語と心臓」の実際版。いわゆる、パングリッシュの実態を探ってみる。アメ

リカの男と日本の女が借りている部屋の外からの録音。同じような1組の客が来ている。アメリカの男を1、2とし、日本の女を一、二とする。部屋の主人は2と2とである。

何か新しい炊事用具を見せに来たらしい。

031

主婦と小僧

東京西郊のある勤人風の家勝手口。この家に入っている魚屋の小僧と、もと同じ店の小僧で、今はい（鑄）物工場にかよっている工員が、主婦を相手に世間話をしている。

032

クツズミを売る男

よい時候になると盛り場には人出が多くなる。東京S駅近くの広場に浮かれ出た録音器がとらえた大道商売の1つ。時刻は夕方の5時過ぎ。売手は40歳前後の男。

033-1,-5

美人コンクール

東京西郊世田谷区のある中心にある某商店街では、客寄せの一策として美人コンクールを催した。弥次馬精神の横溢している録音子が録音器を肩に出動したところ、軒並みに美人コンクールの幕を張りめぐらし、コンクール景気は最高潮である。中でもひときわ人の集まっているところを目指して行くと、ミス世田谷の候補者たちの写真がズラリと並べられ、さまざまの下馬評。

034

趣味を語る

K市の電話局のレスト・ルームで、交換手の監督のT老嬢と交換手のN嬢とが趣味の話をしている。監督といえば10年以上の職歴をもち、彼女らの間では親分的存在である。さすがに、ことばにはさんざん苦労して来ただけあって、たいそう落着いた話ぶりなのには感心した。Nさんはいささか遠慮気味である。



035-1,-2

買う株売る株

東京中央の某証券会社を訪れる。数十の電話の応接、社員どうしのやりとり、客との相談の声声が一大騒音となっている。まず、場電（電話で外部と連絡する所）から。

036

茶の間のひととき

H-夫、30歳、公務員

W-妻、25歳

D-こども満1歳、女、名前「ようこそ」

S-妻の妹、高校3年、名前「のりこ」。夏休みで遊びに来ている。

W-食事の用意をしている、H食卓についている。

038

精神病患者のことば

録音器は、東京都立松沢病院をお訪ねして、いろんな精神病患者の方のことばを録音させていただきました。副院長をしておられる詫摩武元博士と患者さんが話をしているところです。そしてそれぞれの例について詫摩博士に手短かにわかりやすく解説を話していただきました。患者のことばはいろいろの点で考えさせる点が多いように思われます。

第一例 分裂病の女患者

43歳。少し東北なまりで早口に話す。いつも性に関したことを話している。発音はふつう。

039

町の診察室で

医師と患者のコミュニケーションはどのように行われているだろうか。録音子は世田谷K町のS医院の診察室を訪れた。ここは内科小児科専門で、夫妻で診察にあたっている。

040

金のかかる話

デフレ下の年末は、どこでも、かね、かね、かね。年が改まっても、楽になりそうもないが。ここでは、無尽の集まりを録音した。

場所は東京近郊のC家。A・B・C・Dは30代の主婦、E・Fは40代の主婦。

途中に無尽と関係のない話が入るのは、こういう会合の性格か。

041

終着駅

啄木にならって、上野駅に出かけた。地方の人が改まったときどんなことばを使うかと、ホールの中にある上野警察署の上野駅警備出張所に行くと、55歳ぐらいの巡礼風の白衣の男が何か警官に訴えている最中。

042-1,-1

子どもの世界

父-32歳、ある研究所の所員。

母-29歳。

姉娘-4歳1月、名まえ「ますみ。」3年保育の幼稚園の生徒。

妹娘-2歳9月、名まえ「はるみ。」

日曜日。親子4人、本を読んで遊ぶ。姉は、すっかり暗唱できるお話もある。ここには、「出まかせばなし」を拾ってみた。

043-1,-2

高校生=昼と夜

高校生はどのような事をどのように話しているだろうか。東京中央の全日制の高校生の雑談と定時制のそれを、それぞれ録音してみた。

まず、全日制の高校生の会話から。ここは男女共学ではあるが女子は全体の3分の1くらいしかないので、男子クラスと男女クラスとある。賑やかである。(1字アケは音声の切れ目を示す)。

044

柳田国男氏の

国語研究所への祝辞

この3月の30日には、国立国語研究所の新庁舎開き記念祝賀式が、新しい庁舎のすぐ隣の、神田一ツ橋講堂で催され、まず、西尾実研究所長の挨拶と経過報告があり、そのあと、国語研究所に関係の深い5人の外部のかたがたからの祝辞がありました。

今月号の録音器は、その中から、国立国語研究所評議員会の会長をしておられる、柳田国男氏の祝辞をそのまま再録することにしました。

以下は、柳田氏が原稿なしにお話しになられたもの全部を、言語資料として、全くそのまま録音再生したもので、氏の熱のこもった、特色あるお話し振りのほんのすこしでもお伝えできたらさいわいです。

なお、これだけのお話しに要された時間は4分たらずです。

045-1,-2

幕間

歌舞伎座で、赤坂のきれいどころが温習会を開いている。会場は、後援者と粋な男女の観客でいっぱい。幕間の廊下では、あちこちであいさつが取りかわされ、すみの方でコソコソ話をしている男女や、目にハンカチをあてながら、しめやかに話す老女、にぎやかに笑いさぐめく人々などで、雑踏をきわめている。

046

学園民主化!

かつて漢学塾として聞えたN大学では、数日来、学園の民主化、学校屋理事長反対を叫んで教職員組合、学生・生徒自治会が「すわりこみ」に入った。正門の横には支援団体、組合の赤旗がひるがえり、あわたたしい、緊張した空気。マイクは講堂で開かれた「N大学危機突破総決起大会」へ。

会場では、諸団体から寄せられたメッセージが朗読され、激励電報が読み上げられる。

047

商業座談会

所、浅草花川戸のあるハナオ屋さんの2階。人、主としてハキモノヤの御主人たち9人。話題は、中元の大売出し対策。外はトラック、オート三輪の音、往来で遊ぶ子どもたちの声、時に何やら拍子木の音なども聞える。

048

話せば分る

— 大道将棋 —

何かうまい材料はないかと、いわゆる肩かけ録音器をぶらさげて、東京のS駅の近くにある盛り場へ出かけた。あれこれと、ひやかしているうちに、急に声高く言い合いが始まった。そら、うまい。いいチャンスとばかりあわてて近づいてみると、大道の詰め将棋屋(S、25、6歳の男)と客(K、30歳ぐらいの男)とが、言い争っている。客は帰りかけたのだろう、10メートルぐらい離れている。

言うまでもないが、大道の詰め将棋は、客が詰めれば煙草などを景品に出し、詰められなければ客から金をとるといふもの。この場合は失敗しても、金はいらない、うまく詰めれば煙草をあげるという、客寄せをしていたものらしい。

なお、Yはやじうま。

049

小さな喫茶店で

喫茶店に録音器をかつぎ込んだ。喫茶店にもいろいろあるが、ここは、女給や音楽を売物にしない、味をもっぱら売ろうという本格派、あるいは正統派。ワイシャツに蝶ネクタイのボーイさんが立ち働いている。マイクを仕込んだテーブルの隣りのテーブルで中年の男2人がボソボソ何やら熱心に話している。

050

運勢判断

学生と易者

東京の真中の学生街、昼下りの雑踏を避けた小路筋にある易者の家。手相人相撰名と看板が出ている。客は老婆、大学生と中年紳士。録音子は



学生を俎上にのせた。

学生は姓名、生年月日を聞かれる。算盤をパチパチと弾いた易者は徐ろに学生の手をひらを天眼鏡で覗き込む。(間・緊張)

エーココニ コーユ一十字形ネ。コレガコノ一神秘性十字門ト言イマシテネ、エー手相・人相・宗教・哲学ア一イワユル、人生論的ナ コーユ一神秘的ナ事ニ対シテ非常ニ興味ヲ持ツ相デス。シカモソレヲ自分ノ修養ノ助ケニスルトユ一持ッテ生マレタ先天的ナ性格トユ一モノヲ後天的ナ修養ニヨッテ転換スルワケデスネ。ソノ事ニヨッテ運命ソノモノモマタ、後天的ニ変ッテ……ソレガ手相ノ変化トシテ……

易者の前座講釈が始まり、指紋、頭脳線、感情線、生命線などから学生の運勢をピタリピタリ(?)あてていく。

052

老人クラブ

人生の第一線から退き、今は楽しく余生を送っている老人たちの言葉を録音してみた。

東京山手の生活館内の老人クラブ。東京都の経営である。日曜を除き毎日朝10時より夕4時まで老人たちに一室を解放している。設備も整っていて、いつも30人くらいの人が碁・将棋や三味線入りの歌・踊りなどに興じている。

054

いなかの1年生

2年ほど前、「あいつがヨー試験におっこちてヨ一、それでヨ一……」と、「ヨ一」をはさむ言い方が、若い人の間に流行したことがある。悪い言葉として問題になった、この「ヨ一」も、本場の神奈川県で自然に話されているのは、また別のひなびた味がある。

今月は録音器を神奈川県中郡伊勢原町の比比田小学校の教室へ運んだ。1年生。若い女の先生が話し方を指導している。

055

税金の申告はこうして

東京都内の某税務署。2月末日ひるすぎ。折から税金の申告の時期なので室内はごった返している。ずらりと机を並べた20数名の男子の係員と申告者がそれぞれ談じあっている。いずれも緊張した面持である。

056-1,-2,-3

119番消防庁です

東京消防庁の指令室に録音器を持ち込んだ。火災報知・救急要請用の電話119番はすべてここにかかってきて、ここでそれぞれ必要に応じて処置される。6人がいつも受話器をつけて待機し、1人が1つの地区からの電話をうける。折しも電話のブザー。

057

ここにもノイローゼ患者

山の手の開業医、繁昌して患者はひっきりなし。医師は中年、20数貫堂々たる体くの先生。助手は先生の妹さん、5月9日の午前中。

058

「夜のお江戸」御案内

S観光バスの「夜のお江戸コース」に乗る。お客は、40人ほど。会社のグループあり、地方の人らしい一団もいる。案内嬢の、独特の説明調が、流れるように続く。

062-1,-2

東西花街ことば

— 祇園と柳橋 —

伝統を誇る祇園まち甲部のことばづかいにも、時の流れは、あとをとどめる。東西花街と銘うって、東は柳橋にご登場願う。知らず、粋人のそしりを招くや否や。

祇園 姉芸妓玉緒さん 31歳

妹芸妓玉喜久さん 18歳

そのお母さん 57歳



063

この結婚は成り立つだろうか

家庭裁判所の調停室。テーブルを囲んで、一方に申立人（25・6歳の女性）とその相手カタ（30歳ぐらいの男性）。もう一方には、この2人と向かい合って中央に裁判官、その両側に男と女の調停委員がイスにかけている。

申立人は相手カタの婚約不履行について調停を求めてきた。きょうはその裁判の第一日。調停委員が双方から事情を聞きとったのち、裁判官が現われる。

064-1,-2

ラジオとテレビでこう違う

同じことを伝えるのに、ラジオとテレビでどう違うか。昭和31年度夏場所13日目（6月1日）の実況放送をNHK第2とNHKテレビで聞き比べてみた。なお神風と大山は解説者である。小結（当時）琴ガ浜と前頭六枚目（当時）双ツ竜の対戦から。（なお☆印はラジオとテレビの同時点）

065

組合の交渉

東京の某社（という事にしておく）組合の交渉風景。この社は幾つかの支社を持っている。本社・支社の組合は一本になっており、更に全国的なZ組合の一環となっている。最近この社では従業員の勤務評価を行う事を決めて、まずテストとして係長級以上の職員に実施し、かつこれについての意見を徴した。すべて組合に対して秘密のうちに行われた。これを察知した組合では勤務評価は人員整理に連るものとして反対し、ここに社側との交渉を持つ事になったのである。出席者は社側では社長、総務部長ほか課長など10数名。組合側は委員長ほか10数名。

< 最初に出席メンバーが問題。 >

066

熊本弁

思い出話

今月号は、熊本県は宇土半島の先端、熊本市から車で1時間余り、天草や島原へ定期便のかよう港、三角町の方言をおおくりします。話し手は82歳の母と60歳の息子。話題は身辺の思い出話。

067

春宵のハムたち

これは眠られぬ夜の、録音子がふとしたいたずらごとである。春宵の空に乱れ飛ぶ2組のアベック・アマチュア無線の声をとらえてみたというわけ。D夫婦はオールド、E夫婦はジュニアのアベックである。

068

電話のはなし

< 某先生の研究室、某月某日昼さがり、うつらうつらの春のころ、電話のベルに目をさました先生の耳に、出版社の編集子からの声。訂補ずみの清書原稿を、さらにこの先生に訂補してもらっているものらしい。 >

069-1,-2

画家とモデル

画家に化けてあるモデル周旋屋さんの「面会日」に乗り込んだ。いわゆる「モデル市」だが、ここではこのことばをひどく嫌っているという。毎週日曜日の午前がその面会日。倉庫のような建物の急な階段を上ると5、6坪の板の間。モデル15、6人、画家4、5人がいる。周旋の世話役は女の人、いずれも元モデルのOBならぬOGと見受けられる3人、日曜以外には額縁などを作る作業台らしい机を控えて座を占めている。

070

小西節まかり通る

6月1日の中日ドラゴンズ対読売ジャイアンツ戦、中継放送（NHKテレビ）での小西得郎氏の解

説。あの抑揚に富んだいわゆる小西節の持味をそのままに再現することは出来ないが、センテンスの長いこと、対句的な手法、文語的表現など小西氏の解説ぶりの特長をうかがうことは出来よう。

071-1,-4

運転手Sさんの数時間

タクシー運転手S(37)さんは、K交通のダットサンにのって主に銀座新宿を流している。

★午後11時40分ごろ、東京駅八重洲口。3人の青年が乗り込んでくる。

072

新名人誕生す

朝日新聞東京本社の正門に立てられた3メートル四方の大将棋盤の前に、大勢の人が集まっている。ついに升田王将九段が大山名人を破り、宿望の名人位を獲得したのだ。録音子も、小雨の中を群衆にまじって、原田八段による全局解説を開いた。

073

特飲店で(その1)

特飲店に起居する人々の生活と意見を知らうと思って、録音子(R)はある一軒の一室にはいった。クミ(仮名)という女性と問答した。そのあとで店主の話を聞いた。店主の話は次号にのせる。

074

特飲店で(その2)

主人と

主人は録音子の旧友。行いも風ほうも精力的で、まことによくしゃべる。「こういう所では、どうして女の子が主人夫妻をおとうさん、おかあさんと呼ぶのか」という録音子の質問に答えて「多分芸者社会の習慣が横すべりしたものだろう。芸者を養女にしておけば、彼女にいいダンナが出来た時、かかえ主は親としての恩恵に浴することが出来るから、そうするかかえ主が多い。」という説明をした。ひきつづき

075

案内者の言葉

人を案内し説明することは容易なようであるが、実はなかなか難しいことである。案内説明する事柄に対する知識を十分に持っていなければならないのはもちろんであるが、説明が短かすぎれば理解してもらえず、長すぎれば退屈させ、専門にわたりすぎてもいけないし、わかりきったことでも困る。相手の求めるところに沿って関心と興味を呼び起こしつつ、適切に理解させ印象づけなければならぬ。今回はNHK・放送会館の説明者の言葉を録音した。案内説明のN氏は10年の経験をもつ中年の紳士。会長賞を受けられたベテラン。見学者は都内某高校の放送班約20名。ポーズ、抑揚、強弱、身振りなどをうまく書き表せないのが残念。

076-1,-4

万年筆のインクの入れ方とリップラインの描き方(など)

冬の町なかから、話術で人を呼ぶ商売を4つ、集めてみた。

まず、山の手のある盛り場の夜。何とか処分市の売台の若い男。身振り手ぶりよろしくまくし立てる。

077

テーブル・スピーチの説き起しと結び

録音器は、とある結婚式場へ。同じ職場に働く2人のために同僚が実行委員会を構成して行なった結婚式である。実行委員長や本人の話も、この式には意義深いだが、ここでは、いくつかのお祝いの言葉の説き起しと結びを並べてそのバラエティを味わっていただくことにする。最初に社長の、お祝いの言葉から。

078

子どもと絵本

1月6日夜。こたつを囲む父母と子(4歳半女兒)。午後、近くで映画(リラの門、バレエへの招宴)を見て来た。父(録音子)はこたつぶとんの下に小



型録音機を入れ、かくしマイクを子のそばに置いて、本を読んでいる。子、しばらくバレエの絵などをかいていたが、父が「ねえ、御本読んでよ」と言ったので、ごっそり絵本を持ってきた。1冊を取り、開く。この本は何度も見てはいるが、大人に読んでもらったことはない。ページのめくり方は手当たり次第。6面をしばらく見て、5面右側に。( )内は母の応答。母はなるべく話すまいとし、父はだまってメモを取る。[ ]は説明、傍線は強調。

079

サァテ、お立ち会い

<東京は浅草、金龍山浅草寺、カンノンサマ本堂前の広場には、きょうも、テキヤのアンチャンが、柔道着を着て、お客を集め、うすッペラな雑誌を売っている。手にする雑誌の表題を見れば「心身鍛錬強健法秘鍵」>

080

財布をにぎる老母の苦勞

老母(60才)がはるばる浜松から東京に住んで分家した息子をたよって、訪ねてきた。老母はいなかで身体の自由のきかぬ祖父と、それから嫁と妹の4人ぐらしてである。一家の財布を自分でにぎっている。早く財布を嫁に渡してしまいたいと思うが、東京に出て魚類会社につとめている末の息子が結婚するまでは、嫁に「家の財布」を渡すまいと思う。老母が上京したその夜、母子水入らずで息子は老母の話を聞く。

◇良という母親の一番末の息子に結婚話がもちあがっている。学校友だちの妹さんで短期大学を出て、中学校の先生をしているらしい。

081-1,-2

家出娘と狼

上野の西郷さんの銅像前。手すりにもたれて夜の上野の街を眺めるアベック数組。そのうちの1組を、前からの知り合いでない、と看破した上野署の2人の私服が、さらぬ態で監視している。23、4の女がうしろのベンチに腰を下ろす。60年配の

一見紳士風の男がつづいて腰かけて、何かはなす。女がプイと立って行く。しばらくして紳士が立って女を追い、また並んでやみの中を歩き出す。「よし聞いてみよう」と私服は追跡にかかる。4月19日の日食前夜だから真のやみ。同じようなアベックがウロチョロする中をあやまたず追う私服の眼力に感心する間もなく、上野駅公園口に近くの街灯の下で追いついた。警察手帳を出して、

082-1,-2

ロケーション風景

日活「大阪娘と野郎ども」のロケーション。共立講堂の一隅に、エキストラ300人くらいを集め、ライトが78台明るくまぶしい。通路に面した最前列の席に、男女優23人が並び、斜め横からカメラ。監督・助監督・カメラマン・進行係・照明係・録音係など、スタッフが30人ほど見守る中で演技が始まる。

場面は、大阪娘(女優2)の扮するデザイナーが開いた「下着ショウ」をみながら問屋の主人(男優1)と娘の母とが、商取引をしているところから。

こう書いてしまうと平面的になってしまうが、実に入り乱れて、大変なフンイキ。

083

海のむこうの日本語

Hawaiiの日系人は、どんな日本語を使っているだろうか。Oahu島Kailuaにある放送局KANIの御好意による資料を文字化してみよう。ピープルスピークという日本語番組だ。内容は、読めばだいたいおわかりと思うが、まずマスコミ化した井戸ばた会議というところ、放送時間は、主婦の手すきになった午前10時から45分。

084

少年補導

深夜喫茶を1つの契機として、少年の不良化防止が取りあげられているが、一体、少年補導はどのように行われているのだろう。感じ易い少年たちを補導するには機に臨み、時に応じて、彼等の魂



をゆり動かす説得も必要のようだ。携帯録音機によって、その様子を探ってみる。東京中央の繁華街。

今日は普通の曜日なのに、映画館の前で、スチールを見ている中学生風の少年がいる。まだ、午前10時にならぬ。

085-1,-2

キャンプ村にて

8月2日の夕方、逗子の浜辺のキャンプ村で、バングロー（全部で20ほど）に泊っている学生生徒の3グループに集ってもらって、録音子(△)と話しあった。

086

家を買いに

東京都内のある不動産会社の営業所で。はじめは、40代の和装の婦人客と社員との会話。

087

字のない字本

録音担当者(R)は10月のある雨の日、多摩の自然動物園(正しくは東京都多摩動物公園)にふたりの子どもをつれて行った。上は小4女子、下は5歳3か月女子。夏休みに姉が日記をつけたのを見て、下の子も、日記と称して、自分のノートに何やら文字らしいものを書きつけるようになった。書くとき、必ず発声がともなう。だから、日記の場面では、彼女は、書きことばを話しているのである。この話される書きことばが、自然動物園見物からどう生れるかを見ようと思った。家に帰りつくや、Rは「日記をつけよう」とさそった。彼女はいさんで日記帖をもってきた。約30分、語られる日記を録音した—と思ったら、機械の不調で、録音されていなかった。次図1-4は、その時書かれたものの一部である。字と絵がコンゼン一体をなしている。1の中央にあるmのようなのは、ラクダの背中が「こんななって、こんななって」いると書いたもの。2の上はサル。下はシカ(彼女はウシといったか。)3はゾウで、丸が5個つなげてあ

るのは、ゾウが鼻でリンゴをたべる経路を「こーやってこーやって」と次々にかいたもの(リンゴは鼻の先から出て結局口の中へは入っている)。4が一般の地の文。文字の進む方向は必ずしも上から下ではない。余白のぐあいでは、下から上へ進むこともある。字は夏のころは、十字字が主だったが、このごろは曲線的になった。録音の第1回が失敗したので、2日後第2回を試みた。前の日記で一応記憶をあらたにして、あらためて書いてもらった。

088

コーヒーの立てかた

〈“16世紀アラビヤに、はじめて耕作されたコーヒーは、その後、赤道を中心とする南北25度の範囲に、広く栽培され、17世紀はじめにはヨーロッパへ、17世紀中ごろには蘭法医の薬用として日本へ、それぞれ伝えられた。18世紀英仏の各地では、コーヒーハウスが知識階級の愛好するところとなり、その後、全世界に普及した。”

ここは都内のあるお料理学校の階段教室。3日間の講習は「コーヒーの立てかた」で、前記の解説は、はじめにおこなわれた彩色スライドとテープレコーダーとによるものであるが、スライドは日本のものではないらしく、英語の字幕がついていた。さて、電燈がついて、前面下方の料理台兼演壇にあらわれた講師は、コーヒー専門の会社の専務さんで、斯界のベテラン。茶系統の背広ネクタイの着こなしよろしく、中年の落ちついた、しかし、やや高い声が流れはじめると、満堂約百人の女性は、熱心にメモをとりはじめる。コーヒーは味・色・香が大切だが、とくに味が大切であること、つづいてコーヒーの粉の配合法・買いかた・保存法・コーヒーカップのえらびかた・砂糖・クリーム・適温の事などについて、懇切丁寧に説明があって……)

089

すねっかじり

「財布をにぎる老母の苦勞」(本誌80号)にて

た老母と息子に再び登場を願った。前回の時から8か月の歳月は流れ、老母はいよいよ白髪をまし、にぎっていた財布もだいふ嫁の手に移った。今回、老母の話題にあがった顔ぶれはつぎのとおり。祖父、夏子（老母の長女）、冬子（二女）、春子（長男の嫁）、良（末子）とそれに息子（三男）。

二度あることは三度あるという話

◇東京で長いことアパート住まいをしていた長女が土地を買ったが、払う金に窮して老母に泣きついた。老母の金貸しは今年になって三度目。二度あることは三度あるという諦感で、老母は三男に渡すよう持ってきた金を長女に貸してあげることにした。

090

ゲイ・ボーイズ

ある「かつら」などの専門店。ゲイ・ボーイのことばは、何もかつら屋さんに行かなくても、ゲイ・バーに行けばふんだんに聞かしてくれる。しかし、それはいわば商売用のことば。ここでは、かれ（彼女）らが、商売をはなれたときのことばをご覧に入れることにする。以下、ゲイ・ボーイズを1・2・3と算用数字で、かつら屋さんの店員を一・二と漢数字で示す。ほかに、かつら屋さんのマダム（マと略す）。店側はいずれも本物の女性。

091-1,-2

草分けの話

一北海道開拓余聞一

函館から札幌へむかう途中、所用があって、後志支庁の所在地俱知安で下車した。時間に余裕ができたので、開拓の秘話とでもいうものを聞こうと、ある老人を訪ねた。

A老人は徳島県名西郡の生まれ。録音でもよくわかるように、出身地の言葉が、よく残っている。文中、私とは録音子。

092

新型トラック発売

TO販売会社が、神田橋公園を会場にして、59年

型の小型トラックの販売展示会をやっている。昼休みなので、客がゾロゾロつめかけている。

093-1,-3

調査依頼

東京都内の某調査機関。いわゆる興信所・探偵社などと称されているものである。調査依頼者は、皆、それぞれに真剣な悩みを持っていて、熱心に係り員と話し合っている。

一体 その言葉はどのようであろうか。

といっても、もちろん、調査はすべて秘密に行なわれるのであり、その内容など第三者が伺い知るべくもないのであるが、特に、当事者の自発的好意的な御了解と御協力とを得て録音したものをここに記述した。音調など書き記せないのが、残念だがそれを除外しても、やはり、その特徴を感じることができるであろう。

094

宮古島夜話

沖縄島からさらに西へ300キロメートル、そこに孤島宮古島がある。サンゴ礁に青い太平洋の波の碎ける常夏の島だ。

ここで語られていることばは、琉球諸方言の中でも、特に珍しいものとして知られている。きょうは、この島に古くから伝わる夜話を1つ御紹介しよう。題して「犬の夜話」という。

夕闇がせまり星がまたたきはじめると、この島の母たちは、寝床の中の幼い子どもに寄り添って、古い素朴な物語を聞かせるのだった。

この夜話には、一定の様式があった。物語は、必ず「ンキャンドゥヤー（昔ねえ）」ということばではじまる。そして、幼い子どもは、物語の区切り区切りに「オー（はい）」と答えた。1つの話が終れば、子どもは「イッキャンヤラー（ああそうですか）」と言うことによって、母の物語に感謝するのだという。また、これは、次の話の催促でもあった。母は、子どもが安らかな夢路をたどり「オー」と答えなくなるまで、いくつもいくつもの夜話を語り続けたという……。



この島の方言の発音は、なかなかむずかしい。カナ表記では正確を望みえないが、いまはいたしかたない。カタカナでほぼ標準語に近い音を、ヒラガナで中舌狭母音の表われる音節を示した。話者は、平良市出身の老人。すこし標準語風の発音がまざっているようだ。

095-1,-4

特売場

六月はボーナスの月。庶民のさいふもふくらんでいる。それに衣替えの季節でもある。そこで、夏物バーゲンセールににぎわうデパートの特売場をのぞいてみた。(なお、アロハ売場は新宿だが、あとはすべて日本橋地区で収録した。)

◇男児用アロハ売場

30才前後の夫婦と7・8才の男の子の親子連れ。父親は赤児を抱いている。

096

あるテレビトークとその内幕

あるチャンネルの学校放送、7月16日中学校向け国語番組「ことばの風車」第11回を聴視する。右傍線——は強調、左傍線——は早口、同〰は笑いながら言ったところ。

097

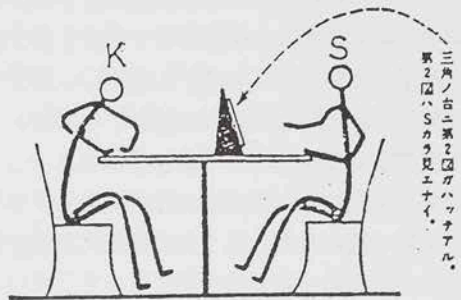
ことばで図を伝える

絵を見ている人が、その絵をことばで話し、その絵を見していない人が、そのことばを聞くだけで、その絵を再現する。——こんな実験を小学校6年生に試みた。その一部を紹介しよう。

実験場面は第1図の通り。S・Kともに女兒。Sが第2図の絵(ただし点線と番号は別)を見て話す。それを聞いて、Kが、第3図しか書いてない用紙に、第2図を再現する。話し手SはKの書く絵を見ながら指示し、聞き手KはSに質問することができる。——という仕組。

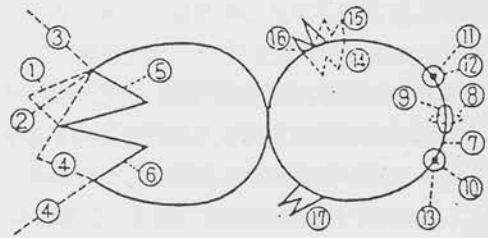
S・K組は、この実験の最優秀級の一。最初に、金魚であることを示したり、Wを持ち出したりするところに成功の因がある。なお、アイデア「W」

が、少し失敗した後に出てきたあたりは、興味深い。



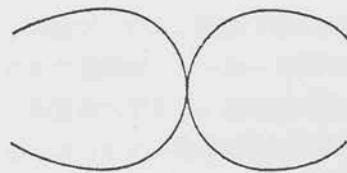
第1図

Sが絵を見て話し、Kが聞いて雷いているところ。Kの雷くところはSから見える。



第2図

Sが見ている絵。Sは、この絵と同じ絵を、ことばで伝えるだけで、Kに雷かせなければならない。(ただし、点線と番号はしとの絵にない。)



第3図

Kに与えられた用紙に雷いてある図。Kは、この図に、Sの言うことを雷きたしていく。

098

井戸端会議

井戸ならぬ共同水道がある。ここは7軒の主婦たちが水をくみにきたり洗濯をしたりする。こうい



う場所に録音器を置いたらどんな生きたコトバがキャッチできるだろうか。

登場人物をまず紹介しよう。

Mさん 工員の未亡人 50才ぐらい

Nさん 公務員の奥さん 50才ぐらい

Tさん 大工の奥さん 35才ぐらい

Sさん お孫さんもいるモダンなおばあちゃん  
66才ぐらい

Gさん 屑屋の奥さん 40才ぐらい

朝10時、洗濯物をゆすぎに共同水道に集まる。  
きょうの話題は映画からである。

099

オープンケースと競馬機械

祭日の夕方。下町の盛り場。金融処分市と銘打ったタタキ売りに黒山の人だかり。百円以内くらいの小物をうんと安く売っておいて客を集め、そのあと値の張るものを組み合わせて売る。売り手は30がらみのガラガラ声の男。録音したのははじめての客寄せの段階。

100-1,-3

テレビの料理番組

テレビ各局の料理番組を10ばかり聴視した。一口に料理の先生といっても十人十色、それぞれに特徴のある話しぶりで、比較するとおもしろい。ここでは3人に御登場願おう。

101

新春コタツ放談—成人向特別番組—

<老父母とその娘A子B子、それぞれの夫、計6人、3組の夫婦が、新春のコタツで、夕食に盃をかわしながら、談笑している所へ、マイクをのばせた。関西弁がまじっている。>

102

すもう茶屋

蔵前国技館における大相撲初場所興業は、栃錦と大鵬との優勝争いで千秋楽まで大盛況。正面木戸口に並ぶ20軒ほどのすもう茶屋も幕内力士の土

俵入りごろから1時の間は、連日なかなかのにぎわいである。採録したすもう茶屋は、お帳場さん(おかみ。30位)と、裁着袴の若い衆(20~50位)10数人と印ばんでんの威勢のいい爺さんとで客をさばっている。

103

寄席風景—落語を文字化すれば—

東京は下町の寄席。2月にしては暖かな日曜の屋下がり、入れかわり立ちかわり高座に現れてはごきげんを伺うハナシカのおハナシに満座の笑いはつづく。以下はその録音を忠実に文字化したもの。ところで、言ってみりゃ当り前のことだが、“生きたことばを忠実に文字化してみたい。してみよう”ということと、“それをどれだけ忠実に文字化できるか”ということは全く別個の問題だ。印刷面がごたごたするのを覚悟の上なら、アクセントやイントネーションぐらい文字化はさして困難でない。だが、高座のハナシ家の表情やしぐさ、ハナシの調子の緩急・強弱・音声の固さ、柔らかさ・平板な話しぶり・はずんだ話しぶりのちがいなどというのは、いくら“忠実に”とはいってみてもどうにもこうにも文字化できるシロモノではなさそうだ。そのどうにもこうにもならぬシロモノを一切はぎとって、これに活字という公共的なベールをおしかぶせた場合、いくら忠実に文字化したとはいいいえ、高座の落語はレッキとした生きたことば、それが読者の心にどれだけおかしみの感情をかもし出すことができるのか。録音子の主たる関心はそこにあった。以下文中〔笑〕とあるは聴衆の全員、または大部分がそのくだりにおかしみを感じ、声を出して笑ったことを示す。聴衆の場合群衆心理に特有な暗示・模倣の心理が働くことはいなめないが、ともかくこの点読者はいかが。聴衆同様におかしみを感じられるにらば、録音子もとより何も申すことはない。「ナンダ、アワの消えたビールじゃねえか。」とおぼしめされるならば、それはそれでもよい。落語の生命たるおかしみや笑いがその“忠実な”文字化の前後にどのように変化するか、それを実際にためしてみたかったのだ。

104

幼児が夢路をたどるまで

これは録音子を父とする長女（2才0月児）が寝間に入ってから眠りにつくまでの、コトバの記録である。この日、録音子と妻と長女は伊豆方面の旅行から帰った。往復、小田急の特急電車を利用したが、長女には「ピーポー特急電車」の乗り心地がひどくよかったらしい。旅行の疲れで、妻と録音子は不覚にも長女をおき、録音器をかけっぱなしにして、先に眠ってしまったが……。

105

あれから15年

陽春の一夕、盛り場の料理屋でとらえた一場面、登場人物はアルコールが回りかけた古参の会社員風の男A（50歳くらい）と同僚らしい男B（40歳くらい）、男C（30歳くらい）と店の女D（20歳くらい）の4人。

話は身近かな事から終戦当時の思い出に移ってきたところ。

106

数のおけいこ

M（女、2歳2か月のひとり子）とその両親。近所に住むH（男、4歳1か月の長子）。

Mは単数（1）と両数（2）と多数（3以上）とを区別する。Hは単数（1）、両数、三数（3）と多数（4以上）の区別を行なう。また、M、Hとも1から10までに当たることばをその順序に唱えることができる。

Hは5を、開いた片手と関連させることができるが、5個の物体や、5個の絵と関連させることはできない。従って5を、4もしくは6と区別できるとは、まだ言えない。しかし、5（すなわち多数）と3とは区別しうる。Mも、5（やはり多数）と2（両数）とは区別できる。

唱えと物体もしくは絵を指で順々に差し示す行為とを関連させて行なう能力においても、HはMよりもまさっている。しかし間違いなく行なえるのは3（すなわち三数）までである。Mに至っては、

唱えを1から始める意味を全く理解していないので、しばしば2から唱え始める。H、Mとも唱えと差し示しが7か8まで一致することがまれにあるが、それは主としてリズムのせいである。

107

岸首相の記者会見

5月19日夜の自民党による安保単独採決強行によって、政局は混乱した。5月28日、岸首相は内閣記者団と会見、総辞職も解散もしない、という強気の態度を示した。その態度は質問にこたえることばのはしばしにも現れている。（下の段にあげたのは、28日づけのA紙夕刊に出た問答の要旨である。

108

夏の夜の口苦

録音者（R）のへやは、道路から2メートルほどの所にある。道路に面した窓には、ブラインドが下げてある。ブラインドのかけにRの机がある。

7月下旬のある夜、10時半過ぎのことだった。

きわめてゆっくりと道を歩いて来た、複数の人の足音が、ちょうど窓の前で、ハタととまった。…

「おれは、きょうみたいな言い方されたのほんとに始めてだよ。」

低い声だが、はっきりと聞こえる。それにこたえる女の声は、これは、あまりに細く、小さく、弱々しくて、全く聞き取れない。

（続きそうだぞ）

と、Rは直感した。

録音器は机のわきにある。（戦闘準備！）

マイクを机のはしギリギリに置く。戦闘開始。

109-1,-2

オリンピック放送を聞く

ローマのオリンピック。水泳競技、400メートル自由型決勝の模様を2放送同時に録音してみた。金メダルが期待され、多少とも興奮を感じつつ放送されたであろうそれらの表現は、人によってどの



ような差を表わしているだろうか。(なお、\*など  
上下段の同じ印は両放送の同時点)

110

やっちゃ場

◇朝6時半ごろ、秋葉原の市場で。せり人の売り  
声・せり声のほかにせり参加人の応答・ひやかし  
や、参加人同士の会話なども沢山あるわけだが、そ  
れは多く省いた。せり人の声は胴間声で、嘎れて  
いる。単調で平板なリズムがくり返されている。

111

PLの受験心得

—PL教団「解説」のことば—

中学生の一信者が教師(坊さんや牧師に当たる  
人)に「受験勉強の心得」について、解説(教師  
が、ひとりひとりの信者に対して、相手に応じて  
PLの教えを解きあかす話しあいのこと)を受けに  
来た。この解説は約50分であったが、紙数の関係  
で、初めの17分だけを(しかも、その間、途中の  
7分ばかりを省略して)記録することにした。場所  
は、渋谷の、PL教団東京支部。

112

中立論争

11月12日のテレビ・ラジオ三党首政治討論会「中  
立論を含む外交一般」の討論から。

片や「積極中立論」をひっさげた社会党の江田  
委員長代行、対する自民党は「中立幻想論」の池  
田総裁。選挙戦、初登場の民社党は「中立ハ観念  
ナリ」ときめつける西尾委員長。三横綱、のぼる  
土表は、世界平和と国連中心。あわせる行司は、唐  
島基智三氏。時間いっぱい、立ちあがっての論題  
は、まず「中立の定義」をめぐる。

113

明治浅草奥山噺

子どもの時分——日清戦役のころ——浅草公園  
の奥山をわが庭のようにして遊んでいたという御  
隠居に、その思い出話を聞かせてもらった。生粋

の江戸弁の香りが窺えるかどうか。

114

恋人たち

causerie des amants

渋谷の夜

115

“庭の草花”計画

庭のある小さな家にひっこしてはじめて春を迎  
える若夫婦、夕食後のひととき、『草花園芸』とい  
う本をひろげての会話。そのいくつかの断片を文  
字化してみた。

116

なぞなぞ

春の土曜の午後たまたまラジオの7.5メガサイク  
ルにダイヤルを合わせたら、アマチュア無線(ハ  
ム)仲間の交信の1組がきれいに出てきた。彼らは  
初級のアマチュア無線家らしいが、相当回数の交  
信をかさねてきた友人同士のものであった(年齢  
は10代らしい)。

以下彼らがなぞなぞを始めたところから録音を  
とった。

117

お茶漬け屋の女性たち

—東京の福岡弁—

都心を少少離れた、中野区のとある商店街の一  
角に、小ぢんまりした構えの“お茶漬け”屋があ  
る。録音子はその店内にそっとマイクを向けた。  
時は土曜日の夜、9時に近い。まだ、客らしい客の  
姿は見えないが、店内では4人の女性が話に花を咲  
かせている。登場する女性達は、

M女 店のマダム。54、5歳

A子 マダムの身内で、都内の会社に勤めている。  
時々手伝いに来る。22、3歳。

B子 A子の妹。どこか、会社の寮にいる。たまに  
手伝いに来る。19歳ぐらい。

C子 A子達とは違うが、やはりマダムの身内。今



日は遊びに来ている。18,9歳。

4人とも、福岡生まれの福岡育ち、東京の生活はそう長くない。マダムが7年ほど、他の3人はそれぞれ1年ぐらい。だから、福岡弁がいたる所で顔を出す。語尾の聞き取りにくいところもあった。

118

#### 運転者講習会

新道路交通法の普及徹底をはかるための運転者講習会。主催は世田谷某警察書、時刻は夜6時ちょっと過ぎ、聴衆は約200名。

この録音器の聞きどころはつまらなくなりがちな話をうまく聞かせる話のコツにある。説明者が笑わせるために用意したと思われる挿話は一段下げにしてみた。

〈笑声……〉は聴衆の笑い。なぜ笑ったかの心理分析を録音子の独舌でちょっぴり。

119

#### 外人の日本語弁論

6月3日朝日新聞講堂で、財団法人国際教育振興会主催「第2回国際日本語弁論大会」が開かれた。外人の日本語による弁論大会だ。参加資格は両親が日本語を母語とせず、本人の滞日が5年以下のものとなっている。

今日はその弁士14人のうちから2人ものを紹介しよう。各人3分の持ち時間で熱弁をふるったわけだが、いうまでもなく純粋な話しことばではない。いわば暗誦ことばともいうべきものではなからうか。

まずアメリカの宣教師 Richard M. Seeger 氏の「日本の言葉と習慣—学究的復習」と題するもの。このコンテストでは4位となった。シーガー氏の話しかたは相当うまいが、母音の長短に不安定なところがあり、かつ、文末、文節末の声門閉鎖がないため、不必要に長音化する傾向のあるのが難点となっている。

以下は氏の話の全文。1字あけは音の休止。(笑い)(拍手)は聴衆のそれ。

120

#### 女子高校生の話し方

『高等学校学習指導要領』の「現代国語」の中では、聞くこと、話すことも重視されていて、1から3の項目に16条の事項が述べてある。時間も各学年とも年間授業時数の1/10程度をあてることが望ましいとも言われている。それはともかく、現実の高校生はどういう話し方をしているだろうか。話にもいろんな場面があるが、以下の録音は、あらかじめ生徒に、3分前後の時間で、自分の好きな話しよいテーマで話をまとめてくるように言って、級友を聴衆にして、話させたものである。ある私立女子高校の2年生、A・B子のもの。

A子のものは、夏休暇の見聞。全体の構成などおかまいなく、時間的順序で、感じたままを、不必要なまで微細に述べている。女性特有のおしゃべりの話し方。

121

#### 夜の後樂園は大さわぎ

観衆のヤジの生態を取材しようと、携帯用録音器を持って超満員の後樂園球場に出向いた録音子は、実に千載一遇ともいうべきチャンスにめぐりあった。9月7日夜、巨人・国鉄ダブルヘッダー第2試合の延長11回表、国鉄土屋選手の微妙な走塁をめぐって、2時間になんなんとする大トラブルが起こったのだ。好機のがすべからずと、すでに2試合分が収録済みの録音テープを思い切りよくご破算にして、聴衆の声を追っかけた。〔以下、特にことわらない「」内のせりふは、グラウンドに投げかけられたヤジ、『』内は場内放送、( )内の小字は録音子の付けた注である。〕

スタンドすずめのさえずり

マイクが最初に近寄ったのは、3塁側内野席に陣取る、BGらしい若い3人連れ。

122-1,-2

#### 柏鷲優勝決定戦

大相撲、昭和36年秋場所、千秋楽。12勝3敗の柏戸・大鷲・明武谷の3力士の優勝争いは、衆目の

見るところ、柏鷗の決勝とうたわれ、前日、14日目の柏鷗戦につづいて、2度目の柏鷗戦が見られるというので、ファンは大喜びである。

前日、14日目の柏鷗戦で、もし大鷗が勝てば、まず、大鷗の優勝はまちがいなく、とすれば、前場所の優勝につづいて13勝2敗の優勝。連続優勝ということで、大鷗の横綱が実現するだろうから、この柏鷗戦が、事実上の優勝と横綱の決定戦になると見られていた。ところが、柏戸が大鷗を制してしまったから、優勝戦が1日のびて、おまけに、3力士のリーグ戦ということになった。ヤジ馬的なファンの1人としてはありがたいが、14日目の実況放送、テレビとラジオの録音テープはぜんぶフイになった。

ここには、千秋楽の柏鷗戦のテレビとラジオの実況放送を、対比することとした。

123

職人のことば

晩秋の一夜、盛り場の大衆酒場でとらえた一場面。登場人物は、やや楽天的な感じのする老大工Aと同僚らしい若い大工Bで2人とも地方出身らしい。アルコールが回るにつれ、話題は次から次へと際限もなく広がってゆく。

124-1,-3

道順を教える

「これからそちらへ行きたいが、どう行けば良いかわからない。道順を教えてくれ。」外部からこんな電話がかかってきたら、あなたは、どう教えてあげますか。

録音子の手許にはこのような場面をこっそり録音したのがいくつかある。そのうち3つを選んでお目にかけよう。Ⅰは、東銀座の某ビル内にある宣伝研究所。聞き手が男で、話し手が女。Ⅱは、西銀座の某プレイガイド・ビル。話し手、聞き手ともに女。Ⅲは、品川区大崎にある某研究所。話し手、聞き手ともに男。

125

歳末バー風景

【12月28日午後8時ごろ、横浜の野毛のバー「S」。10人ぐらい座れるスタンドと、ボックスが2つ。若い女性がJ・M・T・Fの4人、バーテンが1人。客は1人】

126

当たるも八卦当たらぬも八卦

立春の夜、新宿の雑踏の中を歩いていると、道のかたわらに十二支の表をひろげて、易の客寄せをしている。50前後に見える、背広オーバー姿をした、やせ形の男だ。どんな話術で客の足を止めようとするのかと、近寄ってみた。なかなか張りのある鍛えられた声、相当な早口でまくし立てる。

127

車が動かない

識者の心配をよそに自動車の数はますますふえる。各販売会社とも売り込みに必死で、ラジオカーによる巡回修理サービスもその一つの商策か。きょうはそのラジオカーへの無線指令室を訪ね。池袋の東京トヨペット。お客さんからさかんに依頼の電話がかかる。

129-1,-3

東京タワー

東京の新名所東京タワーは、毎日たいへんな混雑だ。観光バスがひっきりなしにやってきて3台のエレベーターがお客を地上120メートルの展望台にはこぶ。子どもづれで遊びにきた東京っ子もいるが、やはり多いのは地方からの見物人。全国の方言が聞かれる。

ところで、塔にのぼるにはまず150円ナリの切符をかうために長い列をつくって並ばなければならない。並んでいると係の人が携帯マイクを持ってやってくる。

130

老兄弟の会話



今月は録音子はなはだ無精でどこにも探訪には出かけませんでした。何か網に引っかかるよき獲物もがなと待つていたのですが、やっとかかったのはたまたま九州の田舎から出て来た老人と東京に住んでいるその弟との会話ぐらいのもの。それをお目にかけます。

どうせ話題の限られた連中のことですから、話は自分たちのいとこや死んだ兄弟のことを堂々めぐりするばかり。ところで、兄のほうはイヤにオウヘイなことばを使っているのに、弟はこれまたバカていねいです。昔の人ってこんなものだったのかしらん。それとも彼等の育った土地のことばがそうなのか。あるいはまた兄貴のほうはずっと田舎にいて、弟は学生時代から引き続いて東京住まいという違いの現われか。もっともこの弟氏、口ではていねいなことばを使いながらはらの中では“何を兄貴のヤツ”と思ってるのかもしれませんが、それは録音子の知ったことではありません。

兄 = 70歳くらい、弟 = 60歳くらい  
兄嫁 = 56.7歳。

### 131

善光寺でみやげを買う

長野市善行寺前のみやげ物屋で、お参りをすませた4、5人の男がみやげ物を買っている。そのうちの1人は、妻君へのおみやげにするのだろう、なつめ——と言っても、抹茶を入れる容器の、あのなつめだが——を買った。また、もう1人の男は、あれこれひやかしてから、信州名物のそばを買った。

以下は、この2人の男と店の女との会話。AとBが男で、YとZが女。年齢はAが30前後Bが42、3、Yが45、6でZが25、6歳。

### 132

オーナードライバー心得帳

炎天下の昼さがり、録音子は国電高田馬場駅に近い、財団法人モーター普及会〇〇自動車教習所へ足を運んだ。学科教室には男女20数人がテキスト片手に待機していた。これから法規の講義が始

まろうというところだった。やがて40がらみの制服の教師が姿を現わした。その講義は意外なほど懇切なものだった。

### 134

町議会荒れる

ある町に町営の下水道ができた。しかしその料金をとるための下水道条例が公布されなかったから、地方自治法16条違反につき無効であり、料金支払い義務は存在しないとして、住民の料金不払い運動が起こり、訴訟が提起された。その中で、町長は、3回にわたり不払い者に給料差し押えを通知したが、住民は3回とも異議申し立てを行なった。異議申し立てが出るたびに臨時議会が開かれる。2回の異議申し立てに際し、議会は「町長は、住民側の下水道問題対策委員会との話しあいによって解決せよ」と答申したが、町長がこれを拒否しているの、第3回の異議申し立てに際して、革新系議員は、町長（保）を追求した。

### 135

教育相談にきたある母親の話

ある教育相談所をのぞく。入学試験期を控えて、もう押すな押すなの盛況ぶり。申し込んでから半年もたってやっと相談に乗ってもらえるという始末だからオドロキである。母親の話にでてくる女のお子さんは今、幼稚園に行ってるが、今度私立の有名校に受験しようという、頭はいいが、どうも性格的に問題があるらしい、この話は教育相談の予診風景の一コマ。

### 136

大阪のたたき売り

大勢人を集めての商売人のことばは今までに何回も本欄で取り上げた（「たたく売手、たたく買手」20号、「クツズミを売る男」32号、「万年筆売り」76号、「サアテお立合い」79号）。これらはすべて東京での録音だったので、くりかえしておそれ入るが、今回は歳末近い大阪に足を延ばした。新世界の、ジャンジャン横丁に曲がる角の店に黒山の



人。その中に人ごみをかき分けてはいりこむ。しゃべっているのは30ぐらいの眼鏡をかけた小柄の男。このようなしゃべりは逆手に出て、聴衆をどなりつけ、悪口も言いたいほうだいに言うのが例だが、ここでもまず新世界の悪口から。音の休止を句読点、長い休止を行かえて示す。

137-1,-2

#### 通天閣

読者アンケートの結果によると、地方での取材希望があったので、先月のジャンジャン横町に引きつづいて、すぐ近くの通天閣に登った。今や「王将」ブームのあおりを受けて、通天閣の名も、レコードに乗って全国に知れわたったが、もとより坂田三吉時代の通天閣と今の通天閣は違う。金百円也を払ってすぐ目の前の丸エレベーターに乗る。以下、エレベーターガールのことばは、録音子にとって異様に感じた、アクセント、イントネーションだけを記した。

138

#### おとなは勝手だね

東京麻布にある、ふつうの家庭の、ある日の午後。主婦(S)は40歳。おばあさん(B)は70歳。4人の子どものうち、第3子のH君3年生と第4子、その友達が隣のへやであそんでいる。おばあさんの娘、つまり主婦の義姉(N)も近所に住み、いっしょに内職していて、ひと仕事終わったところ。先ほど、下宿人のIが久しぶりに立ち寄り同じへやにいる。

139

#### 戦前派の酔客

鎌倉の、こじんまりした、ある酒亭のひとつ。T一店の女主人の妹で34歳。Y一サラリーマン、30前後。N一建築請負業、45、6。S一魚介類販売店主、45、6。A一店の女主人、50ちょっと前。客のY、N、Sは、店で度々顔を合せているうちに、なんとなく友だちになった。この録音の際、Aは他のお客の応対をしており、料理作りの時などに口

を出す程度。N、Sは、そろそろごきげんで、徳利が4、5本前に並んでいる。Yは席についたばかりで、ほとんどしらふ。酒をつぐ動作や料理を食べるようすなどはここでは一切省略した(昭和38年2月27日夜11時ごろ録音)。

◇文字化にあたっては、次の原則によった。

(1) 句読点はポーズを反映する。(2) 1字あけはポーズを示すものではなく、読みやすさを考えての表記である。

140

#### 何屋さんだろうか

またまたアルコール分濃厚で恐縮だが、今月は河岸を変えて熊本市のさるバーにくりこむ。夜になって熊本にたどりついた1が旧友で医者<sup>2</sup>の2にさそわれて、一夜の清遊(?)を楽しもうというところ。以下、夜の蝶はアルファベット、漢数字は、同行の3を含めて客。2、3はこのバーの常連らしいが、はじめての1をつかまえて、お定まりの職業センサクが始まる。

141

#### 子供は無事に帰すことは約束しますからね

吉展ちゃんは誘かいされてから1カ月になっても帰って来ない。公開された犯人の声とことばを手掛りに、警察も新聞社も市民も、一斉に吉展ちゃんを探している。この雑誌が出るころには吉展ちゃんも帰って来ていることだろう。それを期待しながら、公開された犯人の声の一部をできるだけ正確に文字化してお目にかけよう。

4月6日午前5時35分、犯人から第6回目の電話がかかる。相手をするのは父親の村越繁雄さん。

142

#### 外来語の多い座談会

さる雑誌の記事になった座談会の原話を、一部分、許可を得て転載する。国際的ビジネスマンのありかたを論じたもので、銀行、商社等のビジネスで外国生活の経験の長い人ばかりが集まって話し合っている。話題が話題、人が人だけに外来語、

というより外国語がたくさんとび出し、普通の人には、注釈なしでは、わからない所が多い。

143-1,-2

#### 交通事故

事故！というので飛んでいった。本当は軽い事故の運転者同士で責任問題の口論をするのを録音したいと思ったが、少し大きい事故で軽4輪貨物の2人は救急車で運ばれたあと。相手方はライトバンでこの方の乗員は無事。当事者は一往被疑者ということになり、ライトバンの運転者は警官に現場で調べられる。交差点の出会いがしらの事故だ。

録音はまず、現場の調べから。以下は、その終わりの方。被は被疑者たる運転者。22、3歳。

144

#### 秋田の昔

秋田市は佐竹氏20万石の城下町。久保田城千秋公園はいまも深い木々に覆れて、市の中央を北から南に流れる旭川<sup>あさか</sup>には、風にゆれる柳が、静かに影を映している。近代都市としての脱皮をめざしてはいるが、震災も受けず、古さの残っている町だ。

名にし負う東北弁の本場。その実態を探りたいと、録音器を運んだ。旭川の東「内町」<sup>うちまち</sup>は、古くは武家町。商家の続く「外町」に対して、老人たちはいまなお上品な言葉づかいを残しているという。内町出身の男（85歳）女（65歳）に対談してもらった。①2人が初対面であること、②口をはさまないが東京人が同席していること、③自由な対談とはいえマイクを前にしていることなどのために、やや固いかもしれない。

145-1,-2

#### 鉄道総合案内所

日本各地の主要な駅には、旅行者のための総合案内所があるが、きょうは東京の上野駅と東京駅をたずねてみた。バカンスムードなどで旅行者の利用も急増らしく、どちらも新しい構えで、明るく気分よく作られている。所員は、もちろん国鉄

職員だが、明確親切な応待で、つぎつぎに尋ねる雑多なお客をさばっている。ときには、モンクをつけにきたり、カランだりするお客もあるとのことだったが、わずかの時間の見聞では、お客も案外、丁寧なもの言いをしているし、クドクドとわかりにくい質問も少ないようだった。しかし、文字化してみると、ずいぶん余計なことばもあるもので、質問を適確にするということは、なかなかむずかしいものだと思われた。応答者は専門家だから、概して簡潔明晰だが、もちろん改良の余地もあることだろう。

146

#### 松江市で聞いた印刷屋さんの話

同じ文面の手紙を、多数の人に出したい場合、私たちが世話になるのは、町の印刷屋さんだ。国立国語研究所が、松江市で言語調査を行なうことになったので、その予備調査にあたり、1人の所員がある印刷屋さんをたずねて、いろいろとそこの御主人に話をしてもらった。各種挨拶状の例文作りの苦心談、年賀状、暑中見舞、死亡通知、会葬御礼などに関することから、当用漢字と活字の字体、敬語の使い方、方言の問題、さらには新生活運動批判その他の社会批評にいたるまで、しだいに熱をおびてきた、石見出身だという御主人の弁舌は、とても限られた紙面では紹介しきれない。以下は、その時の問答の一部分である。なお、2人とも、録音していることを承知して話しあっている。

147-1,-4

#### 国会解散

国会解散一。総選挙は11月21日と発表された。本誌の刷りあがる頃だ。1か月前の10月23日午後4時すぎ、国会は解散した。その日、午後2時すぎに衆議院本会議が開かれ、西尾民社党委員長の代表質問に対して、池田首相の選挙演説的答弁があって、その直後、議長席のうしろの扉を開けて黒金官房長官が、紫のフクサに包まれた詔書運び、清瀬衆議院議長がこれをおもおもしろく読み上げた。かねての予定どおりの解散で、必然性の少ないた



めに、ムード解散とかオリンピック解散とか池田三戦解散とか言われた。解散劇は珍しくもないけれども、3年前の安保条約に対し今回の総選挙は経済政策が中心的論点になろうと言われた。各党の勢力の消長は、本誌が読者の目に触れる頃には、すでに定まっている。

148

幼い頃の思い出

—明治時代の魚河岸のことなど—

国立国語研究所の近代語研究室では、本年度の仕事の一つとして、明治時代に成人したお年寄りのことばを録音にとり、生きた言葉の史料とすることになった。以下に紹介するものは、千代田区6番町にお住いの、高橋 栄さん（明治13年生まれ）からうかがった思い出話の一部分である。

149

冬の比叡山

法燈千余年の延暦寺を擁する比叡山にも、時代のながれは、はげしく寄せる。戦前からのケーブルカーのほか、戦争中、はずされていたロープウェイの新設、さらに数年前に完成したドライブウェイ、四明が岳山頂の遊園地・展望台、そのしたのホテルなどの設備は、遠く京都市・大津市からながめる比叡山のすがたをも変えてしまった。霊峰富士にケーブルカーのつく日もおくはないというのだから、848メートルばかりのこの山に、すわったままのぼれるとしてもおどろくこともない。ただ、うつくしい自然を、できるかぎりこわさないでもらいたいものだ。

たまたま機会と時間を得て、冬の比叡山に市バスでのぼり、四明が岳山頂からロープウェイとケーブルカーで八瀬へくだり、出町柳へ電車で帰った。

150

古本屋の店頭で

松江市における言語調査の時、研究所員が「だるま堂」という市内唯一の古本屋の主人をあいて面接調査をおこなった。もちろん、店は開いた

ままなので、お客のことばも記録されている。以下はそのはじめの方の一部分。

151

鹿児島弁

鹿児島弁の対話を鹿児島市で録音した。男は60台でもと士族、女は50台で、ふたりは初対面である。

152

花と音楽と折り紙と

録音者の長男（3年7か月）とその母の会話。ころは、ひな祭すぎの夕食後。最近折り紙に凝り出した彼は、ヤッコサンとカブトと二そう舟とチューリップをあくことなく作る。つるは途中までしか折れない。近所に遊び友だちがないので、まったく文字通り母語＝女性語をしゃべる。

153

おしゃべりも、また楽し

この春、都内の同じ高校を卒業した3人の娘さんが、研究所へアルバイトに来た。3人とも、すでに一流の銀行や会社に就職が決定していて、希望に大きく胸をふくらませている。この3人が休み時間などにかわす会話は、実に生き生きとしていて、第三者まで思わず、引きこまれてしまう。そこで、ある日の昼休みに、かくしマイクをセットしてみた。最初は、九州旅行から帰ったばかりのAさんのみやげ話。

154

明治の子ども

むかしの生活、しつけ、ことばなどについて古老に尋ねることは、言語生活史をつづる上で必要なことだ。そういう内容をその土地の純粋なことばで話していただければ、その録音は一層貴重なものとなるであろう。

京都市今出川で何代も酢問屋を営むF家の当主（82歳）夫人（68歳）は、町のきっすいのことばを話される。以下はその抄録である。なお、聞き



手女1は東京、女2は京都生まれ、男は長年京都在住である。

155

お乳液でお手入れを

東京都杉並区のある小さい化粧品店。50がらみの女主人と、30台の客の会話を録音した。しばらく雑談の後、買い物が始まる。

156

駅の案内所で

上野駅構内の鉄道総合案内所。7月末の暑い日中。レジャーやら旧盆の帰省やらの旅行相談で、せまい所内は大変な混雑ぶりだ。4、5人の係員が文字通り汗だくで対応している。その中で言葉つきがややブッキラボウな、30年輩の係員A氏に、まず隠しマイクを向ける。聞き手は、34、5の奥さん風の女性。

157-1,-2

東京・京都

現代の若い京女たちは、どんな言葉を使っているのだろう。2つのグループに、そっと近づいてみた。

158

ちかごろの中学生

国語教育の小サークルの夕食どきの雑談。A、国語研究者。B、公立中学教師。C、私立女子中学教師。いずれも30台前半の男性。

159

重量あげ

東京オリンピック・競技第1日目のテレビ、プレス競技の実況放送から。この日、日本の一の関は合計で347・5キロをあげ3位、古山は6位で入賞した。

160

人寄せ易者

勤労感謝の日の東京・池袋の映画館街。バス通りの一角に20人ほどの人だかりがしている。ほとんどが20代30代の若い人たちだ。のぞきこむと、チョコビひげを生やした50年輩の男が、12支の絵など書いた一枚の紙を地上にひろげて、トウトウとまくし立てている。さる易断所の宣伝らしいが、少しのよどもも見せない弁舌や、立ち去りかける聴衆を引き止める話術は、まことに心にくいものがある。(以下、文中……の個所は、バスの音で聞きとりにくいところを示す。)

161

農村の嫁今昔

栃木県大田原市郊外の農村で60台の男女各1名、50台の男女各1名、40台女性1名、20台女性2名の雑談を録音した。12月始めのよく晴れた日の昼下がり。農作業もかなり機械化されてきているが、それでも離村する人が多く、次三男以下はもちろんのこと、若い女性のほとんどが都会（主として東京）に出ていきたがり、農家の嫁のなりてがないという。10年前には1学年300人いた小学校も今年度は100人であり、来年度は入学予定者52名だということだ。だから嫁は大事にされる。姑さんには不満があるようである。女1(60台)女2(50台)女3(40台)。若い2人の女性はもっぱら聞き役。

軒先に乾してある唐辛子の実が映えている。

162

かれらが歌うまで

イトー君の結婚式に、コーラスをやろうというので、高校時代に一緒に歌った音痴たちが、M家の応接間に集まり、録音しながら練習をはじめた。登場人物は、マ=マサちゃん(M家の次男)イ=イトー君(マの中学・高校以来の友人。数カ月後に結婚する)サ=サイトウ・サトシ・通称サッチャン(マの幼年時代からの友人)テ=テンジンさん(前三者の高校での上級生。その昔、3人をふくむコーラスの指導者として権力をふるった)ト=トシちゃん(マの弟。ここでは傍観者)トは大学

生、あとはもう立派な社会人。

163

スキー場の午後3時

スキーはかなり激しい運動であるため、運動後は頭がからっぽになり、したがって口が軽くなる。スキー場では、宿屋でも、食堂でも、ひとの転ぶのを見ているときでも、リフトの順番を待っているあいだでも、おしゃべりは盛んだ。そこでそんな所での若い男性達のとりとめのないおしゃべりを録音しようと思ってスキー場へ出かけた。ところは長野県北安曇郡白馬村細野の軽食堂。ときは2月21日(日)。大学の試験期に当たっていたためか、意外にすいていて、録音取りにくい。2つのグループのあいだにマイクを置いたが、東京から来た数名のグループの、女性を中心としたおしゃべりのほうが録音されてしまった。午後2時半ごろから録音器はまわりはじめる。(女ABCDはいずれも25歳から30歳前後まで。男Aは20代。男Bは30代。なお天気は晴れで、気温はかなり高く、雪質は悪い。)

164

デパートのまい子

土曜日の午後、小型録音器を肩にかけて、デパートへ。おもちゃ売りばか屋上で、親子の会話のやりとりでもとろうと出かけた。その途中、おもちゃ売りばのはずれの、本の売りばで、4歳ぐらゐの男の子が、はなみずたらして泣いている。すばやく店員(女)がみつけて、声をかける。あわてて録音器をまわした。本をさがしているふりをしながら、様子をうかがう。(／＼内は、男の子のことば。……は、何かしゃべっているが、はっきりと聞きとれない部分。)

165

機種決定を控えて

舞台 明年度の予算で、電子計算機の導入が確定し、今や最終的な機種の決定をおこおうとしている国立の研究機関の中の一研究室。

情況 X・Y・Zの各社は、それぞれ少しでも確実な研究所側の意向をキャッチしようとして懸命である。あるいは現在までの優位を確保せんとし、あるいは逆転の可能性に希望をつなぎ、あるいは万一の僥倖を願ってであろうか、しばしばセールスマンを出動させ、偵察、説得の波状攻撃を加えてくる。

登場人物 A・B(男、研究所員) P・Q(男、X社のセールスマン)

166-1,-3

こども電話相談室(ラジオ)

最近のラジオ放送では、聴取者と局のスタジオとが電話で話し合い、それが放送されるものが幾つか見られる。ここに文字化したものは、東京放送「オーナー」の「全国こども電話相談室」の一部である。スタジオの電話が鳴ってから、相談が終わって受話器を置くまでを一区切として、なるべく子供の言語量の多いものを選んだ。1・2・3はそれぞれ5月17・18・20日に放送されたものである。この子供達は東京またはその近郊に住んでいると考えてよさそうである。(司会・先生のうち、Rのみ女性。)なお、録音・文字化に先立ち、東京放送の許しを得た。

167

立ちばなし

つゆのあいまのむしあつい夕方、子どもをつれた主婦たち(20代~30代)の立ちばなし。無線マイクをうば車にセットして録音したもの。(人物は仮名)

渡辺さん-まこと君(5カ月)

柳田さん-<sup>なつ</sup>審君(1歳)

内村さん-慎太郎君(3歳)

松田さん-<sup>まこと</sup>雅司君(1歳8カ月)

坂井さん-広之君(3歳7カ月)

(渡辺さん、むしあつくて、まこと君がベッドにおとなしくねていないので、うば車にのせて、自宅の門の前で、動かしている。近所のおくさん連が、たちどまっては、立ちばなしをしている。し



ばらく静か。そこへ柳田さん、喬君をだいて登場。いっしょに、上の子ふたりとその友だち数人がついてくる。)

168

ことば・科学・電子計算機

—ある座談会から—

これは、言葉の研究に電子計算機を使うということに関して、すでにその方面の経験をいろいろの形でもっておられる人人に集ってもらい、お話をうかがった時の録音の一部である。内容は必ずしも一般的でなく用語もわかりにくいものがあるが、こういう場合の話し方や雰囲気のある典型が出ていると思うし、ある種の人々には内容にも興味をもてるはずである。出席者は、外務省、特許庁、科学技術庁、防災センター、東京女子大、国語研究所の人々である。

169

旅先で知り合う

旅先では、くつろいだ気分から、全くの赤の他人と話し合うことがある。とくに一人旅の場合などそうである。そんな場合どんなことばが交わされるだろうか。ここに登場する男性は前日からこの茶店のある旅館に泊っている。また3人の女性は、夜行でけさ当地について、あちこち散歩してきたらしい。ともに20代の前半で、男性は学生風だが家では商業を営んでいるらしい。女性達は物馴れた話しぶりから、店員ではないかと想像した。話は、これからどこへ行くのかということから、どこから来たのかに移り、男性は東京の浅草、女性達は池袋だという。(8月24日午後、上高地明神池近くの茶店にて採録)

170

むかしばなし

東京赤羽にお住いの池田ゆきさんは、ことし93歳、耳が遠くなられたが、至って健康な方だ。若いころには学校の先生もされた、インテリおばあさんである。7、80年前の修学時代の思い出を中心

にいろいろと語っていただいたところを、ここに抄録する。

語り手Y、聞き手H(ゆきさんのお孫さん)S(女)

171

「シソーラス」の話

—工学部のある研究室で—

M氏は東大工学部機械科、W教授の研究室に属する若手講師である。その日研究室を訪ねてきた数人の来客に対し、同研究室でおこなっている研究について説明をはじめた。テーブルの上には部厚い資料がおいてある。

172

国語の時間

授業中、中学生はどんな発言をしているだろうか。これは東京のある中学の1年生の国語の授業の一コマである。教材はトルストイ作・米川正夫訳「一飛び」。荒筋は、世界一周の航海中の船で、猿に帽子を取られた少年が、帽子を奪い返そうと猿を追ってマストの先まで登ってしまい、眼がくらんで落そうになった時、船長である父親が銃を向け海へ飛びこませて、息子の生命を救った、というもの。前日一度読ませ、感想文を提出させてあったので先生はその内容をかいつまんで紹介することから授業を始めた。ここに文字化したものは最初から10分ほどたってから後の約12分間である。(11月27日採録)

173

明治前期の子どもたち

—遊び、服装、勉強—

美しい湖と古城を持つ松江市。ここにお住まいの田中融氏は、ことし満84歳。商業学校長や地方銀行の頭取などされたのち、今は、維新前からある雑賀町の御生家で、悠々自適の生活をしておられる。晩秋の一夜、幼少のころのお話を伺う。Yは話し手。Sは聞き手、女。



174

家の歴史

お年寄りの話を録音しておくのは、いろいろな意味で興味もあり、意義もあることだ。以下登場する人物は、O= おばあさん。H= その息子さん(40歳くらい)。S= 聞き手(女性)

175

理髪店で

東京の四谷に、録音子がここ20年来行きつけている理髪店がある。今の主人は、47、8歳だが、12の年からこの道一筋に打ちこんでいる仕事熱心な人。商売のかたわら理容学校の先生もしているほどで、技術も優秀だが、話もうまい。自分から客に話を押しつけることは絶対にしないが、客に話しかけられると、実によどみなくしゃべるし、また、話題も豊富だ。ハサミやカミソリの手は少しも休ませないのだから、注意力はそちらに集中しているはずだが、それでいて話のほうもいい加減にならないのは、長年の修練のたまものというべきだろう。その主人の話しぶりを、ある日、隠しマイクでとらえてみた。最初に利用するのは早稲田大学の騒動に関して話しているところである。〔以下、( )の中のカタカナ書きの部分は、客である録音子のことばである。〕

176-1,-2

保育の時間(幼稚園)

幼稚園の保育の中で、教師と幼児の間に、どんな話のやりとりがあるのだろうか。これは、川口市のある幼稚園の5歳児の保育の場面、2つを集録したものである。教材は、童話「だんまりくらべ」。2教室の保育の各一場面を録音したが、教材は同じ。隣の家からおモチをもらって来たおじいさんが、おばあさんと仲良く食べていたが残った1つのおモチのために、ダンマリクラベを始める。その最中、泥棒が入り、その1つのモチを食べようとしたので、おばあさんが「ドロボウ」と声を出し、おモチをおじいさんに食べられてしまうというのがこの話のすじ。この童話をテープレコーダーで

聞いた後、その話について話し合いが進められる。ここに集録したのは、Aクラスでは、童話を聞いた直後から、Bクラスでは、話し合いの途中からである。(40

177

将棋酔談

飛び石連休の間のある日、午後9時頃に神田の飲み屋でくつろぐサラリーマンの会話を採録した。人数が多いので聞き取れない部分が少しある。ホロ酔いのおしゃべりの調子が文字では表わせないのが残念である。登場人物6人共男性、A・Bは40代、D・Eは30代、C・Fは20代と思われる。

178-1,-3

縁日の物売り

東京・巣鴨の「とげぬき地蔵」の縁日に出かけて、境内や表通りに立ち並んだ露天に、隠しマイクを近づける。

179

セールスマンとの問答と対話

ある研究所の実験室で、たまたまある複写装置の現像器を納入に来たあるセールスマン(S)と、研究所の人々A、B、C、D、Eとの問答、会話風景。景品のカメラをめぐるやりとりから、器械の説明に会話は流れていく。○○、××は固有名詞。(64年5月録音)

180

交通公社にて

東京、下町のある交通公社の窓口。若いグループのキャンプ相談なども一段落し、旧盆のため家族づれの帰省客が申し込む季節。旅なれた社用出張族相手と異なり、どうも要領を得ない問答が多い。係りのことばづかいかも、都心部の交通公社に比べてぞんざいなようである。係Aは50歳前後の男性、ことばはあまりいいでない。係Bは24・5歳の男性、言語・動作はふつうの感じ。

181

恋愛・結婚

都心部のある喫茶店にて。昼すぎなので、近所のオフィス・ガールで混雑している。背中合せのボックスにすわった4人連、社内の男性評価から結婚論と話がはずんでいる。本を読んでもような恰好をして、そっとテープをまわす。A・B・Cは24歳ぐらい。Dは2、3年後輩。

182

家付き・カー付き・ババーぬき

ある大学の近くのレストラン。大学院の学生と思われるのが4人入って来て、夕食をとりながら雑談をはじめた。いずれも30近い、独身と思われる男性。もちろん、アルコールの入っていないしらふでの話である。

183

農村の出かせぎ

季節出かせぎの農家が急激にふえてきている。農林省の農業センサスの結果によると、季節出かせぎに出た全国の農家の数は、昭和35年では11万戸であったのが、同40年には38万2千戸に急増している。そして、その3/2は東北地方の農家が占めている。東北地方の出かせぎ農村の子どもの作文に、「僕は、2人のお父さんが欲しい。1人は出かせぎに行ってお金をとってきてくれるお父さん。1人は出かせぎに行かず、家に居て、僕と遊んでくれるお父さん。」とあったという。以下は、東北地方も福島県北部の農山村から東京へ出かせぎに行ったことのある3人の青年たちの会話。Aは24歳、Bは21歳、Cは22歳。いずれも農家のあととりで、村の青年団の幹部である。甲は、これらの3人と初対面の男。

187

女子大生のオシャレリ

《女子大生のオシャレリ》

某所で何やら、仕事らしきことをしている数人の女子大生の会話を聞かせてもらった。当人達は、

全く録音されていることは知らない。録音子もその場に居なかったので、解らない会話も少しあるようだ。なお、録音した季節は夏であったことを付記する。――。――で区切った所は、しばらく会話がなく、仕事をしていたものと思われる。

188-1,-3

電話のはなし(1)

国語研究所から発注した機械の納入が遅れているので、国研の職員A(中年の男)がメーカーの営業課に電話をかけてる場面。相手Bは一流メーカーの営業課員(男、中堅社員らしい)。交換台を経て相手が出たところから。

190

「ゴラク?スポーツ?」

45人の女子大生が、何か議論をしている。本人達は録音されていることを全く知らない。新聞が話題の中心らしい。

191

ある披露宴

新郎P君は大学の国文科を卒業後、地方公務員として某市の水道局に勤め、工業用水を担当。新婦はP君と同郷の人。5月郷里で式を挙げた。これは挙式後20日ほどたってから東京で催された披露宴の録音である。集まったのは勤務先の上司・同僚と学生時代の恩師・友人など。媒酌人の新郎新婦紹介のあと、スピーチが続いた。

192

孟蘭盆

盆の1日、東京小石川のある家庭での録音。近隣の女性3人が集り、孟蘭盆の行事を中心に雑談をしているところ。3人の女性のうち、1は静岡出身で70歳台のご隠居さん、2は長野出身で50歳台の主婦、3は千葉出身で30歳台の主婦であり、いずれも20歳前後から東京に住んでいる。



193-1,-3

婦人服売場で

秋風がたちはじめると、デパートでは、秋冬もの宣伝に力を入れはじめ。ファッションの秋ともなれば、一着なりとも、自分の衣裳ダンスを豊かにしたいのが女心。宣伝に魅せられた女性は、デパートへと足を運ぶ。8月末の某日、都心の某デパートの婦人服売場に、録音器を持ちこんだ。

194

お金は見てから

秋は祭のシーズン、都心から郊外電車で5分のところにある八幡神社のお祭に、録音器をもちこんだ。よい天気にもぐまれ、子どもたちを喜ばせる店がいっぱい。はずれたところに、見せ物小屋がたっていて、マイクでさかんに呼びこみをやっている。おばさん(女A)の声だ。

195

お店屋さんごっこ

もう1時間も、1つの部屋に自分たちのお店を3軒作って、古いお金やビー玉などを貨幣に、楽しくお店屋さんごっこをしている。ごっこ遊びの一番盛んな時期は5・6歳ごろと言われているが、小学生段階になってもあきずごっこ遊びをやる。3人とも幼児時代からの友だち。何度もこういう遊びを経験している。

A子 小学校4年生

B子 その妹・小学校1年生

C子 この家の娘・小学校3年生

196

アリガトウ、ミナサン

プロボクシング世界ジュニア・ウェルター級のタイトルマッチが、さる11月16日に行なわれた。チャンピオンの藤猛選手は、挑戦者ウイリ・クワルトーア選手をノック・アウトでやぶり、タイトルの初防衛に成功した。4月に、はじめて、タイトルを獲得したときは、そのカタコトまじりの話しぶりと口をついて出る、「ヤマトダマシイ」「カッ

テモ カブッテモ オヲシメヨ」「シンデノチャム」などのことばが話題になった。以下、こんどの初防衛に成功した直後のインタビューを録音してみた。なお、藤猛選手は、27歳、ハワイ生まれの日系3世である。

197

小学1年生の母親たち

この春はじめて子どもを小学校1年生にあげた母親(A、B、C)のよもやま話。年の暮れもおしつまったある日、Aの家の縁がわで日なたぼっこをしているところの録音。1年生A子、B男、C男。3人は、登下校のときいつもいっしょの近所どうし。A子とC男は同じクラス。

198

明治百年祝うべし

TR大学の国語表現法の授業で模擬討論会が行なわれると聞いた録音子は、さっそくでかけてみた。討論方式は是側、否側に分れ、男2人、女1人の3人ずつのチームで「新朝日方式」によって行なわれた。次のような時間配分になっている。

結局、5人の審査員による総合点は19対11と出、是側の有利でこの討論会は終わったが、この中から立論の一部と傍聴者の感想を教官の許可をえて文字化してみる。

否側	是側	時間
	立論	8分
質問		3
立論		8
	質問	3
	立論	8
質問		3
立論		8
	質問	3
休憩		5
駁論		4
	駁論	4
駁論		4
	駁論	4

(総時間数 65分)



199

日曜日の家庭用品売場

日曜日のデパートは、どこでも、大混雑。その客をあてこんでか、山の手のターミナル・デパートの家庭用品売場では、実演販売員があちこちで大声をはりあげている。ひと昔前に姿を消した、都心の露店が復活したかのような錯覚をおこさせる。売っているものも、包丁・なべ・ブラシ・そうじ器・よごれおとし・調理器・フライパンなど、さまざまだが、その中の数点をご紹介します。

200

ウイスキーボンボン

今月の録音子は、都心部の某家で2人の幼児(姉妹)のこたばを中心に録音してみた。

登場人物Aは小学校3年の姉、Bは小学校1年の妹である。

幼児の自宅で、Bが自分の小遣で買ってきた菓子のことから始まる。

201

幼児とお話

幼児がお母さんから聞いたり、読んでもらったりしたお話を、どのくらい記憶しているものか、7人の子どもに話させてみました

202

駅前討論

最近、新宿や渋谷の駅前広場に若者達が集まって、討論会を開いていることが話題になっている。5月のある土曜日の夜、録音子もその群の中にまぎれこんでみた。かなりの人数がいくつかのグループにわかれて盛んに論じあっている。大声をあげる者もいるが、言い争っているものはほとんどない。すがすがしい集団であった。……のところはまわりの騒音によるか、数人が一度に口を開いたかで聞きとれなかった部分である。

203-1,-2

駅前討論

先月号にひき続いて駅前広場の討論会の模様を文字化した。先月号のような論争ではなく、数人がこもごも感想を述べあっているといった場面である。……の部分はよく聞きとれなかったところである。

204

プロ野球観戦風景

父(40歳ぐらい)・母(37・8歳)・子どもA(女・7歳ぐらい)・子どもB(女7歳ぐらい。A・Cのいとこらしい)・子どもC(男・5歳ぐらい)。後楽園球場のレフト側外野スタンドに陣取ったこの家族連れは、北関東あたりからわざわざ見に来たらしく相当の野球通である。試合は、読売ジャイアンツ対中日ドラゴンズである。ドラゴンズは1回表にホームランを打って1点先取。その裏、ジャイアンツの攻撃。以下、『』内は場内放送。( )内は録音子のつけた注である。

205

「蛇と共に20余年……」の薬売り

(場所は東京上野の不忍池のほとり。ざっと100人ほどの客をまるく集めて、そのまん中に立って、2メートルぐらいの生きた青大将を首に巻きつけ熱弁をふるっている中年の男)

206-1,-2

愛犬のおめでたなど

都内のあるデパートでペット相談室が開かれるというので出かけてみた。登場人物Aはペット・コンサルタント(獣医師)、B・C・Dは相談に来た人で、Bは中年の男性で会社員風。C・Dは親子づれでCは高校生ぐらいの男子、Dはその母親らしい。

207-1,-2

校長先生のあいさつ(同窓会総会にて)

「校長先生のあいさつ」は、都内のある区立小学校で行なわれた同窓会総会で録音したものである。総会とはいっても、出席者の大部分はその小学校を卒業したばかりの中学生で、そのせいか、校

長先生の話はかなり教訓的ではあった。

「猫の下痢」は、先月号と同じく、デパートのペット相談室での相談風景である。

208-1,-2

電車の中で

親しい友だちの間で交わされるうちとけた会話を聞いてみよう、通勤電車の中で録音してみた。はじめのは2人の女子高校生の会話、つぎは大学生らしい2人のマージャンをおぼえる話、おしまいは若い職人の話である。おしまいの2人の職人は東京の人ではなく、関西のアクセントがあり、同郷の友人らしかった。

209

小学校2年生の父親学級

東京郊外の小学校。初冬のある日曜日、父親だけの授業参観のあと、2年生の担任の先生数人(全部女性)と、20数人の父親とが、ロの字型にすわっての懇談。

210-1,-3

3分間スピーチ

1月27日、都内の砂防会館ホールで、「山本安英の会」主催による「ことばの大勉強会」が行なわれ、800名を越える参会者があった。プログラムの中に「3分間スピーチ」なるものがあり、放送タレント、作家、評論家、大学の先生など数人が舞台上でスピーチを行なった。そのなかから、つぎの3氏のスピーチを収録させていただいた。舞台の袖にはおもちゃのラッパを手にした計測者がおり、3分ジャストでそれを吹き鳴らすという趣向であった。

211

違法建築

自分の家の南側に違法建築の2階屋が建ち始めたので、区役所になんとかしろとかけあったが、のりくらりと逃げられ、とうとうその家が完成してしまって完全に太陽を奪われてしまった人の話が先日の新聞に載っていた。その人(Oさんと言

う)は区役所とのやりとりの電話を全部録音しておいて記者に聞かせたと言う。録音子もさっそく役人の対応のようすが知りたくてその人にたのんで聞かせてもらった。以下はその一部である。

212-1,-2

小学校低学年の授業

小学校2年生の道徳の時間。「ものをだいじにしましょう」についての授業。

213

方言調査の夜

44年3月20日、糸魚川市新町(旧新潟県西頸城郡下早川村)の旅館にて収録。ABCDEは方言調査の調査員。なお、Bはヨーロッパ人の言語研究者である。

214-1,-2

通信工学実験室

東京のある私立工科大学。通信工学実験室での3年生の実験風景。助手は27歳ぐらいの人。

215

昔昔 農家の女性

栃木県大田原市郊外の2人の主婦の話、Aは約60歳、Bは約50歳。

216

分譲バス

利用者の間で話題の「分譲バス」に乗ってみた。持家を探している人を乗せて、都内や近郊の建売りの住宅・マンションや分譲宅地の見学に案内するバスだ。参加費は昼食費を含めて300円。1日朝から夕方までの間に5、6件の物件を見て回ることができる。途中バスの中では、持家獲得についての基礎講座がある。以下は、その車中での録音。話し手は、34、5歳の営業マン。(走行中のバスの中でのことなので、雑音がはいって録音状態不良。聞きとれないところがある。)



217

雑談

共に女子学習院出身の70歳ぐらいの方々3人と、現在学習院に在学中のD子さんを混じえた4人の雑談。

218

大学紛争

夏休みが終わるとともに、激しさを増した学園紛争であるが、都内A大のキャンパスでも、9月某日、大学立法反対の代々木系学生の集会が行なわれた。反代々木系もおしかけて、騒然とした中で、学生が演説をしている。聞きとれない部分は……で、息の切れ目は／で示した。

219

村の最年長者の話

S老人は、明治9年、福島県北部の山村の生まれ。録音当時（昭和42年）91歳。この山村の最年長者である。方言資料の録音のために訪れた国語研究者に対して、消えていこうとする方言を録音して保存することなど無用だ、ということから老人の話は始まる。政治のことが好きらしい。明治初年の生まれだけに、「外国を征伐する」とか「官員様」などという昔なつかしいことばがでてくる。話し相手のAは43歳の男子で、出入りの商人。Bは、38歳の男子で、国語研究者。

220

書道くらぶ

ところは鎌倉の某会館。都内某所の書道くらぶ、その作品合評会寸景。一見雑談風（の部分）。各自の作品がずらりと壁にはってある。大文字は男性、小文字は女性。

221-1,-4

その電気ごたつは安全ですか

新聞に、A電器メーカーの電気ごたつが基準より温度が高くなり安全性に欠けるという記事が載った。そこで、その電器メーカーの本社と特約3店に

それについての言い分と対策を聞いてみた。特約店のうち2店は東京都内、1店はその隣県であり、それらには直接出向いて聞き、本社には電話で聞いたものである。質問のことばは省略してある。

222-1,-2

展覧会場で

東京近郊のある都市で小学生の絵・工作の展覧会があった。会場の入り口近くに、「立体テレビ」と称する作品がおいてある。紙の箱の中に、野球のピッチャー、キャッチャー、バッターの姿の切り抜きが立ててあり、横についているハンドルをまわすと、それぞれがしかるべき運動をする、というしかけ。この作品の横に立って、見物の人たちがなにをいうかを聞いてみた。

223-1,-2

ただいま日本語授業中

武蔵野に広大なキャンパスをかまえたある大学の、外国人のための日本語教育の授業風景である。登場する学生のほとんどは、この大学で1年間日本語の集中教育をうけている。大文字は男性、小文字は女性。aは日本人の先生、bはマレーシア、A・D・E・e・fは中国、Bはオーストラリア、Cはカナダ、cはフランス、そして、dは日系3世のアメリカ人、という構成である。なお、Bは中年で、日本に長く住んでおり、cは日本人と結婚している。

224-1,-4

姫路城見物

225

東京昼の観光バス

東京昼の観光バスに乗ってみた。以下バスガイド嬢の説明である。

226

大人と子供

杉並区のある小学校。4年生の学級会の様子をのぞいてみた。担任は若い男の先生、生徒数は35名



の級である。

227-1,-3

喫茶店でのおしゃべり

ある土曜日の昼下がり、喫茶店での気まぐれな(?) おしゃべりの場面を2つ3つ。

はじめは、同僚らしき男性4人の雑談の模様。

228

夕食の雑談

つゆあけのある夕べ、食事時の会話を録音した。両親と小4の男児、小2の女児の4人家族である。

229-1,-2

夏の登山列車

信州の大糸線を、夏の登山列車が走る。車窓からは、アルプスの山々や湖が目に入る。車内のマイクから流れる声を、普通列車の場合と急行列車の場合と2つ収録してみた。コースは、どちらも同じ。はじめに鈍行列車。なお、聞きとれなかったことばは――で示した。

230

Are You a good student?

S君とF君は中学1年生で親友どうしだ。近所の主婦Tのところへ英語を習いに行っている。その学習風景を録音してみた。

231

聴取者も参加する

土曜の夜、東京・赤坂にあるT放送局からの生中継番組。若者たちがホールに集まり、司会者と一緒になって、番組に参加する。(Pは司会者、A・Dは男性、b・cは女性である)

232

こっちはコームインですから

A(男)の車が停車中、B(女)の車にぶつけられた。修理代を払うと言うので、後日Bの家に請求に行ったところ、Bの母Cも出てきて一もんちゃ

く。

233

客のいなくなったあと

客のいなくなったあと、化粧品の出張販売員の会話をそっときかせていただいた。意外に客の悪口は言わないものようだ。W、wという若い女性2人。A・B・Cは化粧品会社の名。

234

土地・家

宅地化が急速に進んでいる東京近郊の私鉄内での録音。登場人物は男2人で、Aは40歳くらいの勤め人、Bは50歳くらいで農家の人のように見えた。話は土地を求め家を建てるまでの苦心談で終始していた。

236

野菜談義

2月上旬、千葉県下のある農家における法事の席での録音。はなしは、この冬の野菜の高値が話題となりはじめたところから。

登場人物はA(千葉県生まれの農家の老主婦)、B(千葉県生まれの農家の主人)、C(東京生まれの中年男)、D(名古屋生まれ東京在住の老婦人)の男女4人である。

237

鼻茸

鼻の手術をしようとする人への病気見舞の場面。自宅療養中の病人とその家族および見舞客が病気の話をしているところを採録した。

登場人物はいずれも東京育ちで、夫(病人、30歳台)とその妻、病人の母(60歳台)と兄(40歳台)と客(男、40歳台)の5人である。

238-1,-3

大阪の夜店

5月25日、夜10時頃。大阪阿野区昭和町で。歩道の両側に金魚すくい、植木屋、射的など数10軒

の夜店が出ている。老人、若者、子供づれや夫婦ものなどいろんな人が店をひやかしながら歩いている。

239-1,-2

大阪、新世界のたたき売り

5月26日、新世界ジャンジャン横町のたたき売り。客は、2、30人黒山をなしている。売り手(32、3の男)の一言、一言に笑い声。客の中に50過ぎのおばさんが1人、前に陣どってねばっている。本文中、「女」がこの人。

240

鈍行列車

国鉄の鈍行列車(成田線)内での録音。

夕刻のためか薄暗い車内の窮屈な座席のほとんどは土地の通勤客で占められていた。

録音子の坐った4人がけの座席に土地の男2人(A、B 50歳くらい)が坐り、世間話を始めた。

241

農業用語あれこれ

8月のある日、福島県のある農家の茶の間で、その家の主人(農)と東京からやってきた中年の訪問客(客)とが世間話をしている。話題は、いつのまにか最近の農業用語のことに移ってきたようだ。

242

おじいちゃんの民話

福島県伊達郡国見町小坂(旧伊達郡小坂村)から宮城県白石市の小原温泉や同県刈田郡七ヶ宿方面などへ通ずる小坂峠のすぐ近くに万歳稲荷というお稲荷さんがある。土地の人びとの信仰が厚く通称万歳様といわれている。彼らの間には、この万歳稲荷、万歳様という名称の由来について、昔からあらまし次のようなことが語りつがれてきている。8月のある日、この稲荷から3里ほど離れた福島県伊達郡のある町の農家で、その家の老人

(男)が小学2、3年ぐらいの孫娘に話しているところである。孫娘の名前は、ゆみ子という。

243

引揚者

終戦当時の思い出話。外地からの引揚者である老婆が、引き揚げの苦労をはなしはじめたところから文字化した。

登場人物はA(名古屋出身で東京下町在住の老婆)とB(東京出身の中年男)の2名である。

244

日曜のティータイム

1971年11月7日午後3時ごろ。東京小金井市のある住宅。12畳ほどのDKに、2歳10カ月の男の子とその父と母がいる。暗い空から、いつか、細かい雨が落ちていた。はだ寒い。

245

八丈の風

八丈島の南端に位置する部落。中之郷のある民宿で、1971年11月19日午後。話し手は島(八丈島をさす)の男性、明治39年の生まれ。邦(本州をさす)の者を相手に思い出ばなし。問わず語りふうに。

246-1,-6

職場の慰安会

同じ部屋で働く公務員を中心とするグループの一泊旅行。宿に着いて酒食をとりながらの歓談風景。

登場人物

男 ABCDE (Bは日本に長く住む外国人)

女 f g h i (ほかに、宿の従業員)

消費酒量 日本酒19本。ビール3本。ブランデー400cc

247

檀家の寄合い

山形市郊外の寺。住職が入院したので檀家の緊



急世話人会が開かれた。ひとりが自分の意見に固執するため議事は空転するばかり。

248

住み込み女中さん

山形県鶴岡市のある旅館の女中さんA。標準語の会話の中に、チラチラと庄内弁が混じる。a、bは東京の人間。

249-1,-2

球磨川二題

「九州相良」は人吉へ行った。そこの国民宿舎の支配人K氏は、野球の川上氏の弟という。いろいろ話を聞いた。ほぼ標準語であるが、文字にしてしまうと分からない文のトーンに球磨ことばの名残りが聞かれた。a~dは東京在住の人間。

後半は、球磨川の渡しの船頭さん。「およめさん」と「泳ぐ」とを混同してしまい、話が通じなくなり、録音子は苦笑してしまった。

251

ポリ容器のセールス風景

東京都下のさる団地の一室。数人を1カ所に集めての食物容器の販売会。登場者のだいたいは、団地生活を通じての顔なじみ。セールス・ウーマンのHさんは愛媛県出身、aさん、bさん、cさんとも地方出身者。4人は30~40歳代の主婦。

Hさんは、新米ながらも堂々たるセールスぶり。ひとしきり雑談が済んで、いよいよ本番に移る。

252

月例麻雀会

真夏の日曜日の日下り、東京都内の住宅地の中の一軒で、4人の男性が、月例会と称してマージャン(麻雀)をやっている。

登場者は同じ職場に働く人達で年代は40代の後半1人(a)、30代の前半1人(b)、20代の後半2人(c・d)である。このうち、関東生まれ2人(b・d)、近畿生まれ1人(c)、四国生まれ1人(a)。すでに戦闘開始後、小1時間たっている。——がらが

らから……パイ(牌)をかきまぜる音しきり——

253

夏休みの思い出

東京都下の住宅地。長い夏休みも終わりに近いある日の昼下がり、1人のおとなと3人の子どもが話し合っている。

a・bは男の子、cは女の子、Aは録音子。a・b・cの3人は、この春ともに同じ幼稚園を出て、近くの公立凸凹小学校へ進んだ1年生。家が近いということもあって、毎日の遊び仲間である。

254

秋の夕げ

東京のあるアパートの一室。

1人の男性(A)と、2人の女性(B・C)が夕食の食卓を囲んでいる。

CはBと高校時代の友人で、関西の大学に在籍しており、試験休みを利用して、観光をかねて上京して来たものである。

255

リハーサル風景

場所は東京都心にある某劇団。所属の男優2人と女優の3人劇。スタッフをまじえてのリハーサル風景。

A 世界的なカメラマン。

B チンピラやくざの若者。自称Cの子供。

C Aの恋人でシャンソン歌手。

D この劇の作・演出家。

E この劇の舞台監督。

256-1,-2

“ことばの調査”

11月下旬に、愛知県岡崎市で行なわれた敬語についての面接調査のひとつ。ある場面を設定して、どういうふうに話すかを調べる。調査者の期待するこたえが、すんなり出てくる場合もあるが、被調査者によっては、なかなかそのこたえが得られない。ここに収録したのは、後者の部類に入る



もの。「調」は調査している人、「被」は調査されている人。

はじめの「被」は中年の男性。あとの「被」は明治生まれの元気なおばあさん。

257

しろうとオーケストラの忘年会

東京都清瀬市にある団員20数名の小さなオーケストラ。駅前の中華そば屋に数人のメンバーが集まって2時間余の音楽談議。その一部を収録。

258

週番委員長の説明

東京都下の某定時制高校の臨時生徒総会より収録。この学校、1年から4年まであわせてもわずか240名の生徒数とあって、会場の体育館兼講堂が広く感じられる。議事は進行して、制服の問題について週番委員長が話した。

259

将棋対局の解説風景

NHK杯争奪トーナメント戦、準々決勝2月18日放映)から。対局者は大山康晴王将(当時)と内藤国雄王位。序盤から中盤にかけての激しい駆け引きの末、先手の大山王将が勝ちを得た一番。収録場面は序盤戦の終り近くまでの解説風景の一部。「解」は解説者・米長邦雄八段。「聞」は聞き手・永井英明観戦記者。局面は『7六歩、3四歩、6六歩、4二銀、6八銀、4四歩』と六手まで進んだところ。なお、〈〉内は棋譜読み上げの声。

261-1,-3

アクセント意識の調査

73年2月、愛知県の宇和島市から八幡浜市にかけてアクセント調査を行なった。このあたりはアクセント分布の複雑な地域。そのためか話者のアクセント意識はかなり曖昧なようだ。単語を読ませる調査をひとつお終えたのち、話者のアクセント意識を探る目的で種々の質問をこころみた。文中のSは調査者。「——」「……」はその音節が

高く(「——」は「……」より高い)発音され、「ゝ」はその音節が強く発音されたことを示す。

261-1,-2

皆さん、まだ起きてますか

午前2時ごろ、深夜放送のディスク・ジョッキーから、その断片を拾ってみた。

262

電車あそび

近所の幼児がまさる君(5歳2)の家に遊びに来て、おもちゃの電車をいろいろ出して遊んでいます。あっちゃん(5歳)はまさる君と同じ年なので、ふたりが負けずにはりあって遊んでいます。その他、かつお君(4歳)、みかちゃん(3歳1)に、まさる君のお父さんが登場します。

263

テレビのインタビュー風景

毎週、日曜日の昼、新婚夫婦をスタジオにまねいて、なれそめを聞きだす番組から録音(ABCテレビ〔大阪〕製作”新婚さん、いらっしやい!”)。司会者Aは桂三枝、Bは梓みちよ。

264

幼稚園の先生の座談会

幼稚園・保育園などに勤めている若い同窓生たちが、教師を交えて座談会を開いた。司は司会者、教は教師、ABC……は同窓生。

265-1,-5

競輪に集まった人たち

東京に近い競輪場

・スタンドの観客 その1  
・スタンドの一角に席を占めている25歳から30歳ぐらいまでの数人の男。

266

着物の小物の宣伝

あるデパートの呉服物売場の一角から、「きょう

はこちらで着物を着てみますから、どうぞモデルの着さばきなどごらんになって、お召しになってお出かけになってください」

という声の流れてきます。人が集まっているようなので行ってみました。

さらっとした髪を日本髪風に結った着物姿の40代の婦人が20代の若い娘をモデルに着物の宣伝をしています。その婦人のことばを録音してみました。

267

4歳児の会話

2人の男の子、TとM（ともに4歳4か月）がTの家で遊んでいます。いすをたおして、それをいろいろ組み合わせて、その中にはいたり、うえからとびおりたり、ついにトラックにしまいます。

268

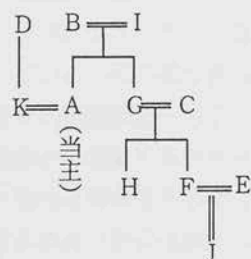
“戦い終えて”

国立の甲研究所の職員と都立乙高等学校の教職員との間で、乙高等学校の体育館において行なわれたバレーボールの親善試合の後で、両チームの選手約15名、お茶を飲みながらの懇親会風景である。試合結果は乙高等学校の勝であった。ABCDEFは甲研究所側、WXYZは乙高等学校側の選手である。

269-1,-2

山陰の正月

1974年元旦。所は鳥取の農村の旧家。登場人物は、当主Aをはじめ、左の系図のとおり。（系図中の



のセンチュリー・ボールド体は男性を示す)

まずABCDEの男性5名が登場。

――Jの泣き声、酒のやりとりの声は随所に聞かれるので省略。

270

志摩の故老の寝宿とヨバイの話

結婚前の若い男(女)が1つの家に集まって寝泊りするいわゆる寝宿や、若い男女がヨバイによって自分の配偶者を選定するというのは、少なくとも大正期の終りや昭和の始め頃までは、全国各地の漁村や農村で多く見られた民族慣行だ。以下は、志摩半島の小漁村で、土地の故老(73歳)Aが語る寝宿とヨバイの体験談の一節である。聞き手Bは、東京からやって来た若い旅行者。

271

婚約の2人を肴に

A、B、C、Dは学生時代からのごく親しい仲間、YはBの婚約者である。結婚式の近いBが婚約者をA、C、Dに紹介し、一同は少々、酒を飲んでいる。AとDは皆よりすこし先に会って、酒を飲んでいるため、Aはかなり酔っている。A、B、Cは26歳、Dは25歳の男性、Yは24歳の女性である。動機先はそれぞれ違う。一次会は高田馬場ですませ、二次会にDの知っている六本木のレストランへ行くため、Dの車に5人で乗り、その中での会話である。

273-1,-2

金婚式

昭和40×年正月。鳥取県中部の旧農の夫婦が金婚式を迎えた。そこでこの夫婦(A・B)の親戚縁者が集まって祝っている。このうち、ここに登場するのはABCDEFGHIJの10人である。D(姉)とE(弟)はともにABの子、CはAの兄、FはBの兄、JとIはBの姉である。また、GはIの夫、HはDの夫である。

274

女将のかたる京都弁(上)

京都・四条の旅館「清水房」をたずね、4代目の主人、山本房さんとあれこれとりとめのないはなしをした。聞き役は本誌編集部青年。



275

女将<sup>ぢやうじやう</sup>のかたる京都弁(下)

京都・四条の旅館「清水房」をたずね、4代目の主人、山本房さんとあれこれとりとめのないはなしをした。聞き役は本誌編集者の青年。

276-1,-2

昔の国研苦勞ばなし

74年6月5日、国立国語研究所研究棟の落成披露が行われた。その祝賀パーティーで、旧研究所員の方々にインタビューし、昔の思い出を話していただいたが、ここにその一部および現所長のスピーチを抄録する。なお、文中のSはインタビューア(現研究所員)である。

277

「現代のぞき眼鏡」

7月初めのある朝、8時35分から、ある民間放送(東京)で対談があった。題して、「現代のぞき眼鏡」。出演は作家の、た……氏ほか数人である。(この対談は連続番組であったが、8月29日で終了したと聞く)

278

試験の結果がわかった日

——母と娘の会話——

主婦 43歳

子 中学2年生3女

収録 昭和49年7月5日(金)

279

コーヒー・ブレイク

東京のある職場の昼休み。おいしいコーヒーが飲めるというので、コーヒー好きが味ききをしに集まってきて、おしゃべりを始めた。

登場する6人のうちコーヒー名を知らないのはN、S、Tの3人なおHとMは女性。

280

保育園の昼食どき

大田区の保育園の園児(年中児・4歳8か月~5歳7か月)16名に受持の先生と録音子A。園児は名前不明なので性別だけを記入。園児ら、客と昼食をとるのが楽しいらしく話がはずんできたので、録音テープをまわす。74年11月21日。

281

マレーシアからきた研修生

U造船所で、現在マレーシアの研修生46人が実習している。新造船タンカー(14万トン)の甲板で、見学者のW、M、Tの3人が、指導員Kと研修生Z(S.Z.B.Mohamad)にインタビューする。Zは27歳。Malaysia Vocational Instituteを卒業し、2年前に来日。3か月の日本語集中教育を経て現場研修に入る。昭和49年11月29日収録。

283-1,-4

電話で道をきく

A(女)とB(男)がいろんなところへ電話で道順をたずねた。そのなかから、いくつか紹介します。

284-1,-2

東京弁と大阪弁

——大阪市民の言語生活調査から——

75年2月、無作為に抽出した500人の大阪市民を対象として、言語生活の調査が行われた。これは、その調査風景の一コマで、ある被調査者宅を最初に訪問した時の模様と、調査後の雑談とを収録したものである。(夫-被調査者、大阪生れ。妻-その妻、東京生れ。調-調査者)

286

観光バスのガイドとお客

——姫路から湯ノ郷への道で——

豊橋市及び周辺の商店主達と一緒に観光バス旅行をした。途中、客のなかでガイド嬢にいろいろと、とぼけたような話をしかける者があり、ガイド嬢も「さすが三河万歳の土地から来たあなた方には、とてもかなわない」とあきれていたほどだ



ったが、残念なことにその部分の前半は録音できなかった。バスのエンジン音とオートマチック録音の兼ねあいに、やはり無理があった。

物腰対応にすぐれて、いかにもベテランという感じはしたが、なかなかの美人で、今どき少ないかもしれない。発音(連母音エイを長音化しない)、アクセントから九州中部出身かとかんぐってはみたが、聞いてはみなかった。ガイドさんの案内から……。調子をつけて読んでみてください。

287

#### よもやま話

ある家の行事に各地から親類が集まり、いろいろな話題に花を咲かせている。登場人物は、A(30代・男・金沢市在住)、B(70代・男・奈良県在住)、C(50代・男・富山県在住)、D(60代・女・愛知県在住)の4人で、いずれも富山県西南部の出身である。Dの孫を囲んでの話合いから話題が広がる。( )内は一応の標準語訳。

288-1,-4

#### 四万六千日

東京は浅草、浅草寺。四万六千日、「ほゝづき市」の縁日へでかけてみた。風鈴のついた鉢植えのホーズキ、いかだや灯籠の形をしたツリシノブ、赤、うす黄のウミホーズキなど、境内狭しと露店が並んでいる。

289

#### 浅草、お富士さん

6月30日、浅草観音堂の裏、富士神社の植木市へ行ってみた。通称“お富士さん”といわれるこの縁日市は、初夏の風物詩として、またこの植木市によって都内の縁日植木の値が決まるとされている。印半纏を重ねに着た植木屋さんは見られず、当世風の、地方なまりも聞こえるといった縁日。今年はここも不景気風が吹いて掛け声もさえなかったが。…………。

290

#### 7つの母音

奄美大島南部の瀬戸内町古仁屋において、75年8月に言語(主として生活語彙体系)の調査が行なわれた。当該方言の音韻上の特色の1つは、中舌母音の/i/および/e/の存在である。ここに収録したのは、その調査の折にこの中舌母音に関して、あるインフォーマントの内省を聞き出した一コマである。文中のIはインフォーマント(明治26年生まれ・男性)、調は調査者を示す。なお、文中の音声表記は一部ブロードなものであることをことわっておきたい。

292

#### パパになって2週間

はじめてパパになった人が奥さんの実家での喜びの対面をおえて職場に出てきた。そこで昼休みにいろいろと聞き出した。Hは新しくパパになった人。SとMは20代の女性。Tは40代の男性。

294

#### アバヨの語源がわかった

#### ——岐阜県徳山村戸入で

岐阜県揖斐川上流の最奥部、徳山村戸入(トニュー。ほとんど福井、滋賀の両県境に近い山中)の旅館(といっても、周囲の農家と少しも変わらない萱ぶきの家だった)に泊ったとき、近所の人達が入れかわりたちかわり、ここに電話を借りにくる。そしてそれがいずれも、方言色濃厚の長話をする。その部屋におかれた私のテープレコーダーには、いやでもその会話が収録されてしまったのである。次に紹介するのは、その何人かのうちの1人のおばさんで、大垣市内にいる自分の娘と話をしているらしい。相手方の話がわからないし、話の全体の筋も案外とりとめもなく面白味はないけれど、この12分ほどの談話文のなかに注目すべき方言形がいくつも出てきた。

来ルラというような推量形、モツジャデ(モンジャデ)、ユットッタッデ(ユットッタデ)のような濁音の前の促音、イラという自称代名詞、ソッ

テー（そっちへ）などという発音、東京式アクセント（文字のためお伝えできないのが残念）……。これらはいずれも戸入方言の面目躍如たる特徴ばかりであり、揖斐川上流における奇跡的事実である。

ところで、この電話の会話には偶然にも、更に興味深い用例があらわれている。「具合よく、案配よく」という意味の副詞としてのアッパヨー2例と、「さようなら」の意味のアバヨー2例が同時にあらわれている点に注目されたい。両方ともまぎれもない戸入方言である。この録音は貴重なものになるような気がする。

江戸東京でいうアバヨは、今ではやや品の良くないいいかたという印象を与えるが、似たようなことばは各地で使っている。静岡県の水窪町という山村では、グッドバイと関係ない昔から、バイヨとか、バイネーといういいかたをしていた。最近紹介された、福井県勝山地方（天野義広氏「福井県勝山市の生活語彙」）でも、アバヤとか、アバといういいかたは、やさしい別れのことばとして使われているのである。これらのいいかたの、もとの意味は「案配良う」だったのではないだろうか。「さらばよ」が訛ってアバヨとなったという通説が私には信じられなくなった。

次の文字化中、▼は電話の相手方の発言があった箇所を示す。相手方の発言が非常に長かったところで行を替え、次のはじまりに○を与えた。

この録音は48年8月だったが、文字化と現地照合が一応終ったのは50年10月である。最近、徳山ダムの測量がいよいよ最終段階とのことで村人達も、ようやくあきらめの色を濃くしている。戸入も水没の運命にある。3、4年のうちには来るその瞬間に、私どもは心からそれを告げることができるだろうか。「アッパヨー」と。

295

北海道移住のころ

小野ツネ子

話し手は北海道士別市川西町のH男（明治17年2月5日生、当時86歳）。岐阜県加茂郡川辺町中川

辺出身。言いあやまりやウン、アー、あいづちなどは適宜は省いた。ai連母音は「 $\text{e}\text{a}$ 」のような音になることが多い。前後のつながりをわかりやすくするために、特に（）をつけて補った部分がある。

297

鹿児島県枕崎民話

「山神と松崎家」について

枕崎市は鹿児島県薩摩半島の最南端に位置し、南は東支那海に面し、東は温泉地指宿、西隣りには遣唐使の発着の港をもった坊津町と東西12キロ、南北10キロ総面積74・62平方キロ、人口3万数千人といったところである。市街地は海に面して開けた平地で、温暖な気候風土に恵まれている。

市街地のやや西側には花渡川が南北に流れ、この川の上流地域と下流地域の間には、また、東側地域と西側地域の間には、かなりはっきりした意識上の文化・方言の相違をもっている。枕崎市にはおよそ70部落あるが、方言上の区別の出来る地域は約20地域あるということである。概観すると、北部地域（金山・田布川部落）では一般にアクセントが弱く、南部地域（市街地域）ではアクセントが強い。濁音が多い様である。花渡川の中部西側、西北部地域では敬語の使用頻度数が多く、他の地域では非敬語圏となっている。

この様に、枕崎地域の言語状況は変化が多く、極端な地域では、道一向かいの人との間に日常語が異なるところさえある。前述した様に、相違があるであろうという20地域のうち、昨年3月に18地域の方言調査を実施した。（「枕崎の言語と文化」参照）

次に紹介する枕崎民話「山神と松崎家」は既知のものであるが、方言調査の際にこれを語る現地の人に方言で語ってもらったものである。ただし、話者（被調査者）は地理的に部落を異にすると考えるが、市街地の港町に住む久保春信氏（41歳）に依頼したものである。港町は前述した地理的地位に位置している。久保春信氏は考古学、民族学の研究者でもあると聞き及んでいる。今日どの様に



つてえられているかを知る上においても参考になるものと思える。「枕崎民話」はこの他に一話採集したが、これは一地域のみの人を知っているにすぎない様だ。「山神と松崎家」について伝えられている内容を記述しておく——

隣人の90歳のおばあさんに聞いたら、この話の子孫が私の家の近くに住んでいた。戦争中、供出時には、金や金物を俵に入れて、馬の背に積んで出していた。かなりもっていたと思える。

「ヤマンカン」という呼び名を屋号だという人がいる。「マッサッケ」はその老人によると、「ヤマンカンノ マッサッケ」ということと一致する。年代は、4、500年昔というが、戦争前まで富み栄えていたといい、何代にもわたって大きな屋敷を構え、枕崎市街地よりもずっと東の方の松が浦という所にこの人達の子孫がいるという。

ここより6キロ程東の方で、倉構えの屋敷跡で、すぐ下に海があり、この話の中に出てくる「朝早く目が覚めて、海岸をみたところが一隻の船が流されていた。ということと一致している。前を開けるとすぐ海のところで、少し入江になっている。川がちょうど流れ込んで入江になっているところで、大体話が合う様な気がする。ここに出てくる「異国の入」は何人であったかは不明である。そして、ずっと手前に来ると唐ノ浜がある。唐人が流れついたところであろうという。

代々、枕崎では貿易商が何人かあったらしいが関東・関西方面に肥料を持って行ってはその帰途、米や様々な物を仕入れ、大分手広くやっていたらしい。商売の始まりを異国人から教えられ、商売が当って栄えた。余りにも栄えたので、他の人も縁起がいいとして異人を神様扱った。

そういうことで異国の人はどうなったかは知らないが、異人を祭って、三日月の彫物をつくり、これを御神体とした。守神として来た。今日では不明だが、家では代々銅像が立っているということである。

301

名古屋弁について

丹羽友吉さん(T。明治22年生れは、往年の名古屋の豪商「吹原」(大正12年の関東大地震の影響で破産した)で3番番頭まで勤めた人。聞き手にまわった西岡さん(N。昭和初年生まれ)は、現役の一流芸者として、また西川流舞踊の名手として名古屋で有名な人。

丹羽さんは守山区(当時は名古屋郊外の農村地帯)の生まれだから田舎言葉が抜けにくいながらも、かなり格調の高い言葉調子でゆっくりと落ちついて話し、いわゆる「上町ことば」の話し手と目される。一方の西岡さんは、気さくな人柄そのままに、ちゃきちゃきの下町ことばの持主である。場所は丹羽さんのお宅で私が臨席。商家の奉公で「ことばの苦勞」のようなことから話がはじまった。ニューと記したのは〔næ:〕のような発音。モューと記したのは〔mø:〕のような発音。

311

奉納演芸大会

●特集・祭

6月の初め、東京は墨田区、向島百花園の隣りにある白髭神社を訪れた。夜になったところでお神楽殿で奉納演芸大会をはじめたので、かくし録りをしてみた。

お神楽殿の舞台上に、男が数人並んでいる。その中の1人がマイクに向かってしゃべりだす。

316

呉服店の展示会場で

今回は広島の実服店の展示会での録音。これは、前々号の「衣服を買う時の言語行動」で用いた資料の一部である。登場人物は売り手が老年の女性(売1)と中年の女性(売2)、買い手が母(買1)と娘(買2)である。

317

野菜汁製造器の街頭販売

東京、新小岩のアーケード街の道端。若い男がマイク片手に、20人ほどの通行人を前に野菜汁製



造器の説明をしている。

318

ある結婚披露宴風景

今回は東京都内の結婚式場の披露宴の様様を取  
材した。登場人物は中年の媒酌人(A)、老年の来  
賓(B)(以上、男性)及び女性の司会者である。

319

大学生の語る宮沢賢治のファンタジー世界

77年秋。東京のある女子大学。大学祭の企画で、  
児童文学研究会が他の大学の研究会の会員を招待  
して開いた、討論会を取材してみた。テーマは「宮  
沢賢治のファンタジー世界」。主催校の会員がレジ  
ュメに沿って発表したあと、意見の交換。参加者  
は、約30名。主な発言者は、10名ちょっと。前の  
部屋のバンドの演奏が騒がしく、話は聞き取りに  
くい。A・B・C……の大文字は女性。f・g・iの小  
文字は男性。

320-1,-3

飛行機の機内アナウンス

3月のある日(成田空港の管制塔占拠事件の数日  
後)の那覇-福岡間の日本航空の機内放送である。

321-1,-2

国電ストの朝

4月26日朝(国電ストの朝)の池袋駅東口。私  
鉄を降りた群衆は、いったん表へ出て、警察官の  
指示に従って行列を作り、地下鉄丸の内線へと向  
かう。その際の拡声放送を約12分間にわたって録  
音した。

323

小学1年生の国語の授業

山県県鶴岡市内の小学校1年生の国語の授業風  
景。1971(昭和46)年1月8日に収録(国研の共  
通語化調査の1年前)。先生は当事40代前半で勤続  
22年のベテラン女教師。職員室内での同僚および  
調査者との会話には方言を用いていたが、授業で

は共通語。ただ少数の生徒を相手にする時などは  
方言の特徴が混じる生徒も、私語は方言。なお、文  
中Tは先生、Mは男生徒、Fは女生徒。ガ行鼻音  
〔ŋ〕はカ行の仮名に傍円を打って示し(例:か<sup>ŋ</sup>き)、  
有声化したガ行子音〔g〕と区別する。〔 〕内は調  
査者の注。

324

冬のレニングラード市内観光

日本人観光客のためのバスによる市内観光。ロ  
シア人で、20代(とおもわれる)のガイド嬢の説  
明を収録した。

ポーズを1字分あけて収録。かっこのなかは記録  
者の注記。

325

方言による翻訳劇

アイルランド劇を北上地方(岩手県)の方言に  
翻訳した劇の公演から。収録があまりよくない上  
に、録音器子が東北方言に暗いのでところどころ  
聞きとれなかったし、また聞き違いをしていると  
ころがあるかもしれない。あらかじめおことわり  
しておく。実際に劇を見ている時には、録音器子  
もわかったつもりでいたし、周囲の観客も非常に  
敏感に反応していた。ここらあたりがおもしろい  
ところだろう。

翻訳は北上出身の相沢史郎氏、上演したのは劇  
団東演で、この録音は11月19日のアトリエ公演  
の時のもので劇の中のほんの一部である。

なお、劇団員はかなりよく訓練されている様子  
で、イントネーション・なまり等東北方言の味が  
出ていた。

327

加計呂麻島で

奄美の加計呂麻島で、恐らく二度と合うことは  
ないであろう2人の間にかわされた会話から。登場  
人物はA、B。Aは若い方言研究者、Bは年齢90歳  
の土地の女性。Aは北陸富山の出身で、奄美方言の  
会話の能力はゼロに近い。Bは逆に方言しか話せな

いらしい。AはBに方言調査の相手をしてくれる人がその集落にいるかどうかを聞いているところだが、全く話しが通じなくてもおかしくないのである。ところが……

(文字化にあたっては、奄美方言圏の他の島の出身の人に協力していただいた。)

328

ツーテンジャックの遊び方

スキー帰りの上越線。たいくつしのぎにトランプをやっていたが、一人が「ツーテンジャック」を教わりたいと言いだして、車中トランプ教室が始まった。登場人物の年齢と性別は次の通り。A、40代男。B、20代男。C、20代女。D、小学校高学年男。E、幼稚園年長組女。

329

時計のせり売り

昨年9月、大阪ミナミの繁華街の一角、店先に商品を並べて、10数人の客を相手に、30歳代とおもわれる店員Aが、時計のせり売りをしている。一部、録音状態不良のため聞きとれない部分は……で示した。

332

●特集 = 占い

だまって座れば

——「録音器」子大道易者に占ってもらう

録音器子が自らモルモットを志願して大道易者に占ってもらった。場所は東京のとある盛り場、時は6月の中旬の月曜日、夜8時過ぎ。

易者は老青年といった感じで、好感のもてる人だった。以下、Eは易者、Rは録音器子。

333-1,-2

区議候補の個人演説会

2日後に東京都の区議会議員選挙の投票日を控えたとある金曜日。A候補の個人演説会が、町内の小学校の体育館で行なわれた。

335

卸し売り

石川県輪島市の洋品店。金沢市から来た問屋卸し業者が、小売店主に商品を売っている。店に客が来たり、赤ん坊が泣いたりしている中で、世間話を間にはさみながら商売を続ける。A、60近い男、卸し屋。早口ですこしどもる。B、50代女、店主。C、30代男、卸し屋。D、20代女。他に赤ん坊。

338-1,-2

病院の受付にて

兵庫県加古川市のある病院の医事課受付。

朝の9時半、窓口が最もこみあう時。患者の呼び出し、応対と課長まで手伝う忙しさ。その忙しい中での職員どうしの話。マイクに向った時は広場のことば(標準語)、職員どうしは仲間のことば(方言がでる)、患者の応対は最初は標準語で、後すぐ方言に替わるという変化が顕著にみられる。A、45、6歳の女性、受付事務。B、35、6歳の女性。受付事務。C、30過ぎの女性。D、若い男性、事務。E、50代の男性(課長)その他患者多数(患者は数字で示す)。

録音器のマイクには、2,3人の受付事務員、患者の会話のほか、アナウンスも入る。1つの会話の中に他の会話も入る。窓口の忙しさ、会話の変化を示すため次のような表記法をとる。

( ) なしが、職員のことば、( ) つきがその相手。行頭に、誰と誰の会話かを示す。アナウンスは《 》でくくる。( ) でくくったのは説明書き。

341

土地の価格こうして決まる

佐賀県伊万里市のある建設会社の事務所。

電話が入ったり、人が出入りする中で、社長と事務員が土地・建物の価格の話をしている。A、60歳の男、この会社の社長。B、56歳の女、社長の妻、事務を手伝う。C、70歳の男、D、48歳の男、会計担当の事務員。E、35歳の男、事務員。( ) 内は共通語訳。



342

#### 怪獣ごっこ

現代の男の子（幼稚園年長児）は、どういう遊びをしているのでしょうか。午後のひととき、録音器を廻してみました。3人の友だちによる怪獣遊びです。場所は長谷川君の家の子どもべや。この前に「野球ゲーム」「人生ゲーム」遊びをしています。名前は頭字で呼んでいます。あさは浅田、いのは井山、はせは長谷川です。30分近い録音でした。

344

#### = 特集□海外への旅 = 海外団体旅行の説明会

都心千代田区内のあるビルの会議室。以下は、T職員相互組合が希望者を旅行会社に斡旋して実施する海外旅行の説明会。

「1」は、募集人員80名（最低催行人員40名）、費用125,000円の「シンガポール2泊5日の旅」のもので、本年6月24日に行われた。参加希望者は21名だったらしく、結局は、旅行会社の「パッケージ・ツアー」に合流することになったようだ。

「2」のハワイ行は、以前実施されたもの。

#### IV 文脈付き用語索引について

##### 1. データ量

本資料は、筑摩書房刊の月刊雑誌『言語生活』にほぼ毎号掲載されている「録音器」欄（話し言葉を忠実に文字化した資料）を昭和26年から55年の30年間分421話を電子計算機に入力し、文脈付き用語索引の形に整理、出力したものである。総語数（助詞・助動詞・数字・記号を含む）494,956語である。各号の語数は「データ一覧」に示している。

マイクロフィッシュは、1枚に97頁（フレーム）のデータとデータの所在を示す索引部が1頁（フレーム）で構成されている。本資料は、原文が11枚、KWICが79枚である。合計の頁数は、原文が979頁、KWICが7608頁である。1頁には65語の用例を納める。

##### 2. 文脈付き用語索引の形式

KWICはもともとKey Word In Contextの略称であったが、現在は略称意識がなくなっているようである。文脈の中にキーワードを配置してある。10頁の図に示すように、KWICは右半分、空白2字文で囲まれている語がキーワードである。左半分は出典情報である。左端の4桁の数字は号数を示す。千台の6は『言語生活』データを示す。残りの3桁は号数である。次のカタカナ10字はタイトルである。10字にするため、必ずしも原データと一致していない。次の2桁の数字は話し手の情報である。原文の各号の先頭に示しているデータ記述部分と対応している。次の3桁は『言語生活』192号の録音器欄「盂蘭盆」（マイクロフィッシュのデータでは「オテラサン」としている）の70頁上の段10行目に用いられた語「サイテイ」の用例で、これは話し手が02、すなわち「長野県出身で50歳台の主婦」であることを示している。さらに詳しい情報は『言語生活』192号を参照しなければならない。

##### 3. 用例の配列順序

用例の配列順序は、キーワードのほぼ50音順である。ほぼというのは、電子計算機内でのカナの順序（コード順）に従っているため、多少異なることを示している。すなわち、カタカナ文字は次の順序となっている。

。（句点）→「→」→、（読点）→・（中黒）→ヲ→ァ→ィ→ウ→ー→。→<→（→+→エ→オ→ャ→ユ→ヨ→ッ→ー（長音記号）→！→¥→\*→）→：→－（マイナス）→／→、→％→？→：→＝→ア→イ→ウ→エ→オ→カ→（中略）→ン→ゝ（濁点）→°（半濁点）→（アルファベット）→（数字）

したがって、次のように並ぶ。

ハァ→ハッ→ハア→ハツ→バァ→バッ→バア→バツ→パァ→パッ→パア→

キーワードが同じ場合の順序は、キーワードの直後の語の50音順、それも同じ場合は直前の語の50音順に並べてある。

##### 4. 検索の方法

本資料は、同語異語判別をしていないので、出現した語形で並べてある。したがって、調



べたい語の全用例を求めるためには、その語のあり得るすべての語形で調べる必要がある。  
ある語がどのフィッシュにあるかは、次のフィッシュ索引を調べる。

(1) フィッシュ索引

〈KWIC〉

01 「～.	33 サワギ～シ	65 ハ～ハチ
02 .～.	34 シ～シミン	66 ハチ～ヒイ
03 .～.	35 シミン～ジカン	67 ヒイ～フミ
04 .～.	36 ジカン～セカイ	68 フミ～ホリ
05 .～.	37 セカイ～ソウ	69 ホリ～マシ
06 .～……	38 ソウ～ソレゾレ	70 マシ～マゼ
07 ……～,	39 ソレゾレ～タ	71 マゼル～ミンナ
08 ,～,	40 タ～タテ	72 ミンナ～モー
09 ,～,	41 タテ～ダ	73 モー～ヤッ
10 ,～,	42 ダ～ダレ	74 ヤッ～ヨ
11 ,～,	43 ダレ～チン	75 ヨ～ヨコ
12 ,～,	44 チン～テ	76 ヨコ～ワ
13 ,～ア	45 テ～テ	77 ワ～ン
14 ア～アノ	46 テ～テエ	78 ン～ン
15 アノ～アルイ	47 テエ～デ	79 ン～928
16 アルイ～イイ	48 デ～デグチ	
17 イイ～イク	49 デグチ～デス	
18 イク～イラッサル	50 デス～ト	
19 イラッサル～ウメー	51 ト～トーシ	
20 ウメー～エン	52 トージ～ドッセ	〈原文〉
21 エン～オオミヤ	53 ドッセ～ナ	01 ゴウスウ 6001～6032
22 オオミヤ～カ	54 ナ～ナイ	02 " 6032～6069
23 カ～カイ	55 ナイ～ナマエ	03 " 6069～6101
24 カイ～カラ	56 ナマエ～ニ	04 " 6101～6134
25 カラ～ガ	57 ニ～ニ	05 " 6134～6163
26 ガ～ガ	58 ニ～ヌケ	06 " 6163～6190
27 ガ～キイ	59 ヌケ～ネ	07 " 6190～6218
28 キイ～グライ	60 ネ～ネエ	08 " 6218～6248
29 グライ～コウ	61 ネエ～ノ	09 " 6248～6279
30 コウ～コノ	62 ノ～ノ	10 " 6279～6342
31 コノ～ゴ	63 ノ～ノニ	11 " 6342～6344
32 ゴ～サワガシイ	64 ノニ～ハ	

## 5. 原文の見方

『言語生活』録音器欄の原文は7ページのようにになっている。最初にタイトルがあり、登場人物・場所・話し内容・雰囲気などの解説が続く。

これを、電子計算機に入力するため9ページのように直す。すなわち、17ページ「データ記述用語の分析」に述べたとおりである。

本文は、1行1レコードとし、行の先頭に号数4桁、頁数3桁、段2桁、行数2桁、話し手情報2桁、聞き手情報2桁の出典情報がついている。次に本文データが続く。本文は、語は『言語生活』の本文をカタカナ表記したものだが、聞き手情報は本報告「話しことばにおける聞き手決定について」に述べた通り、判断して付けた。

話し手・聞き手の説明は、『言語生活』の解説から取り出したものである。当然かなりの情報を捨てているから、詳しくは解説を読む必要がある。データには、性・年齢・職業などの情報だけを、取り出している。説明の最後に略称が付いているものがある。これは計算法処理に必要なものであって、ここでは無視されたい。1号に2つの場面がある場合がある。それは話者のコードによって判断できる。KWICには聞き手情報をのせていない。用例を多くとるためである。



国立国語研究所 言語処理データ集2

話しことば 文脈付き用語索引——『言語生活』録音器欄データ——

昭和62年3月

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14  
電話東京(900)3111(代表)

UDC 809.56-085.5 (083.87)

NDC 809

本書の市販品発行所

〔〒113〕東京都文京区本郷1-10-11 (03) 815-1231(代)

日本マイクロ写真株式会社

国立国語研究所刊行書一覽

国立国語研究所報告

1	八丈島の言語調査	秀英出版刊	品切れ
2	言語生活の実態 —白河市および付近の農村における—	〃	〃
3	現代語の助詞・助動詞 —用法と実例—	〃	2,000円
4	婦人雑誌の用語 —現代語の語彙調査—	〃	品切れ
5	地域社会の言語生活 —鶴岡における実態調査—	〃	〃
6	少年と新聞 —小学生・中学生の新聞への接近と理解—	〃	〃
7	入門期の言語能力	〃	〃
8	談話語の実態	〃	〃
9	読みの実験的研究 —音読にあらわれた読みあやまりの分析—	〃	〃
10	低学年の読み書き能力	〃	〃
11	敬語と敬語意識	〃	〃
12	総合雑誌の用語(前編) —現代語の語彙調査—	〃	〃
13	総合雑誌の用語(後編) —現代語の語彙調査—	〃	〃
14	中学年の読み書き能力	〃	〃
15	明治初期の新聞の用語	〃	〃
16	日本方言の記述的研究	明治書院刊	〃
17	高学年の読み書き能力	秀英出版刊	〃
18	話しことばの文型(1) —対話資料による研究—	〃	2,000円
19	総合雑誌の用字	〃	品切れ
20	同音語の研究	〃	〃
21	現代雑誌九十種の用語用字(1) —総記および語彙表—	〃	3,000円
22	現代雑誌九十種の用語用字(2) —漢字表—	〃	3,000円
23	話しことばの文型(2) —独話資料による研究—	〃	2,000円
24	横組みの字形に関する研究	〃	品切れ
25	現代雑誌九十種の用語用字(3) —分析—	〃	3,000円
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	2,100円
27	共通語化の過程 —北海道における親子三代のことば—	秀英出版刊	品切れ
28	類義語の研究	〃	〃
29	戦後の国民各層の文字生活	〃	400円
30-1	日本語地図(1)	大蔵省印刷局刊	品切れ



	日 本 言 語 地 図 (1) (縮刷版)	大蔵省印刷局刊	17,000円
30-2	日 本 言 語 地 図 (2)	"	品切れ
	日 本 言 語 地 図 (2) (縮刷版)	"	17,000円
30-3	日 本 言 語 地 図 (3)	"	品切れ
	日 本 言 語 地 図 (3) (縮刷版)	"	1,700円
30-4	日 本 言 語 地 図 (4)	"	品切れ
	日 本 言 語 地 図 (4) (縮刷版)	"	1,700円
30-5	日 本 言 語 地 図 (5)	"	品切れ
30-6	日 本 言 語 地 図 (6)	"	
31	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究	秀英出版刊	"
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	"	"
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	"	350円
34	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (II) ——新聞の用語用字調査の処理組織——	"	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究 ——マキ・マケと親族呼称——	"	"
36	中学生の漢字習得に関する研究	"	"
37	電子計算機による新聞の語彙調査	"	"
38	電子計算機による新聞の語彙調査(II)	"	"
39	電子計算機による国語研究(III)	"	"
40	送 り が な 意 識 の 調 査	"	1,500円
41	待 遇 表 現 の 実 態 ——松江24時間調査資料から——	"	品切れ
42	電子計算機による新聞の語彙調査(III)	"	1,200円
43	動詞の意味・用法の記述的研究	"	6,000円
44	形容詞の意味・用法の記述的研究	"	4,000円
45	幼 児 の 読 み 書 き 能 力	東京書籍刊	4,500円
46	電子計算機による国語研究(IV)	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) ——性向語彙と価値観——	"	700円
48	電子計算機による新聞の語彙調査(IV)	"	3,000円
49	電子計算機による国語研究(V)	"	900円
50	幼 児 の 文 構 造 の 発 達 ——3~6歳児の場合——	"	品切れ
51	電子計算機による国語研究(VI)	"	1,000円
52	地 域 社 会 の 言 語 生 活 ——鶴岡における20年前との比較——	"	1,800円
53	言 語 使 用 の 変 遷 (1) ——福島県北部地域の面接調査——	"	2,500円
54	電子計算機による国語研究(VII)	"	1,000円
55	幼 児 語 の 形 態 論 的 な 分 析 ——動詞・形容詞・述語名詞——	"	品切れ

56	現代新聞の漢字	〃	6,000円
57	比喩表現の理論と分類	〃	6,000円
58	幼児の文法能力	東京書籍刊	5,500円
59	電子計算機による国語研究(Ⅷ)	秀英出版刊	1,300円
60	X線映画資料による母音の発音の研究 —フィネーム研究序説—	〃	2,500円
61	電子計算機による国語研究(Ⅸ)	秀英出版刊	品切れ
62	研究報告集(1)	〃	1,700円
63	児童の表現力と作文	東京書籍刊	6,000円
64	各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	2,000円
65	研究報告集(2)	〃	3,000円
66	幼児の語彙能力	東京書籍刊	8,000円
67	電子計算機による国語研究(X)	秀英出版刊	品切れ
68	専門語の諸問題	〃	4,000円
69	幼児・児童の連想語彙表	東京書籍刊	6,800円
70-1	大都市の言語生活(分析編)	三省堂刊	7,800円
70-2	大都市の言語生活(資料編)	〃	12,000円
71	研究報告集(3)	秀英出版刊	4,800円
72	幼児・児童の概念形成と言語	東京書籍刊	6,800円
73	企業の中の敬語	三省堂刊	9,500円
74	研究報告集(4)	秀英出版刊	4,200円
75	現代表記のゆれ	〃	品切れ
76	高校教科書の語彙調査	〃	5,000円
77	敬語と敬語意識 —岡崎における20年前との比較—	三省堂刊	8,000円
78	日本語教育のための基本語彙調査	秀英出版刊	6,000円
79	研究報告集(5)	〃	4,200円
80	言語行動における日独比較	三省堂刊	8,000円
81	高校教科書の語彙調査(2)	秀英出版刊	5,000円
82	現代日本語動詞のアスペクトとテンス	〃	5,000円
83	研究報告集(6)	〃	4,200円
84	方言の諸相—『日本言語地図』検証調査報告—	三省堂刊	9,800円
85	研究報告集(7)	秀英出版刊	4,000円
86	社会変化と敬語行動の標準	〃	9,000円
87	中学校教科書の語彙調査	〃	5,000円
88	日独仏西基本語彙対照表	〃	8,500円
89	雑誌用語の変遷	〃	7,000円
90	研究報告集(8)	〃	3,500円
91	中学校教科書の語彙調査Ⅱ	〃	5,000円
92	談話行動の諸相—座談資料の分析—	三省堂刊	2,800円

国立国語研究所資料集

1	国語関係刊行書目(昭和17~24年)	秀英出版刊	品切れ
2	語彙調査—現代新聞用語の一例—	〃	〃
3	送り仮名法資料集	〃	〃
4	明治以降国語学関係刊行書目	〃	〃
5	沖縄語辞典	大蔵省印刷局刊	4,300円
6	分類語彙表	秀英出版刊	1,800円
7	動詞・形容詞問題語用例集	〃	1,700円
8	現代新聞の漢字調査(中間報告)	〃	品切れ
9	雑處安愚楽鍋用語索引	〃	1,500円
10	方言談話資料(1)—山形・群馬・長野—	〃	6,000円
10-2	方言談話資料(2)—奈良・高知・長崎—	〃	6,000円
10-3	方言談話資料(3)—青森・新潟・愛知—	〃	6,000円
10-4	方言談話資料(4)—福井・京都・島根—	〃	6,000円
10-5	方言談話資料(5)—岩手・宮城・千葉・静岡—	〃	6,000円
10-6	方言談話資料(6)—鳥取・愛媛・宮崎・沖縄—	〃	6,000円
10-7	方言談話資料(7)—老年層と若年層との対話—	〃	6,000円
10-8	方言談話資料(8)—老年層と若年層との対話—	〃	6,000円
10-9	方言談話資料(9)—場面設定の対話—	〃	6,000円
11	日本語地域語形索引	大蔵省印刷局刊	1,500円

国立国語研究所研究部資料

1	幼児のことば資料(1)-2歳・3歳誕生日のことばの記録-	秀英出版刊	3,800円
1-2	幼児のことば資料(2)-4歳誕生日のことばの記録-	〃	3,800円
1-3	幼児のことば資料(3)-1歳児のことばの記録-	〃	6,000円
1-4	幼児のことば資料(4)-2歳児のことばの記録-	〃	6,000円
1-5	幼児のことば資料(5)-3歳前半のことばの記録-	〃	6,000円
1-6	幼児のことば資料(6)-3歳後半のことばの記録-	〃	6,000円

国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	〃	〃
3	ことばの研究 第3集	〃	〃
4	ことばの研究 第4集	〃	〃
5	ことばの研究 第5集	〃	1,300円

国立国語研究所国語辞典編集資料

1	国定読本用語総覧1 第1期(あ~ん) —「尋常小学読本」明治37年度以降使用—	三省堂刊	25,000円
2	国定読本用語総覧2 第2期(あ~て) —「尋常小学読本」明治42年度以降使用—	三省堂刊	28,000円

言語処理データ集

1	高校教科書一文脈付き用語索引	日本マイクロ写真	35,000円
---	----------------	----------	---------



国立国語研究所年報 秀英出版刊

1 昭和24年度	品切れ	14 昭和37年度	品切れ	27 昭和50年度	700円
2 昭和25年度	〃	15 昭和38年度	250円	28 昭和51年度	非売品
3 昭和26年度	〃	16 昭和39年度	品切れ	29 昭和52年度	〃
4 昭和27年度	160円	17 昭和40年度	〃	30 昭和53年度	800円
5 昭和28年度	品切れ	18 昭和41年度	300円	31 昭和54年度	1,200円
6 昭和29年度	〃	19 昭和42年度	300円	32 昭和55年度	1,300円
7 昭和30年度	〃	20 昭和43年度	品切れ	33 昭和56年度	1,300円
8 昭和31年度	〃	21 昭和44年度	〃	34 昭和57年度	2,000円
9 昭和32年度	〃	22 昭和45年度	〃	35 昭和58年度	2,200円
10 昭和33年度	〃	23 昭和46年度	450円	36 昭和59年度	2,700円
11 昭和34年度	〃	24 昭和47年度	品切れ	37 昭和60年度	2,700円
12 昭和35年度	〃	25 昭和48年度	〃		
13 昭和36年度	〃	26 昭和49年度	〃		

国語年鑑 秀英出版刊

昭和29年版	品切れ	昭和40年版	〃	昭和51年版	4,000円
昭和30年版	〃	昭和41年版	〃	昭和52年版	品切れ
昭和31年版	〃	昭和42年版	〃	昭和53年版	〃
昭和32年版	〃	昭和43年版	〃	昭和54年版	〃
昭和33年版	〃	昭和44年版	品切れ	昭和55年版	〃
昭和34年版	品切れ	昭和45年版	〃	昭和56年版	〃
昭和35年版	〃	昭和46年版	2,000円	昭和57年版	5,500円
昭和36年版	〃	昭和47年版	2,200円	昭和58年版	5,500円
昭和37年版	〃	昭和48年版	品切れ	昭和59年版	5,800円
昭和38年版	〃	昭和49年版	3,800円	昭和60年版	5,800円
昭和39年版	品切れ	昭和50年版	品切れ	昭和61年版	7,800円

---

高 校 生 と 新 聞	国立国語研究所 日本新聞協会 共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所 共編	金沢書店刊	品切れ
国立国語研究所三十年のあゆみ	——研究業績の紹介——	秀英出版刊	1,500円

日本語教育教材

1	日本語と日本語教育	国立国語研究所 文化庁 共編	大蔵省印刷局刊	700 円
	——発音・表現編——			
2	日本語と日本語教育	文字・表現編	”	850 円
3	日本語の文法 (上)	—日本語教育指導参考書4—	”	450 円
4	日本語の文法 (下)	— ” 5 —	”	550 円
5	日本語教育の評価法	— ” 6 —	”	700 円
6	中・上級の教授法	— ” 7 —	”	500 円
7	日本語の指示詞	— ” 8 —	”	500 円
8	日本語教育基本語彙比較対照表	— ” 9 —	”	1,000 円
9	日本語教育参考文献一覧	— ” 10 —	”	1,400 円
10	談話の研究と教育 I	— ” 11 —	”	550 円
11	語彙の研究と教育 (上)	— ” 12 —	”	600 円
12	語彙の研究と教育 (下)	— ” 13 —	”	600 円

114142



## A CONCORDANCE OF SPOKEN LANGUAGE

### CONTENTS

The data were collected from the 'Rokuonki' (Recorder) column of the monthly magazine 'Gengo Seikatsu' (Language Life) over a period of 30 years, starting from 1951. This column uses colloquial expressions in their original form. The following four points can be highlighted as characteristic of these data:

- ① they were collected over a long period of 30 years
- ② they cover as many as 421 topics
- ③ over 1,600 persons from all walks of life and professions, including both sexes, participated
- ④ they contain large number of running words (494,956; including particles, punctuation marks, parentheses, etc.)

The concordance is stored on 79 microfiches and it runs to 8,578 pages. The original data are stored on 11 microfiches.

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE

TOKYO

1987